

専攻科 食物栄養専攻教育課程

(平成29年度入学生に適用)

区 分	授 業 科 目	講義 演習 実習 の別	単 位 数		担当教員 ()内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数				修 了 要 件		備 考				
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		4年制 栄養士 養成課程 注1	専攻科 注2					
						前 期	後 期	前 期	後 期							
専 門 科 目 A 群 【講義科目】	栄養に関する総合的な科目	栄養学特論Ⅰ	講	2	富岡	2										
		栄養学特論Ⅱ	講	2	山岸	2										
		栄養学特論Ⅲ	講	2	(木村・宮本 酒井・藤)							2				
	人体の仕組みに関する科目	臨床医学Ⅰ	講		2	田淵	2									
		臨床医学Ⅱ	講		2	田淵			2							
		解剖生理学特論	講	2		田淵		2								
		生化学特論	講		2	富岡				2						
		運動生理学特論	講		2	(泉)							2			
	食物に関する科目	食品学特論Ⅰ	講	2		竹内	2									
		食品学特論Ⅱ	講		2	竹内			2							
		調理学特論Ⅲ	講	2		深井	2									
	臨床栄養に関する科目	臨床栄養学特論Ⅰ	講	2		稗苗			2				28単位以上	28単位以上		
		臨床栄養学特論Ⅱ	講		2	稗苗(小野)			2							
	公衆栄養に関する科目	公衆栄養学特論Ⅰ	講	2		(桑守・由田)				2						
		健康管理概論	講		2	(青島)							2			
	保健衛生に関する科目	保健衛生学特論Ⅰ	講	2		(石塚)	2									
		保健衛生学特論Ⅱ	講		2	(石塚・木村)			2							
		食品衛生学特論	講		2	角田	2									
	栄養指導に関する科目	栄養教育特論Ⅰ	講	2		高木	2									
給食管理特論		講		2	大森							2				
栄養士総合特論Ⅰ		講		2	担当各教員					2						
栄養士総合特論Ⅲ		講		2	担当各教員							2				
計				16	26			10	6	4	8	2	4	0	10	
専 門 科 目 B 群 【実験・実習科目】	栄養に関する演習・実験・実習科目	栄養学特論Ⅳ(実習)	実		1	山岸					3					
		調理学特論Ⅱ(実習)	実		1	深井							3			
		臨床栄養学特論Ⅲ(実習)	実	1		稗苗			3							
		臨床栄養学特論Ⅳ(実習)	実		2	稗苗			※							
		公衆栄養学特論Ⅱ	実	1		(桑守)稗苗				2			6単位以上	6単位以上		
		公衆栄養学特論Ⅲ(実習)	実		1	稗苗				※						
		栄養教育特論Ⅱ	演		1	高木			2							
		栄養士総合特論Ⅱ	演	1		稗苗(桑守)			2							
計				3	6			0	0	5	2	2	3	0	3	

臨地実習：病院
臨地実習：保健所等

区 分	授 業 科 目	講義 演習 実習 の別	単 位 数		担当教員 ()内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数				修 了 要 件		備 考	
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		4 年制 栄養士 養成課程 注 1	専攻科 注 2		
						前期 必 選	後期 必 選	前期 必 選	後期 必 選				
関 連 科 目	臨床心理学特論	講		2	山 川	2						4 単位以上 4 単位以上	
	社会福祉特論	講		2	関				2				
	発達心理学特論	講		2	山 川						2		
	情報処理特論	演		1	堀 田	2							
	経営管理特論	講		2	木 元				2				
	外国語文献講読Ⅰ	演		1	望 月	2							
	外国語文献講読Ⅱ	演		1	田 淵			2					
	特 別 研 究	演	6		田淵・富岡・深井・堀田 竹内・穂苗・高木	4	4	4					
計			6	11		4	6	4	2	4	4	0	2
総 計			25	43		14	12	13	12	8	11	0	15

注 1 四年制栄養士養成課程の修了要件は、栄養士養成課程での62単位以上を修得し（又は栄養士資格を有する者）、専攻科での62単位を合わせた124単位を修得することが必要である。

注 2 専攻科食物栄養専攻の修了要件は専攻科で62単位以上を修得することが必要である。

注 3 管理栄養士国家試験受験資格および栄養学学士の取得については「管理栄養士国家試験受験資格と学士（栄養学）の学位取得について」を参照。

授業科目名	保健衛生学特論			科目コード	A111-10				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 社会生活と健康		担当教員名	石塚 盈代					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	(短期)大学等で履修した公衆衛生学、保健衛生学、または類似科目		後継科目	保健衛生学特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	十分に体得してもらうために、随時短い演習スタイルも取り入れて授業を進めます。区切りごとにレポートの提出を行い評価します。								
学習目標	健康の維持や増進のために、その阻害原因や過程を明瞭に把握して実践に生かします。管理栄養士の試験の実力をつけてください。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	建帛社 「三訂 公衆衛生学」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	環境と健康に関する、複数の視座から現状とその問題点や課題を説明できる。エビデンスを基礎とする栄養学の形成に必要な疫学の原理と応用の基本を説明することができる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			75			25			100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	レポート(75%程度)、その他(25%程度)とし、総合的に評価します。なおその他の内容は、授業への積極性・オラル発表等で評価します。特になし								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会・環境と健康 1 プロロ-グ	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第2回	社会・環境と健康 2 「健康」の概念	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第3回	社会・環境と健康 3 社会の基盤	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第4回	環境と健康 1 環境汚染	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第5回	環境と健康 2 環境衛生	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第6回	環境と健康 3 都市化	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第7回	環境と健康 4 食と温暖化A 温暖化について	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第8回	環境と健康 5 食と温暖化B 食への影響について	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第9回	健康の測定・評価 1 疫学とは何か	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第10回	健康の測定・評価 2 指標について	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分

第11回	健康の測定・評価 3 研究方法	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第12回	健康の測定・評価 4 スクリーニングについて	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第13回	EBM 1 EBMと栄養疫学 (EBN)	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第14回	EBM 2 研究事例について	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第15回	EBM 3 生活習慣病のEBM	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	環境と健康に関する知見を理解し、疫学の原理と応用の基本を理解し、十分に説明することができる。	環境と健康に関する知見を理解し、疫学の原理と応用の基本を理解し、十分に説明することができる。	環境と健康に関する知見と疫学の原理と応用の基本を。必要な範囲手で理解し説明することができる。	環境と健康に関する知見と疫学の原理と応用の基本を、不十分ではあるが理解し説明することができる。	環境と健康に関する知見や疫学の原理と応用の基本を理解せず、説明もできない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	保健衛生学特論			科目コード	A111-12				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 社会生活と健康		担当教員名	石塚 盈代 木村 郁子					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保健衛生学特論		後継科目						
関連科目	情報処理特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	他の様々の授業での知識と理解を総合しながら進んでください。								
学習目標	臨床薬学の基本を取り入れながら、統計学に基づいたEBMにより、主要疾患についての注意点を理解します。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	「保健衛生学特論」と同じです。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	主要疾患の疫学からみた特徴と予防について説明できる。食と薬物の相互作用の基本を説明できる。統計と栄養や疾病の分析法について説明ができる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			75			25			100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	レポート(75%程度)、その他(25%程度)とし、総合的に評価します。 なおその他の内容は授業への取り組み・オーラル発表等とします。 特になし								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	主要疾患の疫学・予防 概念について	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第2回	主要疾患の疫学・予防 がん	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第3回	主要疾患の疫学・予防 循環器系疾患	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第4回	主要疾患の疫学・予防 代謝疾患	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第5回	食・薬と体内動態	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第6回	臨床試験とEBM	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第7回	生物統計演習 栄養生理との係わりから	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第8回	生物統計演習 栄養病理との係わりから	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第9回	糖尿病とEBM 代替医療含む	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第10回	糖尿病とEBM サプリメント含む	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分

第11回	生活習慣病と生物統計	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第12回	臨床薬学とライフステ - ジ1 レセプター、イオンチャネルについて	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第13回	臨床薬学とライフステ - ジ2 ADMEについて	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第14回	臨床薬学とライフステ - ジ3 相互作用について	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分
第15回	オラル発表	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。また必要なオーラル発表の準備を進める。	90分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。また必要なレポート作成の準備を進める。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	主要疾患の疫学上の特徴、統計の疫学へ応用法、栄養と薬物の相互作用の基本を、十分に理解し説明することができる。	主要疾患の疫学上の特徴、統計の疫学へ応用法、栄養と薬物の相互作用の基本を、理解し説明することができる。	主要疾患の疫学上の特徴、統計の疫学へ応用法、栄養と薬物の相互作用の基本を、必要な範囲で理解し説明することができる。	主要疾患の疫学上の特徴、統計の疫学へ応用法、栄養と薬物の相互作用の基本を、不十分だが理解・説することができる。	主要疾患の疫学上の特徴、統計の疫学へ応用法、栄養と薬物の相互作用の基本を、理解も説明もできない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	臨床医学			科目コード	A113-10				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	臨床医学II、解剖生理学特論					
関連科目	解剖生理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	医療現場で必要となる医学・医療の専門的知識を身につけ、病院・施設での栄養指導ができる管理栄養士を目指す。また近年、一般的となったチーム医療の一員として、栄養面から医療を支える管理栄養士となれるように基礎学力をつける。								
学習目標	すべての疾患に対して上記の目標を達成するためには数年以上を要するが、栄養指導が必要な主要疾患に項目を絞ることで1年間で目標達成を目指す。そのため、前期では病理一般および消化管疾患の背景・原因・病態・症状・検査・治療について解説する。								
キーワード	病気、医療、病理、病態、原因、症状、治療								
テキスト・ 参考書等	病気がみえる vol.1 消化器 メディックメディア 管理栄養士を目指す学生のための病理学テキスト 文光堂								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、病態、症状、治療を説明できる。								
LO-2	病気に罹患することにより生じる患者の精神、肉体、経済、家族、環境の変化など、包括的に疾患を捉えることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5	病気が発生する原因、病態、さらには予防・治療について探求する意欲をもてる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	70								70
LO-2	20								20
LO-3									
LO-4									
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 疾病の病理、原因、症状、治療についての知識度と理解度で判定します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	病理学の基礎：病気と病理、病理解剖、病理診断、細胞・組織・臓器、病気の原因・分類	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	600分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	病理学の基礎：酸塩基平衡異常、循環障害、細胞の増殖・分化（細胞死、壊死、癒痕、萎縮、肥大、過形成、分化、再生、化生、変性、腫瘍）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第3回	病理学の臨床：感染症（感染症の定義、感染源、日和見感染、急性炎症、アレルギー、自己免疫疾患）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	病理学の臨床：脂質異常症、高脂血症、高血圧、動脈硬化、アテローム硬化	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	病理学の臨床：心疾患、脳出血、脳梗塞	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	病理学の臨床：糸球体腎炎、腎盂腎炎、腎結石、ネフローゼ、腎不全、透析	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	消化器疾患：消化器内視鏡、食道総論、食道癌、胃食道逆流症、胃・食道静脈瘤	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	消化器疾患：Mallory-Weiss症候群、食道アカラシア、食道裂孔ヘルニア、胃・十二指腸総論	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	消化器疾患：慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、消化管穿孔、胃アニサキス症、胃ポリープ、胃腺腫	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	消化器疾患：早期・進行胃癌、胃切除後症候群(ダンピング症候群)、腸・腹膜総論	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	消化器疾患：Crohn病、潰瘍性大腸炎、イレウス(腸閉塞)、過敏性腸症候群、虚血性大腸炎、大腸癌	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	消化器疾患：消化管ポリポーシス、憩室、虫垂炎、腹膜炎、鼠径ヘルニア、痔核、痔瘻	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	消化器疾患：肝臓総論、黄疸、肝炎、肝硬変、門脈圧亢進症、脂肪肝	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	消化器疾患：肝臓(肝細胞癌、転移性肝癌)、胆道・胆嚢・膵臓総論、胆石症、胆嚢炎、胆嚢癌、胆管癌	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	消化器疾患：急性・慢性膵炎、膵癌	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	360分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	消化管疾患の背景・原因・病態について詳細に習得・理解している。	消化管疾患の背景・原因・病態についてかなり習得・理解している。	消化管疾患の背景・原因・病態についてよく習得・理解している。	消化管疾患の背景・原因・病態について一定程度に習得・理解している。	消化管疾患の背景・原因・病態についてほとんど習得・理解していない。
LO-2	消化管疾患の症状・検査・治療について十分に理解している。	消化管疾患の症状・検査・治療についてかなり習得・理解している。	消化管疾患の症状・検査・治療についてよく習得・理解している。	消化管疾患の症状・検査・治療について一定程度に習得・理解している。	消化管疾患の症状・検査・治療についてほとんど習得・理解していない。
LO-3					
LO-4					
LO-5	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問がない

授業科目名	臨床医学			科目コード	A113-12				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	臨床医学I、解剖生理学特論		後継科目	健康管理概論、解剖生理学特論、生化学特論、臨床栄養学特論I					
関連科目	解剖生理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	すべての疾患に対して上記の目標を達成するためには数年以上を要するが、栄養指導が必要な主要疾患に項目を絞ることで1年間で目標達成を目指す。そのため、後期では病理各論および糖尿病・代謝・内分泌疾患の背景・原因・病態・症状・検査・治療について解説する。								
学習目標	医療現場で必要となる医学・医療の専門的知識を身につけ、病院・施設での栄養指導ができる管理栄養士を目指す。また近年、一般的となったチーム医療の一員として、栄養面から医療を支える管理栄養士となれるように基礎学力をつける。								
キーワード	病気、医療、病理、病態、原因、症状、治療								
テキスト・ 参考書等	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 メディックメディア 管理栄養士を目指す学生のための病理学テキスト 文光堂								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、病態、症状、治療を説明できる。								
LO-2	病気に罹患することにより生じる患者の精神、肉体、経済、家族、環境の変化など、包括的に疾患を捉えることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5	病気が発生する原因、病態、さらには予防・治療について探求する意欲をもてる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	70								70
LO-2	20								20
LO-3									
LO-4									
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 疾病の病理、原因、症状、治療についての知識度と理解度で判定します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	病理学の臨床：肺炎、肺結核、真菌症、肺気腫、気胸、気管支喘息、塵肺	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	600分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	病理学の臨床：貧血、血友病、紫斑病、播種性血管内凝固症候群	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第3回	病理学の臨床：白血病、悪性リンパ腫	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	病理学の臨床：認知症、Perkinson病(症候群)、Wernicke脳症、てんかん	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	病理学の臨床：筋疲労、筋肉痛、重症筋無力症、筋ジストロフィー、骨折、関節炎、関節リウマチ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	病理学の臨床：ハンセン氏病、湿疹、皮膚炎、色素沈着、アトピー、熱傷、褥瘡	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	糖質代謝異常：糖質代謝総論、I型・II型糖尿病、糖尿病合併症	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	脂質代謝異常：脂質代謝総論、高脂血症、家族性高コレステロール血症	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	脂質代謝異常：肥満、やせ、メタボリックシンドローム	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	尿酸代謝異常：尿酸代謝総論、痛風	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	骨代謝異常：骨代謝総論、骨粗鬆症、骨軟化症、くる病	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	栄養異常：ビタミン欠乏症・過剰症、飢餓	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	内分泌疾患：内分泌総論、巨人症、先端巨大症、小人症、高プロラクチン血症、Cushing病	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	内分泌疾患：尿崩症、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、慢性甲状腺炎、甲状腺腫瘍	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	内分泌疾患：副腎皮質総論、Cushing症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、インスリノーマ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	360分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	糖尿病・代謝・内分泌疾患の背景・原因・病態について詳細に習得・理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の背景・原因・病態についてかなり習得・理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の背景・原因・病態についてよく習得・理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の背景・原因・病態について一定程度に習得・理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の背景・原因・病態についてほとんど習得・理解していない。
LO-2	糖尿病・代謝・内分泌疾患の症状・検査・治療について十分に理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の症状・検査・治療についてかなり習得・理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の症状・検査・治療についてよく習得・理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の症状・検査・治療について一定程度に習得・理解している。	糖尿病・代謝・内分泌疾患の症状・検査・治療についてほとんど習得・理解していない。
LO-3					
LO-4					
LO-5	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問がない

授業科目名	解剖生理学特論			科目コード	A113-20				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	臨床医学I&II		後継科目	臨床医学II					
関連科目	臨床医学I&II								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造(解剖学)と機能(生理学)について知り、正しく理解する。また、様々機能を持つ一個体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを理解する。これにより、ヒトを対象とする栄養学に必要な基本的医学知識および理解を獲得する。								
学習目標	栄養士として必要な人体の構造および機能の概要を知り、理解する。								
キーワード	解剖、生理、ヒト、遺伝、細胞、臓器、医学								
テキスト・ 参考書等	大地陸男著 生理学テキスト 文光堂								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能を説明できる。								
LO-2	分子・遺伝子レベル、細胞レベル、臓器レベルで、ヒトの成り立ちを考えることができる。								
LO-3									
LO-4	人体の構造と働き、さらには人間社会の成り立ちの基本がわかることにより、社会的能力の必要性がわかる。								
LO-5	授業を通して、自分自身を含め、人間が自然の"理"の中で生きていることを理解できる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	50								50
LO-2	30								30
LO-3									
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 身体の構造と仕組みについての知識度と理解度で判定します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総論：ヒトはどのような存在なのか。進化論を基本として考える。 細胞と臓器：身体を構成している細胞の基本的構造と機能を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から人体のしくみについて興味を持って接する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	細胞機能の基礎：ホメオスタシス、体液組成、細胞の構造、タンパク質合成、活動電位の仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	90分
第3回	筋収縮：骨格筋および平滑筋の収縮メカニズムを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	自律神経：交感神経および副交感神経の働きを知る 筋紡錘：筋の張力をモニターする筋紡錘の働きを知り、反射の仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	運動：運動は神経系、骨格筋、骨格、関節より遂行されるが、脳による運動プログラムができて、はじめて実行することができる。この仕組みを知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	感覚：感覚刺激の種類、特徴を知り、感覚受容の基本的な仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	聴覚、視覚：人間が持つ感覚のうち、とくに重要な聴覚および視覚の働きを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	血液：血球成分（赤血球、白血球、血小板）および血漿成分の種類、構造、機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	免疫：白血球のうち、リンパ球による働きを免疫という。その免疫の働きを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	循環：心臓、血管系（動脈と静脈）、リンパ管の基本的構造と機能を理解する。 呼吸：呼吸系器官の基本的構造と機能を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	消化と吸収1：関連臓器（口腔,食道,胃,小腸,大腸,膵臓,肝臓）の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	消化と吸収2：食欲、味覚、摂食、消化・吸収という“食べる”仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	内分泌：内分泌の担い手であるホルモンの生成する臓器の種類、構造、機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	尿の生成・排泄：関連臓器(泌尿器：腎臓,尿管,膀胱,尿道)の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	代謝と体温：代謝と体温維持に関する基本的メカニズムを知る。 性と生殖：性と生殖の意味、および生殖器官の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	300分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人体を構成している各組織や器官の構造と機能を詳細に習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能をかなり習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能をよく習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能を一定程度に習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能をほとんど習得・理解していない。
LO-2	様々な機能を持つ一団体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを十分に理解している。	様々な機能を持つ一団体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかをかなり理解している。	様々な機能を持つ一団体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかをよく理解している。	様々な機能を持つ一団体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを一定程度に理解している。	様々な機能を持つ一団体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかをよく理解していない。
LO-3					
LO-4	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について質問がない
LO-5	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について質問がない

授業科目名	生化学特論			科目コード	A113-31				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	富岡 徹久					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論		後継科目	無し					
関連科目	栄養学特論、解剖生理学特論、臨床医学、運動生理学特論、食品学特論、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	生化学特論では、栄養素が体内でのどのように代謝されるか等について深く学んでもらいます。								
学習目標	管理栄養士国家試験に合格する実力を付ける。								
キーワード	栄養素の代謝、代謝の制御、酵素、遺伝子								
テキスト・ 参考書等	青木 洋佑著「生化学」(短大時代に使用したもの)を使用します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	生化学関連の用語とその内容を理解し、試験で正しく答えることができる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	採点した答案は成績開示後返却するので、返却希望者は富岡の研究室まで取りに来ること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	酵素 酵素の分類と性質	
	【予習】酵素の分類と性質について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第2回	酵素 酵素活性の調節	
	【予習】酵素活性の調節について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第3回	解糖系	
	【予習】解糖系について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第4回	TCAサイクル	
	【予習】TCAサイクルについて教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第5回	電子伝達系と酸化的リン酸化	
	【予習】電子伝達系と酸化的リン酸化について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第6回	グリコーゲンの分解と合成	
	【予習】グリコーゲンの分解と合成について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第7回	フルクトースの代謝、ガラクトースの代謝	
	【予習】フルクトースの代謝、ガラクトースの代謝について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第8回	糖新生	
	【予習】糖新生について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第9回	脂肪酸の代謝と合成、トリアシルグリセロールの合成	
	【予習】脂肪酸の代謝と合成、トリアシルグリセロールの合成について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第10回	リン脂質の合成、コレステロールの合成、胆汁酸の合成	
	【予習】リン脂質の合成、コレステロールの合成、胆汁酸の合成について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分

第11回	リボたんぱく質の代謝	
	【予習】リボたんぱく質の代謝について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第12回	アミノ基の代謝、尿素サイクル	
	【予習】アミノ基の代謝、尿素サイクルについて教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第13回	遺伝子とたんぱく質の合成、分解	
	【予習】遺伝子とたんぱく質の合成、分解について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第14回	核酸の代謝	
	【予習】核酸の代謝について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第15回	ホルモンの作用機序	
	【予習】ホルモンの作用機序について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	授業の内容がほぼ完璧に理解できている。	授業の内容を十分に理解できている。	授業の内容をほぼ理解できている。	授業の内容を過不足無く理解できている。	授業内容に関する必要な知識が身につけていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	運動生理学特論			科目コード	A113-41				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	泉 一郎					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	解剖生理学特論 論	臨床医学特論	生化学特論	後継科目					
関連科目	栄養学特論 健康管理概論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	<p>少子高齢化社会を迎え、生活習慣病の予防や体力の保持増進を目的とした運動・スポーツの普及はめざましい。本講義では、身体を動かすことの重要性を述べるとともに、運動・スポーツに伴う身体の生理学的な変化を中心にして運動・スポーツの有効性について述べる。運動処方（運動プログラム）作成と運動実施者に対する運動指導の留意点についても講義する。</p>								
学習目標	<p>身体活動の生理学的基礎、生活習慣病、運動・スポーツと栄養との関連やその応用について学び、栄養指導に健康処方（運動プログラム）、運動療法を取り入れることができること。</p>								
キーワード	運動処方（運動プログラム） 運動療法 健康・体力づくり運動 メタボリックシンドローム ロコモティブシンドローム								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：「ネオエスカ 運動・栄養生理学 第二版」 橋本勲編 株式会社同文書院 参考書：特に指定しない</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	個人や集団に適切に栄養管理や栄養指導を行うための高度な身体活動の生理学的知識と理解力を習得していること。								
LO-2	運動処方（運動プログラム）についての高度な知識を基に職務遂行のための確かな技術・実践力を修得していること。								
LO-3	個人の健康状態を分析・把握し、どのような栄養管理と運動処方（運動プログラム）が必要か判断し、適切な栄養計画と運動処方が立案できること。								
LO-4	トレーニング理論、運動処方（運動プログラム）、栄養との関連やその応用についての研究方法・知識活用法を学び、問題を創造的に解決し地域貢献できること。								
LO-5	栄養管理の専門職に相応しいモラル・責任感および表現力・人間理解・経営管理などの全人的な総合力が備わっていること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60			40			100
LO-1			60						60
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5						40			40
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスあるようにテキスト範囲や配布資料をよく読み、専門用語の意味を理解しておくこと。 ・提出する課題レポートの発表を行うので、課題内容についてよく調べておくこと。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【ヒトの身体の特徴】授業全体のガイダンス、身体のかたちや仕組みには、2足歩行に都合よくできている箇所がいくつか観察される。このようなヒトの身体の特徴について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(1~50ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第2回	【運動器の構造と働き】運動に携わっている骨、関節、筋肉構造と働きについて概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(97~108ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第3回	【運動と呼吸循環】ねばり強さは部分的な筋持久力と全身持久力として評価される。ねばり強さのトレーニングによってその向上が認められる。ねばり強さの向上に必要な要素について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(83~96ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第4回	【現代生活と生活習慣病】メタボリックシンドロームの根本的原因は、過食と運動不足によるエネルギーバランスの乱れであり、解決には生活習慣の是正が必須である。メタボリックシンドロームについて概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第5回	【現代生活と生活習慣病】生活習慣病の運動療法、老化防止・介護予防に及ぼす運動の有効性、ロコモティブシンドロームについて概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(109~114ページ、191~207ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第6回	【運動処方考え方と運動プログラムの作成】運動処方の意義と運動プログラム作成の基本的考え方について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第7回	【運動処方の考え方と運動プログラムの作成】スポーツ選手のトレーニング処方について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第8回	【各種疾患に対する運動の効果】呼吸循環器病の病因となる動脈硬化および高血圧、骨粗鬆症に対する運動の効果について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第9回	【各種疾患に対する運動の効果】脂質異常症、糖尿病等の代謝性疾患に対する運動の効果について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(115~128ページ、161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第10回	【各種疾患に対する運動の効果】整形外科的疾患に対する運動の効果、ロコモティブシンドロームについて概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分

第11回	【エネルギー代謝機能と運動】エアロビックおよびアナロビックな一過性運動時のエネルギー代謝と関連する栄養素の機能、運動時の各種ホルモン動態について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第12回	【身体組成の測定法と評価】身体組成の測定法と評価について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(191~207ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第13回	【体重調節】肥満の分類、発生様式、肥満解消の方法について概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(161~190ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第14回	【エルゴジェニックエイドとドーピング】身体機能あるいは競技能力を高める効果をうたった関連経口摂取物(エルゴジェニックエイド)とドーピングについて概説する。	
	【予習】テキストの該当部分(143~160ページ)を予習する。	60分
	【復習】テキストの該当部分と配布資料を復習し、講義ノートにまとめておく。	120分
第15回	【総括と討議】課題レポートの提出、課題レポート内容発表の評価	
	【予習】課題レポートについてのテキスト該当部分をまとめ、課題レポートを作成する。	240分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	運動に伴う身体の生理学変化と運動処方(運動プログラム)についてほぼ理解でき、説明できる。	運動に伴う身体の生理学変化と運動処方(運動プログラム)についてほしい理解でき、説明できる。	運動に伴う身体の生理学変化と運動処方(運動プログラム)について理解度と説明がやや不足。	運動に伴う身体の生理学変化と運動処方(運動プログラム)について理解度が不十分な点が多い。	運動に伴う身体の生理学変化と運動処方(運動プログラム)について理解できていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	講義を積極的に受けていて、疑問点があればよく質問する。	講義を積極的に受けていて、疑問点があれば質問する。	講義を積極的に受けている。	講義の欠席、態度等意欲の欠如が感じられる。	講義の欠席、態度等意欲の欠如が感じられる。

授業科目名	食品学特論			科目コード	A115-20				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	竹内 弘幸						
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	(短期)大学等で履修した食品学、または類似科目	後継科目	食品学特論、食品衛生学特論						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食品成分の化学的・物理的な性質、各食品の成分や用途等について、管理栄養士国家試験の受験を前提に講義を行う。授業は、講義だけでなく、小テストを活用した主体的な学習方式も織り交ぜながら進める。								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な食品学の基礎知識を身につける。								
キーワード	食品成分、食品化学								
テキスト・ 参考書等	テキストなし・参考書：学科食品学総論で使用したテキスト(食べ物と健康 食品学・食品機能学・食品加工学 長澤治子 編 医歯薬出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5						30			30
備考	講義スピードが速いため、予習・復習をきちんと行い毎回の講義内容を十分理解しておくこと。 A：授業態度や出席状況等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の説明、食品に含まれる水分、炭水化物の基本構成成分である単糖の種類および構造について	
	【予習】シラバスおよび参考書該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】授業内容を確認し、注意事項については忘れないように記録しておくこと。重要キーワードについて確認する。	90分
第2回	オリゴ糖（少糖類）、誘導糖質および多糖類の種類について、食物繊維の種類と生理作用について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にデンプンについて理解を深めておく。	90分
第3回	アミノ酸の構造、必須アミノ酸、アミノ酸の結合様式、たんぱく質の物理化学的性質について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にアミノ酸スコアについて理解を深めておく。	90分
第4回	脂質の種類と基本構造、脂肪酸の種類と特徴、脂質の測定値について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、脂肪酸の種類とその構造については、理解を深めておく。	90分
第5回	ビタミンの種類、欠乏症状および多く含まれる食品、ミネラルの種類、欠乏症状および多く含まれる食品	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にビタミン・ミネラルの種類と特徴について理解を深めておく。	90分
第6回	植物性および動物性色素成分の特徴と含まれる食品、呈味成分について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。とくに、肉色の変化について理解を深めておく。	90分
第7回	各種食品に含まれる甘味、塩味、酸味および苦み成分について、食品に含まれる香り成分について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に各種食品に含まれる味や香り成分について理解を深めておく。	90分
第8回	食品の物理化学的な特性（テクスチャー）、コロイドについて、食品に含まれる脂質の酸化反応について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、乳化および脂質の酸化についての理解を深めておく。	90分
第9回	たんぱく質および糖質の加熱変化、酵素的および非酵素的褐変反応、人間と食品について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、褐変反応について理解を深めておく。	90分
第10回	食品の機能性について（一次機能、二次機能、三次機能）、食糧と環境について、穀類の種類と特徴について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に米と小麦の成分について理解を深めておく。	90分

第11回	いも類の種類と特徴について、豆類の種類と特徴について、果実類の分類と特徴について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、大豆に含まれる成分について理解を深めておく。	90分
第12回	野菜類の分類と特徴的に含まれる成分について、肉類における熟成のメカニズム、肉類の種類と特徴について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、熟成について理解を深めておく。	90分
第13回	鶏卵の構造と成分について、乳類の種類と特徴について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に卵の構造と成分については、深く理解しておくこと。	90分
第14回	魚介類の種類と保存性について、きのこ類の種類について、食塩について	
	【予習】参考書等を活用して、授業内容の概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、魚介類の成分について、深く理解しておくこと。	150分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】重要語句についてまとめる。	120分
	【復習】定期テストに向けて、重要語句と重要事項について理解し、必要事項を覚えておくこと。	480分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食品を化学・物理・栄養学的な観点から深く理解し、管理栄養士として必要な知識を十分に身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要なその知識の大半を身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点からある程度理解している。	管理栄養士として必要な知識をほとんど身につけていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	食品の化学・物理・栄養学的な知識について高い関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識についてある程度関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心が薄く、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲が低い。

授業科目名	食品学特論			科目コード	A115-22				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	竹内 弘幸						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	食品学特論、食品衛生学特論	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	各食品素材の成分や食品加工の技術や理論等について、管理栄養士国家試験の受験を前提に講義を行う。授業は、講義だけでなく、小テストを活用した主体的な学習方式も織り交ぜながら進める。								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な食品学の基礎知識を身につける。								
キーワード	食品素材、食品加工技術								
テキスト・ 参考書等	テキストなし・参考書：学科食品学総論で使用したテキスト（食べ物と健康 食品学・食品機能学・食品加工学 長澤治子 編 医歯薬出版）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	各食品素材や食品加工法を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	各食品素材や食品加工法の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5						30			30
備考	講義スピードが速いため、予習・復習をきちんと行い毎回の講義内容を十分理解しておくこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の説明、油脂類（動植物油および加工油脂）、酒・みりんの製造方法について	
	【予習】シラバスおよびテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】授業内容を確認し、注意事項については忘れないように記録しておくこと。重要キーワードについて確認する。	90分
第2回	甘味料の種類と特徴について、香辛料の分類と特徴について、嗜好飲料の種類と特徴について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に甘味料の種類と特徴について理解を深めておく。	90分
第3回	食品の機能性、保健機能食品（栄養機能食品および特定保健用食品）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に栄養機能食品と特定保健用食品の制度について理解を深めておく。	90分
第4回	特定保健用食品の見直しについて、特別用途食品および栄養補助食品の種類と表示内容について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、特定保健用食品の見直し内容や特別用途食品の種類については、理解を深めておく。	90分
第5回	JAS規格（JASマーク、特定JASマーク、有機JASマーク、生産情報公表JASマーク）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にJASマークの種類、栄養成分表示について理解を深めておく。	90分
第6回	生鮮食品および加工食品における表示基準について、栄養成分表示について、食品加工技術について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。とくに、アレルギー表示、食品添加物表示について理解を深めておく。	90分
第7回	精米および米の加工食品について、小麦の加工食品について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に米の加工食品について理解を深めておく。	90分
第8回	大麦（ビール、焼酎）の加工食品について、非発酵および発酵大豆加工品について、いもの加工食品について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、大豆の加工食品についての理解を深めておく。	90分
第9回	野菜の貯蔵方法および加工食品について、果実の加工食品について、各種お茶の製造方法について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、野菜や果実の保存法について理解を深めておく。	90分
第10回	精肉の貯蔵と成分変化について、肉類の加工食品について、乳類の加工食品について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に乳類の加工食品について理解を深めておく。	90分

第11回	鶏卵の加工食品について、魚介類の保存技術について、水産加工品について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、水産加工品の冷凍保存法について理解を深めておく。	90分
第12回	加工油脂の種類と製造方法について、主な保存技術(乾燥法、濃縮法、塩漬法、糖漬法)について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、保存法の種類と原理について理解を深めておく。	90分
第13回	主な保存法(水素イオン指数低下、低温保存、燻煙法、殺菌法、照射による保存、CA貯蔵)について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に低温およびCA貯蔵法については、深く理解しておくこと。	90分
第14回	各種包装材料の種類と特徴、容器包装リサイクル法によるゴミの減量化について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、容器材料の種類と特徴、容器リサイクル法の制度について、深く理解しておくこと。	90分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】重要語句についてまとめる。	120分
	【復習】定期テストに向けて、重要語句と重要事項について理解し、必要事項を覚えておくこと。	540分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食品を化学・物理・栄養学的な観点から深く理解し、管理栄養士として必要な知識を十分に身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識の大半を身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点からある程度理解している。	管理栄養士として必要な知識をほとんど身につけていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	食品の化学・物理・栄養学的な知識について高い関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識についてある程度関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心が薄く、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲が低い。

授業科目名	食品衛生学特論			科目コード	A115-30				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生		担当教員名	角田 香澄					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	(短期) 大学等で履修した食品衛生学、または類似科目		後継科目	食品学特論					
関連科目	食品学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験科目								
授業の概要	食品衛生行政のしくみ、関係法規の解説、食品によるヒトの健康危害、特に食中毒、寄生虫感染症について実例を挙げ、解説する。過去の管理栄養士国家試験問題を関係項目ごとに解く。								
学習目標	管理栄養士国家試験に対応できる食品衛生学の知識を身につける。								
キーワード	食中毒菌 ノロウイルス 食品添加物 食品衛生管理								
テキスト・ 参考書等	「イラスト食品の安全性」小塚諭編著 東京教学社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	給食や喫食の現場の衛生管理のための知識を体系的に身に付けている。自発的な知識獲得の努力を継続し、内容を理解する。								
LO-2									
LO-3	安全安心な食生活を送るにはどうしたらよいか。また職場から食中毒を発生させないためにはどうしたらよいかを考える姿勢をもつ。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50				50				100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3					50				50
LO-4									
LO-5									
備考	成績評価は、定期試験の素点およびプレゼンテーションにより行いますが、出席状況や学習態度も考慮します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】なし	0分
	【復習】管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第2回	食中毒の分類と特徴, 微生物性食中毒 (サルモネラ属菌、カンピロバクター)	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要事項をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第3回	微生物性食中毒 (病原性大腸菌、ウェルシュ菌)	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験プリントの内容確認をする。	90分
第4回	微生物性食中毒 (ブドウ球菌、ボツリヌス菌)	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要事項をまとめる。管理栄養士の国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第5回	微生物性食中毒 (腸炎ピブリオ、セレウス菌等)、ノロウイルス	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第6回	自然毒食中毒 (動物性食中毒、植物性食中毒)	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第7回	食品から感染する寄生虫症	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第8回	食品中の汚染物質	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第9回	食品の変質	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第10回	食品衛生行政の仕組みと関連法規	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分

第11回	食品添加物	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第12回	食品の器具と容器包装	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第13回	食品衛生管理	
	【予習】テキストの該当部分を読む。過去問を解く。	120分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	90分
第14回	模擬授業（前半部分）	
	【予習】模擬授業の準備をする。	240分
	【復習】重要項目をまとめる。管理栄養士国家試験のプリントの内容確認をする。	120分
第15回	模擬授業（後半部分）	
	【予習】模擬授業の準備をする。	240分
	【復習】苦手な点を中心に再確認を行う。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	衛生管理のための知識を体系的に十分身に付けている。また自発的な知識獲得の努力を継続し、内容を深く理解する。	衛生管理のための知識を体系的に身に付けている。また自発的な知識獲得の努力を継続し、内容を深く理解する。	衛生管理のための知識を体系的に必要な範囲で身に付けている。また自発的な知識獲得の努力を継続し、内容を深く理解する。	衛生管理のための知識をやや不十分ではあるが身に付けている。また自発的な知識獲得の努力を継続し、内容を深く理解する。	衛生管理の知識が不十分で、内容が理解できていない。
LO-2					
LO-3	食品の安全安心についてや職場から食中毒を発生させないためにはどうしたらよいかを常に考える姿勢がある。	食品の安全安心についてや職場から食中毒を発生させないためにはどうしたらよいかを常に考えている。	食品の安全安心についてや職場から食中毒を発生させないためにはどうしたらよいかを考えている。	食品の安全安心についてや職場から食中毒を発生させないためにはどうしたらよいかをたまに考えている。	考える姿勢が見受けられない。
LO-4					
LO-5					

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-20				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	富岡 徹久					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	短期大学等で履修した生化学、栄養学、または類似科目。		後継科目	生化学特論					
関連科目	栄養学特論、解剖生理学特論、臨床医学、運動生理学特論、食品学特論、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養学特論 では、栄養素の体内での機能や、それらがどのように消化吸収されるか等を深く学んでもらいます。								
学習目標	管理栄養士国家試験に合格する実力を付ける。								
キーワード	栄養素、機能、消化・吸収								
テキスト・ 参考書等	江指 隆年著「基礎栄養学」(短大時代に使用したもの)を使用します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養学関連の用語とその内容を理解し、試験で正しく答えることができる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	採点した答案は成績開示後返却するので、返却希望者は富岡の研究室まで取りに来ること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	栄養学史	
	【予習】栄養学史について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第2回	エネルギー代謝	
	【予習】エネルギー代謝について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第3回	糖質の機能	
	【予習】糖質の機能について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第4回	たんぱく質の機能	
	【予習】たんぱく質の機能について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第5回	脂質の機能	
	【予習】脂質の機能について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第6回	糖質の消化	
	【予習】糖質の消化について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第7回	糖質の吸収	
	【予習】糖質の吸収について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第8回	たんぱく質の消化	
	【予習】たんぱく質の消化について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第9回	たんぱく質の吸収	
	【予習】たんぱく質の吸収について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第10回	脂質の消化	
	【予習】脂質の消化について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分

第11回	脂質の吸収	
	【予習】脂質の吸収について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第12回	脂溶性ビタミンの機能	
	【予習】脂溶性ビタミンの機能について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第13回	水溶性ビタミンの機能	
	【予習】水溶性ビタミンの機能について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第14回	無機質の機能	
	【予習】無機質の機能について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分
第15回	水・電解質の代謝	
	【予習】水・電解質の代謝について教科書の該当部分を読んでおくこと。また関連情報を調べておくこと。	90分
	【復習】授業でやったことを教科書や、ノートをみて授業の内容を整理し、試験で正答できるようにする。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	授業の内容がほぼ完璧に理解できている。	授業の内容を十分に理解できている。	授業の内容をほぼ理解できている。	授業の内容を過不足無く理解できている。	授業内容に関する必要な知識が身につけていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-22				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	山岸 博美					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論		後継科目	栄養学特論、栄養学特論、臨床栄養学特論					
関連科目	小児発育特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	妊娠期、授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期の各ライフステージと、特殊環境、ストレス、スポーツ時についての心身の特徴、食事摂取基準、栄養アセスメントや健康維持増進のための食事の在り方について学ぶ。								
学習目標	各ライフステージの心身の特徴を理解し、健康を維持増進できるような食事の在り方を修得する。 食事摂取基準について、その運用等について理解する。								
キーワード	ライフステージ 健康維持増進 食事摂取基準								
テキスト・ 参考書等	サクセス管理栄養士講座 応用栄養学 ライフステージ別 (監修 社団法人 全国栄養士養成施設協会・公益社団法人 日本栄養士会)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	各ライフステージの心身の特徴を理解し、健康を維持増進できるような食事の在り方や栄養アセスメントについて修得する。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	知識を積極的に修得しようとする意欲をもつ。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	90								90
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	10								10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	応用栄養学で何を学ぶか(15回の学びと到達目標について)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第2回	栄養ケアマネジメントについて(栄養ケアマネジメント・スクリーニング・アセスメント・評価等)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第3回	食事摂取基準について(意義と策定及び活用の基礎理論について)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第4回	成長、発達、加齢 妊娠期について(概念と身体的・精神的变化と栄養)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第5回	妊娠期 授乳期栄養(生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて - 1)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第6回	妊娠期、授乳期栄養(生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて - 2)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第7回	新生児期 乳児期栄養(生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第8回	乳児期 幼児期栄養(生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第9回	成長期 栄養(生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて - 1)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第10回	成長期 栄養(生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて - 2)	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分

第11回	成人期 栄養（生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて）	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	100分
第12回	成人期、高齢期栄養（生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて）	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	100分
第13回	高齢期栄養（生理的特徴と栄養アセスメント、栄養ケアについて）	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第14回	運動・スポーツと栄養（生理的特徴とエネルギー代謝、栄養ケアについて）	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	120分
第15回	環境と栄養（ストレス、特殊環境の栄養ケアについて）	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】ノートをまとめておく	160分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについて理解でき、明確に説明ができる	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについてほぼ理解でき、説明できる	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについてだいたい理解でき、説明できる	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについて理解度が不十分な点が多い	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについて理解できていない
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	講義を積極的に受けていて、疑問点があれば自分で調べたり、質問したりする	講義を積極的に受けていて、疑問点があれば質問する	講義を積極的に受けている	講義の欠席、態度等意欲の欠如が感じられる	講義の欠席、態度等意欲の欠如が感じられる

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-24				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	木村 郁子 宮本 嘉明 酒井 秀紀 藤 秀人					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論 栄養学特論		後継科目	なし					
関連科目	臨床栄養学 臨床医学 ・								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養国家試験受験資格								
授業の概要	「売薬王国とやま」とも呼ばれるように、富山県(越中)は江戸初期から始まった売薬で全国的に知られている。一方、病院に通院・入院している患者のほとんどが何らかの薬物療法を受けており、食事・栄養療法を行う場合、薬物療法や他の治療法との関連性を知っておく必要がある。チーム医療を行う管理栄養士にとって、栄養だけでなく、薬に関する知識も必要であり、それを反映して管理栄養士国家試験にも薬を含む医療系問題の出題数が増えている。講義では、薬物治療学、医療薬学、薬物生物学の専門家による薬に関する知識の習得を目指す。具体的には、各教員が数回の講義を独立に行う形(オム								
学習目標	薬と栄養の関わりを理解し、管理栄養士国家試験出題レベルの薬物の概要を説明できるようになること。								
キーワード	薬 食 相互作用 主作用 副作用								
テキスト・ 参考書等	授業中に配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	身の回りの薬と栄養との関係を理解することができる								
LO-2									
LO-3	薬と食の相互作用を理解し、食べ合わせについて思慮できる。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		60						100
LO-1	30		60						90
LO-2									
LO-3	10								10
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	食物に含まれる栄養素と薬効成分の違い (木村郁子)	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を把握する	60分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	90分
第2回	薬膳料理と和漢薬 薬膳料理の成分と効能 (木村郁子)	
	【予習】薬膳料理について調べる	120分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	120分
第3回	薬膳料理と和漢薬 和漢薬の成分と効能 (木村郁子)	
	【予習】薬膳料理について調べる	120分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	300分
第4回	薬理学入門 総論 くすりの作用機序 (宮本嘉明)	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第5回	薬理学入門 中枢神経系に作用する薬 (宮本嘉明)	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第6回	薬理学入門 腎臓に作用する薬 (宮本嘉明)	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第7回	薬理学入門 消化器系に作用する薬 (宮本嘉明)	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第8回	食物と依存 (宮本嘉明)	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第9回	富山の薬 (酒井秀紀)	
	【予習】富山の薬の歴史について調べる	30分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第10回	薬ができるまで (酒井秀紀)	
	【予習】製薬について調べる	30分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分

第11回	薬の主作用・副作用（酒井秀紀）	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第12回	食べ合わせ・飲み合わせ（相互作用）（藤秀人）	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第13回	食べ合わせ・飲み合わせ（相互作用）（藤秀人）	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第14回	クスリのカタチ（剤形）（藤秀人）	
	【予習】	30分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分
第15回	クスリは、いつ使う？（時間治療）（藤秀人）	
	【予習】	0分
	【復習】講義の中で理解できなかった、または、初めて聞いた用語をノートに整理しておくこと	150分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	身の回りにおける薬と栄養との関係について豊富な知識をもっている	身の回りにおける薬と栄養との関係についてかなりの知識をもっている	身の回りにおける薬と栄養との関係について十分な知識をもっている	身の回りにおける薬と栄養との関係についてある程度の知識をもっている	身の回りにおける薬と栄養との関係についての知識に乏しい
LO-2					
LO-3	薬と食の相互作用を理解し、食べ合わせについて指導できる	薬と食の相互作用を理解し、食べ合わせについていくつか提案できる	薬と食の相互作用を理解し、食べ合わせについて工夫ができる	薬と食の相互作用を理解し、食べ合わせについて思慮できる	薬と食の相互作用を理解し、食べ合わせについて考えることが難しい
LO-4					
LO-5					

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-26				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康	担当教員名	山岸 博美						
開講時期	2年前期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	栄養学特論	後継科目	栄養学特論						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格_x000D_								
授業の概要	妊娠授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期の各ライフステージと、特殊環境、ストレス、スポーツ時についての心身の特徴、食事摂取基準、栄養アセスメントや健康維持増進のための献立作成ができるとともに、調理技術を習得する。また、その献立を基に栄養指導できるような資質を習得する。								
学習目標	各ライフステージの心身の特徴を理解し、健康を維持増進できるような献立作成・調理技術、栄養指導の在り方を習得する。								
キーワード	ライフステージ 健康維持増進 食事摂取基準 献立作成 栄養指導								
テキスト・ 参考書等	従来使用した応用栄養学のテキストを参考にします。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	既履修の知識を基に、各ライフステージの献立を作成できる。								
LO-2	既習得の技術を基に、適切な調理や栄養指導ができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5	班員と協力して課題に取り組み、よりよい成果を生みだそうとする意欲がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		60				100
LO-1			40						40
LO-2					40				40
LO-3									
LO-4									
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	栄養学特論 何を学ぶか	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】ノートのまとめておく	30分
第2回	献立作成（離乳食3段階）	
	【予習】テキストを読む対象献立作成に必要な資料等検索しておく	30分
	【復習】献立作成・指導媒体作成	70分
第3回	献立作成（幼児期アレルギー対応食）	
	【予習】テキストを読む対象献立作成に必要な資料等検索しておく	30分
	【復習】献立作成・指導媒体作成	70分
第4回	献立作成（スポーツ栄養・高校生）	
	【予習】テキストを読む対象献立作成に必要な資料等検索しておく	30分
	【復習】献立作成・指導媒体作成	70分
第5回	献立作成（成人期・生活習慣病予防）	
	【予習】テキストを読む対象献立作成に必要な資料等検索しておく	30分
	【復習】献立作成・指導媒体作成	70分
第6回	献立作成（高齢期・嚥下困難食）	
	【予習】テキストを読む対象献立作成に必要な資料等検索しておく	30分
	【復習】献立作成・指導媒体作成	70分
第7回	献立作成（高齢期低栄養防止食）	
	【予習】テキストを読む対象献立作成に必要な資料等検索しておく	30分
	【復習】献立作成・指導媒体作成	70分
第8回	献立作成と指導教材の再検討	
	【予習】テキストを読む対象献立作成に必要な資料等検索しておく	30分
	【復習】献立作成・指導媒体作成	70分
第9回	調理実習（離乳食）	
	【予習】発注業務・当日材料準備。調理実習献立予習	30分
	【復習】レポート作成	60分
第10回	調理実習（幼児期アレルギー食）	
	【予習】発注業務・当日材料準備。調理実習献立予習	30分
	【復習】レポート作成	60分

第11回	調理実習（スポーツ栄養・高校生）	
	【予習】発注業務・当日材料準備。調理実習献立予習	30分
	【復習】レポート作成	60分
第12回	調理実習（成人期・生活習慣病予防）	
	【予習】発注業務・当日材料準備。調理実習献立予習	30分
	【復習】レポート作成	60分
第13回	調理実習（高齢期・嚥下困難食）	
	【予習】発注業務・当日材料準備。調理実習献立予習	30分
	【復習】レポート作成	60分
第14回	調理実習（高齢期2）	
	【予習】発注業務・当日材料準備。調理実習献立予習	30分
	【復習】レポート作成	60分
第15回	まとめ	
	【予習】各献立について自分の評価を検討しておく	30分
	【復習】評価を見直しておく	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	ライフステージごとの心身の特徴を理解でき、望ましい献立作成や栄養指導が行える	ライフステージごとの心身の特徴を理解でき、望ましい献立作成や栄養指導が行える	ライフステージごとの心身の特徴を理解でき、献立作成や栄養指導が行える	ライフステージごとの心身の特徴を理解でき、献立作成や栄養指導の能力にやや不足が伺える	ライフステージごとの心身の特徴を理解でき、献立作成や栄養指導の能力に乏しい
LO-2	作成した献立が実際に調理したうえでも適切であり、その栄養指導法も、知識が正しくわかりやすい内容である	作成した献立が実際に調理したうえでも適切であり、その栄養指導法も、知識が正しくわかりやすい内容である	作成した献立が実際に調理したうえでも適切であり、その栄養指導法も、努力して行っている	作成した献立を調理でき、その栄養指導法も行っているが不十分な点が多い	作成した献立の調理や、その栄養指導法の趣旨を理解していない
LO-3					
LO-4					
LO-5	班員と協働し、よりよい実習にしようとする実践的態度が明確である	班員と協働し、よりよい実習にしようとする態度が見られる	班員と協働し、実習に取り組んでいる	班員と協働もあまり見られず、実習への意欲が低い	班員と協働もなく、実習しようとする意欲が低い

授業科目名	臨床栄養学特論			科目コード	A131-41				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	臨床医学II 栄養学特論、食品学特論、解剖生理学特論など前		後継科目	臨床栄養学特論II					
関連科目	臨床栄養学特論、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	病院における栄養ケアマネジメントのシステム構築運営の必要性を学び、管理栄養士の業務は傷病者個々の栄養評価に基づいた適切な栄養管理を求められていることを認識する。また管理栄養士の専門的知識及び技術の研鑽により医療スタッフと共通の知識・経験を学習でき、栄養ケアマネジメントの推進に必要なチーム医療は更に効率のよい医療を提供できることとなることを学ぶ。								
学習目標	病院における栄養士の業務のあり方について学ぶ。患者の病態を把握するための各種アセスメントの方法と評価、栄養治療計画や治療食の作成、栄養指導のあり方、栄養管理や評価など栄養業務のできる能力を養う。								
キーワード	栄養ケア 栄養アセスメント 栄養管理計画 栄養補給 モニタリング 評価								
テキスト・ 参考書等	「臨床栄養学 栄養管理とアセスメント編 第3版」下田妙子編 化学同人 「エッセンシャル臨床栄養学 第7版」佐藤和人他編 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	臨床において栄養ケア・マネージメントを行うため、専門知識を習得していること。								
LO-2									
LO-3	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応を考え、計画をたて、推進していくことができること。								
LO-4	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるため、学ぶ姿勢を保持していること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	30					10			40
LO-2									
LO-3	30					10			40
LO-4	10					10			20
LO-5									
備考	定期試験(70%)、その他平常点(30%)とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度等の結果を含む。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	臨床栄養管理の意義、臨床栄養マネジメント 診療報酬 福祉・介護と臨床栄養	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】っか	90分
第2回	栄養ケア記録 栄養アセスメント	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】POSの構成を理解し、経過記録をSORPで記載すべき事柄について整理する。栄養アセスメント指標の理解を深める。	90分
第3回	栄養スクリーニング 栄養アセスメントの実際	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養アセスメント、エネルギー、たんぱく質の必要量の求め方、アセスメント指標でわかる事柄について整理し理解を深める。問診の記載方法を理解する。	90分
第4回	身体計測	
	【予習】教科書p.51～59を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】身体計測のためのポイントと手法を理解し、アセスメントでわかる事柄をまとめる。	90分
第5回	身体計測データの評価 栄養管理	
	【予習】実測値を整理し、教科書のどの項目に該当するのか確認するとともに、P.61までを読みわからない語句を調べておくこと。	60分
	【復習】身体計測の判定基準を整理し理解を深める。	90分
第6回	臨床検査	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養状態の指標の読み方について理解を深める。	90分
第7回	食事調査 エネルギー必要量 たんぱく質必要量	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】食事調査法の種類と特徴を整理する。栄養必要量の算定方法について理解を深める。	90分
第8回	栄養必要量の算定 脂質 炭水化物 水分 ミネラル ビタミン	
	【予習】教科書4を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養必要量の算定方法について理解を深める。	90分
第9回	栄養ケア計画 栄養・食事療法	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養補給、栄養教育、多職種と関わりからのケア計画について理解を深める。栄養補給法の選択方法をまとめる。	90分
第10回	栄養・食事療法 栄養補給法	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】病人食、療養食をまとめ栄養補給法の理解を深める。	90分

第11回	傷病者の栄養教育	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養教育の流れと方法について整理し、理解を深める。	90分
第12回	モニタリング・再評価	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】各種評価指標を整理する。	90分
第13回	誤嚥予防の口腔ケア 薬と栄養・食物の相互作用	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】口腔ケアの重要性と手法を理解する。相互作用をまとめ、理解する。	180分
第14回	多職種協働 栄養管理 在宅栄養ケア・マネジメント まとめ	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】記録から読み取る視点を整理する。医療保険と介護保険による訪問栄養指導の違いを整理し理解を深める。	180分
第15回	期末試験に向けた総復習	
	【予習】授業で学んだことを整理し、キーワード、理解が不十分な箇所を調べる。	360分
	【復習】期末試験に向けて、自身が不足していた部分の理解を深める。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識を十分に網羅している。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識を網羅している。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識をほぼ網羅している。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識に少し欠ける。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識に欠ける。
LO-2					
LO-3	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応を考え、計画をたて、適切な推進に取り組むことができる。	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応を考え、計画をたて、推進していくことができる。	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応や計画についてほしい推進していくことができる。	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応や計画、推進をすることが少できない。	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応や計画、推進をすることができない。
LO-4	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるため、常に学ぶ姿勢を保持している。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるため、学ぶ姿勢を保持している。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるための、学ぶ姿勢をほぼ保持している。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるための学ぶ姿勢に少し欠ける。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるための学ぶ姿勢に欠ける。
LO-5					

授業科目名	臨床栄養学特論			科目コード	A131-43				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康	担当教員名	稗苗 智恵子 小野 章史						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	臨床栄養学特論I 解剖生理学特論など前期に履修したことを復習し	後継科目	臨床栄養学特論						
関連科目	臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	各疾病と栄養ケアの概念を理解する。その上で栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養食事計画の技法を学ぶ。								
学習目標	疾病者に対し病態や栄養状態に基づいた適切な栄養管理を行うための基礎知識と臨床における栄養法および食事食事計画の技法を修得する。								
キーワード	診断基準・ガイドライン 病態生理 病態栄養アセスメント・栄養管理計画・栄養食事療法の基本・栄養食事指導・モニタリングと評価								
テキスト・ 参考書等	「エッセンシャル臨床栄養学 第6版」佐藤和人他編 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	病態に適した栄養管理の知識と理解力を習得していること。								
LO-2									
LO-3	病態、栄養状態のアセスメントから、適切な栄養管理計画の立案ができること。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	40					15			55
LO-2									
LO-3	30					15			45
LO-4									
LO-5									
備考	全15回のうち3回を集中講義で行うが、集中講義の実施時期と内容は変更することがある。 定期試験(70%)、平常点(30%)とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度等の結果を含む。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	臨床栄養学の意義と目的、医療と臨床栄養、栄養療法	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臨床栄養学の意義や目的、管理栄養士の役割、職業倫理等についてまとめ、理解を深める。	110分
第2回	病態生理と栄養食事療法（食道・胃・腸）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第3回	病態生理と栄養食事療法（肝・胆・膵）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第4回	病態生理と栄養食事療法（胆・膵・代謝・内分泌）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第5回	病態生理と栄養食事療法（脂質異常症・糖尿病・メタボリックシンドローム）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第6回	病態生理と栄養食事療法（高血圧症・心疾患・脳血管疾患）（集中講義を予定）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第7回	病態生理と栄養食事療法（呼吸器・腎臓）（集中講義を予定）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第8回	病態生理と栄養食事療法（腎臓）（集中講義を予定）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第9回	病態生理と栄養食事療法（血液・免疫・アレルギー）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分
第10回	病態生理と栄養食事療法（感染症・骨・関節・歯科・栄養欠陥・心身症）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】臓器の機能、疾患、ガイドラインについて復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめて理解を深める。	110分

第11回	病態生理と栄養食事療法（外科・小児疾患）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】手術時の病態、合併症の対応、栄養管理について理解を深める。	110分
第12回	病態生理と栄養食事療法（小児・高齢者疾患）	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】年代の特異性を整理し、病態、栄養管理について理解を深める。	110分
第13回	福祉・介護と臨床栄養、栄養法	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】医療保険・介護保険の理解を深めるとともに、静脈経腸栄養に伴うガイドラインを復習する。	120分
第14回	栄養評価・プランニング・栄養教育	
	【予習】教科書を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養評価指標をまとめ、栄養指標から病態を推測し、栄養計画を策定できるように理解を深める。	180分
第15回	定期試験に向けた総復習	
	【予習】病態生理と栄養食事療法について理解を深める。	180分
	【復習】臨地実習や管理栄養士国家試験に対応するために知識を深める。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	病態に適した栄養管理の知識と理解力を十分に習得している。	病態に適した栄養管理の知識と理解力を習得している。	病態に適した栄養管理の知識と理解力を習得してほぼばる。	病態に適した栄養管理の知識と理解力が少し不足している。	病態に適した栄養管理の知識と理解力が不足している。
LO-2					
LO-3	病態、栄養状態のアセスメントから、最も適切な栄養管理計画の立案ができる。	病態、栄養状態のアセスメントから、ほぼ適切な栄養管理計画の立案ができること。	病態、栄養状態のアセスメントから、栄養管理計画の立案がだいたいできること。	病態、栄養状態のアセスメントから、栄養管理計画の立案があまりできない。	病態、栄養状態のアセスメントから、栄養管理計画の立案ができない。
LO-4					
LO-5					

授業科目名	臨床栄養学特論			科目コード	A131-45				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	臨床栄養学特論II 病態に適応した栄養管理計画に基づき、適切な料		後継科目	臨床栄養学特論					
関連科目	臨床栄養学特論 臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給、栄養・食事計画の技術を学び、調理、供食を通して学ぶ。 疾病のケアプランを作成する。 献立の立案および食材の発注と購入。 調理実習 実習評価及びレポート提出。								
学習目標	栄養療法、食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養・食事計画の技術を学び、調理と供食を通して理解する。また、おいしく治療効果の上がる治療食の作成ができる能力を習得する。								
キーワード	ケアプラン 献立作成 調理 指導								
テキスト・ 参考書等	「臨床栄養学実習書」玉川和子 口羽章子 木戸詔子編著 医歯薬出版 「糖尿病の食品交換表」、「腎臓病の食品交換表」、その他								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	病態の身体栄養状態にあわせて栄養計画し食事計画をたて料理を提供するための専門知識と理解力を習得していること。								
LO-2	栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術を習得していること。								
LO-3	病態の身体栄養状態にあわせて栄養アセスメント、栄養管理計画からの食事計画が立案できること。								
LO-4	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢を保持していること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10	10		10			100
LO-1	25		5			10			40
LO-2	25			10					35
LO-3	10		5						15
LO-4	10								10
LO-5									
備考	試験(70%)、作成献立の評価(10%)、レポート等(10%)、平常点(10%)とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・実習態度の結果等を含む。調理実習前には栄養素等計算した予定献立を提出し、充実した実習につなげるとともに、実習後には実習献立を含むレポートを提出すること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	臨床栄養の基礎、一般治療食の基礎	
	【予習】教科書を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第2回	調理実習<栄養士実務経験で得た技術に基づく自主課題について>	
	【予習】自主献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	30分
	【復習】調理実習で学んだこと、他のグループの作品等から得た事柄を整理する。	30分
第3回	特別治療食の基礎 - 栄養成分管理治療食 - エネルギーコントロール食のケアプラン・献立作成	
	【予習】教科書5を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】授業のポイントを整理する。	30分
第4回	エネルギーコントロール食のケアプラン・献立作成	
	【予習】糖尿病食品交換表を用いた栄養計算方法を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第5回	調理実習<エネルギーコントロール食>	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	30分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他のグループの作品等から得た事柄を整理する。	30分
第6回	エネルギーコントロール食のケアプラン・献立作成、塩分管理<脂質異常症・心不全・高血圧症>	
	【予習】教科書を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第7回	調理実習<エネルギーコントロール食+塩分管理食>	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	30分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他のグループの作品等から得た事柄を整理する。	30分
第8回	たんぱく質コントロール食のケアプラン・献立作成	
	【予習】教科書を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第9回	たんぱく質コントロール食のケアプラン・腎臓病食品交換表	
	【予習】腎臓病食品交換表を予習する。教科書p.77～82を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき、献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第10回	調理実習<たんぱく質コントロール食・腎臓病食>	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	30分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他のグループの作品等から得た事柄を整理する。	30分

第11回	脂質コントロール食のケアプラン・献立作成	
	【予習】教科書を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第12回	調理実習<脂質コントロール食>・レポート作成	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	30分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他のグループの作品等から得た事柄を整理する。	30分
第13回	易消化食・鉄欠乏性貧血食・骨粗鬆症食・炎症性腸疾患他のケアプラン	
	【予習】教科書を読み、栄養管理の基礎知識を予習する。	30分
	【復習】栄養計画に基づき献立作成から発注までの作業を速やかに行うことができるようにする。	30分
第14回	病態栄養指導における調理実習計画策定、一連献立	
	【予習】栄養ケアプランや調理の基本の伝え方について予習する。	30分
	【復習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入するとともに、調理手順を明らかにしておく。	60分
第15回	調理実習<自主テーマ>15分で作る回復に向けた料理	
	【予習】献立に基づき発注し、材料を適切に購入する。調理グループでの役割分担を明らかにし、献立作成、調理のポイントや調理手順等で伝達すべき内容を整理しておく。	120分
	【復習】レポート作成。調理実習で学んだこと、他のグループの作品等から得た事柄を整理する。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	病態の身体栄養状態にあわせて栄養計画し食事計画をたて料理を提供するための専門知識と理解力を十分に習得している。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養計画し食事計画をたて料理を提供するための専門知識と理解力を習得していること。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養計画し食事計画をたて料理を提供するための専門知識と理解力をほぼ習得している。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養計画し食事計画をたて料理を提供するための専門知識と理解力は少し不足している。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養計画し食事計画をたて料理を提供するための専門知識と理解力が不足している。
LO-2	栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術を十分に習得している。	栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術を習得している。	栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術をほぼ習得している。	栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術の習得がやや不足している。	栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術を習得が不十分である。
LO-3	病態の身体栄養状態にあわせて栄養アセスメント、栄養管理計画からの食事計画が適切に立案できる。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養アセスメント、栄養管理計画からの食事計画が立案できる。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養アセスメント、栄養管理計画からの食事計画がほぼ立案できる。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養アセスメント、栄養管理計画からの食事計画をあまり立案できない。	病態の身体栄養状態にあわせて栄養アセスメント、栄養管理計画からの食事計画が立案できない。
LO-4	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢を常に保持している。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢を保持している。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢をほぼ保持している。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢に少し欠ける。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢に欠ける。
LO-5					

授業科目名	臨床栄養学特論（臨地実習：病院）			科目コード	A131-47				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	臨床栄養学特論III 実習は臨床栄養学特論の授業を終えた後期末試験		後継科目						
関連科目	臨床栄養学他管理栄養士養成のための全既取得科目								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	臨地実習先指導者のもとで、2週間（10日間）実際の医療機関等の施設の栄養管理方法の実際を学ぶ。また、各自の課題（テーマ）について実際の場でどのように問題を解決すればよいか考え、レポートにまとめる。後日、発表会を行う。								
学習目標	実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を修得する。								
キーワード	臨床栄養学 栄養管理 食事療養								
テキスト・ 参考書等	「臨床栄養学 栄養管理とアセスメント編 第3版」下田妙子編 化学同人「エッセンシャル臨床栄養学 第7版」佐藤和人他編 医歯薬出版 その他								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士として働くための知識や理解力を持っていること。								
LO-2	栄養計画を様々な形で実践する力があること。								
LO-3	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できること。								
LO-4	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、責任ある行動をとることができること。								
LO-5	臨床の場におけるモラル・責任感を持ち、表現力豊かに対応することができること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自身の健康管理に気をつけて、意欲的に学ぶこと。 実習態度（実習施設評価を含む）、実習レポート、課題発表を、総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	事前指導 第1回目 臨地実習の概要説明 実習ノート、実習課題内容を設定する。	
	【予習】実習施設のホームページや資料を確認する。事前打ち合わせの日程確認等を行う。	90分
	【復習】臨地実習で必要と考えられる資料、データ、基準等を整理する。	90分
第2回	事前指導 第2回目 臨地実習施設で日程等や資料と、実習課題についての事前学習等必要な事項の確認。また、実習先でのマナーも確認する。	
	【予習】実習施設へ交通経路も含め、安全な通勤の確認。課題を掘り下げて何を知りたいのか具体的な事柄を記述する。	90分
	【復習】事前打ち合わせで提供された資料や課題について見直す。自身の課題について指摘されたことの内容を検討。	90分
第3回	実習施設での臨地実習1日目 施設でのオリエンテーションと施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習1日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第4回	実習施設での臨地実習2日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習2日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第5回	実習施設での臨地実習3日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習3日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第6回	実習施設での臨地実習4日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習4日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第7回	実習施設での臨地実習5日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習5日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第8回	実習施設での臨地実習6日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習6日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第9回	実習施設での臨地実習7日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習7日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第10回	実習施設での臨地実習8日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習8日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分

第11回	実習施設での臨地実習 9 日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習 9 日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第12回	実習施設での臨地実習 10 日目 施設での実習計画による実習。(標準8時間/実時間)	
	【予習】実習 10 日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題についてまとめ、実習最終日に確認をしていただけるように準備する。また、実習ノートをまとめて実習指導担当者に提出ができるようにしておく。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。指導担当者からのアドバイスをもとに、管理栄養士業務を確認する。自身の課題についても整理する。	60分
第13回	事後指導 第 1 回目 実習のまとめ 実習報告会用資料作成 実習報告書冊子作成	
	【予習】資料を整理。	90分
	【復習】報告会のパワーポイントの要点をまとめる。	90分
第14回	事後指導 第 2 回目 パワーポイント作成	
	【予習】報告会のパワーポイントの要点・資料の確認。	90分
	【復習】パワーポイント、原稿等の確認。	90分
第15回	事後指導 第 3 回目 実習報告会 質疑 講評	
	【予習】発表内容、原稿の練習、確認。	90分
	【復習】実習で学んだ内容から管理栄養士業務を振り返り、今後の学習で補う必要のある知識技術を確認し、その充実に努める。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	管理栄養士として働くための知識や理解力を十分に持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力を持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力をほぼ持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力が少し欠けている。	管理栄養士として働くための知識や理解力が欠けている。
LO-2	栄養計画をより具体的に様々な形で実践する力がある。	栄養計画を様々な形で実践する力がある。	栄養計画を指示や指導を受けながら実践する力がある。	栄養計画を指示や指導を受けてもあまり実践することができない。	栄養計画を指示や指導を受けても実践することができない。
LO-3	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画を的確に立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画をおおまかに立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画があまり立案できない。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できない。
LO-4	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、他の実習者の規範となるような行動をとることができる。	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、責任ある行動をとることができる。	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、ほぼ責任ある行動をとることができる。	実習成果をまとめが十分といえず、発表に至るまでの経過を含め、少し無責任な行動がみられる。	実習成果をまとめができず、発表に至るまでの経過を含め、無責任な行動がみられる。
LO-5	臨床におけるモラル・責任感があり、積極的に患者・多職種等と関わり、表現力豊かに対応することができる。	臨床におけるモラル・責任感を持ち、表現力豊かに対応することができる。	臨床におけるモラル・責任感を学びながら、患者・他職種等との対応に努めている。	臨床におけるモラル・責任感が少し欠け、患者・他職種等との対応が十分とは言えない。	臨床におけるモラル・責任感が欠け、患者・他職種等との対応をとることができない。

授業科目名	栄養教育特論			科目コード	A133-10				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導	担当教員名	高木 尚紘						
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	栄養指導論	後継科目	栄養教育特論 公衆栄養学特論						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養教育に必要とされる技法等, 栄養教育に必要な知識を学習する.								
学習目標	健康的な生活習慣を形成するために、管理栄養士が果たす役割について学び、実践に活かせる実力を身につける。								
キーワード	栄養教育 行動科学理論 栄養カウンセリング								
テキスト・ 参考書等	春木敏 著 「エッセンシャル栄養教育」 医歯薬出版、日本栄養士会 編 「管理栄養士栄養士必携」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】栄養指導の概念や理論に関する知識などを十分に理解している。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】自ら進んで学ぶ積極的な学習態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	90								90
LO-2									
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5									
備考	A:授業への参加姿勢で評価、遅刻や欠席等で減点します								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 栄養教育特論について	
	【予習】シラバスを把握する	0分
	【復習】第1回目の内容を確認する	0分
第2回	行動科学理論とモデル 行動科学理論について	
	【予習】第2回目の内容について把握する	0分
	【復習】第2回目の内容について確認する	0分
第3回	行動科学理論とモデル 行動科学理論のモデルについて	
	【予習】第3回目の内容について把握する	0分
	【復習】第3回目の内容について確認する	0分
第4回	行動科学理論とモデル 行動科学理論のモデルについて	
	【予習】第4回目の内容について把握する	0分
	【復習】第4回目の内容について確認する	0分
第5回	栄養教育マネジメント 実態把握	
	【予習】第5回目の内容について把握する	0分
	【復習】第5回目の内容について確認する	0分
第6回	栄養教育マネジメント プランニング	
	【予習】第6回目の内容について把握する	0分
	【復習】第6回目の内容について確認する	0分
第7回	栄養教育マネジメント 評価について	
	【予習】第7回目の内容について把握する	0分
	【復習】第7回目の内容について確認する	0分
第8回	健康教育について	
	【予習】第8回目の内容について把握する	0分
	【復習】第8回目の内容について確認する	0分
第9回	栄養カウンセリング	
	【予習】第9回目の内容について把握する	0分
	【復習】第9回目の内容について確認する	0分
第10回	栄養教育に関わる各種施策、法律の理解 施策について	
	【予習】第10回目の内容について把握する	0分
	【復習】第10回目の内容について確認する	0分

第11回	栄養教育に関わる各種施策、法律の理解 法律について	
	【予習】第11回目の内容について把握する	0分
	【復習】第11回目の内容について確認する	0分
第12回	ライフステージ毎の栄養教育 妊娠期、乳・幼児期	
	【予習】第12回目の内容について把握する	0分
	【復習】第12回目の内容について確認する	0分
第13回	ライフステージ毎の栄養教育 学童期、思春期	
	【予習】第13回目の内容について把握する	0分
	【復習】第13回目の内容について確認する	0分
第14回	ライフステージ毎の栄養教育 成人期、高齢期	
	【予習】第14回目の内容について把握する	0分
	【復習】第14回目の内容について確認する	0分
第15回	栄養教育のまとめ	
	【予習】第15回目の内容について把握する	0分
	【復習】第15回目の内容について確認する	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養教育の内容がすべて理解できている	栄養教育の内容がほとんど理解できている	栄養教育の内容が概ね理解できている	栄養教育の内容が理解できている	栄養教育の内容がほとんど理解できていない
LO-2					
LO-3					
LO-4	授業の欠席が皆無で、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などを積極的に行っている。	授業の欠席がほとんど無く、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などをしっかり行っている。	授業の欠席あまり無く、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などを行っている。	欠席が2割未満で一定の予習、復習などを行っている。	欠席が多く意欲が見られない。
LO-5					

授業科目名	栄養教育特論			科目コード	A133-12				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導	担当教員名	高木 尚紘						
開講時期	1年後期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	栄養教育特論	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養教育特論 の内容を踏まえ、より実践的な技術や知識を身につける。								
学習目標	健康的な生活習慣を形成するために、管理栄養士が果たす役割について学び、実践に活かせる実力を身につける。								
キーワード	栄養教育 行動科学理論 栄養カウンセリング								
テキスト・ 参考書等	春木敏 著 「エッセンシャル栄養教育」 医歯薬出版、日本栄養士会 編 「管理栄養士栄養士必携2015年版」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメントにいかすことができる。								
LO-2									
LO-3	【思考・判断力】これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法が立案できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーをサポートできる。								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2									
LO-3			20						20
LO-4			30						30
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 栄養教育におけるプレゼンテーションについて	
	【予習】シラバスを把握する	0分
	【復習】第1回目の内容を確認する	0分
第2回	プレゼンエントリ準備について	
	【予習】第2回目の内容について把握する	0分
	【復習】第2回目の内容について確認する	0分
第3回	肥満と糖尿病併発患者の栄養教育方法	
	【予習】第3回目の内容について把握する	0分
	【復習】第3回目の内容について確認する	0分
第4回	脂質異常症の栄養教育について	
	【予習】第4回目の内容について把握する	0分
	【復習】第4回目の内容について確認する	0分
第5回	高尿酸血症の栄養教育について	
	【予習】第5回目の内容について把握する	0分
	【復習】第5回目の内容について確認する	0分
第6回	腎疾患の栄養教育について	
	【予習】第6回目の内容について把握する	0分
	【復習】第6回目の内容について確認する	0分
第7回	炎症性腸疾患(IBD:UC,CDについて)の栄養教育について	
	【予習】第7回目の内容について把握する	0分
	【復習】第7回目の内容について確認する	0分
第8回	授乳婦(36歳)の栄養教育について(模擬患者データあり)	
	【予習】資料第8回目の内容について把握する	0分
	【復習】第8回目の内容について確認する	0分
第9回	肥満・高血圧・脂質異常症患者の栄養教育について(模擬患者データあり)	
	【予習】資料第9回目の内容について把握する	0分
	【復習】第9回目の内容について確認する	0分
第10回	心筋梗塞・高尿酸血症の模擬患者の栄養教育について(模擬患者データあり)	
	【予習】資料第10回目の内容について把握する	0分
	【復習】第10回目の内容について確認する	0分

第11回	やせ・脂質異常症患者の栄養教育について（模擬患者データあり）	
	【予習】資料第11回目の内容について把握する	0分
	【復習】第11回目の内容について確認する	0分
第12回	やせ・高血圧患者の栄養教育について（模擬患者データあり）	
	【予習】資料第12回目の内容について把握する	0分
	【復習】第12回目の内容について確認する	0分
第13回	狭心症患者の栄養教育（模擬患者データあり）	
	【予習】資料第13回目の内容について把握する	0分
	【復習】第13回目の内容について確認する	0分
第14回	糖尿病・狭心症患者の栄養教育（模擬患者データあり）	
	【予習】資料第14回目の内容について把握する	0分
	【復習】第14回目の内容について確認する	0分
第15回	後期授業のまとめ	
	【予習】第15回目の内容について把握する	0分
	【復習】第15回目の内容について確認する	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養指導の知識が十分に備わりテストの正答率が100%	栄養指導の知識がほぼ身につけており、テストの正答率が80%以上、100%未満	栄養指導の知識についてある程度理解している程度で、テストの正答率が60%以上、80%未満	栄養指導について理解しておらずテストの正答率が30%以上、60%未満	栄養指導についてほとんど理解しておらず、テストの正答率が30%未満
LO-2					
LO-3	課題に対してこれまで学んだ知識を応用して具体的かつ客観的に分析・説明されている。	課題に対してこれまで学んだ知識を元に具体的かつ客観的に分析・説明されている。	課題に対して主観的に分析・説明されている	課題に対して分析・説明が不十分である。	課題に対して誤った分析・説明がある。
LO-4	授業の欠席が皆無で、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などを積極的に行っている。	授業の欠席がほとんど無く、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などをしっかり行っている。	授業の欠席あまり無く、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などを行っている。	欠席が2割未満で一定の予習、復習などを行っている。	欠席が多く意欲が見られない。
LO-5					

授業科目名	公衆栄養学特論			科目コード	A133-20				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導		担当教員名	桑守 豊美 由田 克士					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	(短期)大学等で履修した公衆栄養学、または類似科目 栄養教育特論		後継科目	公衆栄養学特論 公衆栄養学特論 (公衆栄養学臨地実習) 健康管理概論					
関連科目	栄養教育特論、応用栄養学特論(栄養学各論)、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	地域住民の健康の維持・増進、QOLの向上を図るために、対象をとりまく地域社会の情報を収集・分析し、総合的に健康に関わる栄養上の問題点を発見する能力を養う。また、それぞれの集団に適切な栄養サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価を行うことができる総合的なマネジメントに必要な理論と方法を習得する。いくつかの、学生のグループを作り、異なった範囲を理解し他のグループに説明する方法も聞いて理解を深める。								
学習目標	1、栄養士の業務である個人、集団(地域)の栄養教育の知識と技能を習得する。 2、問題点の把握、解決法の構築、対象者への説明・実践法の提示、支援方法などを修得する。								
キーワード	公衆栄養、栄養教育								
テキスト・ 参考書等	古野純典 等 編集 「健康・栄養科学シリーズ 公衆栄養学」 南江堂								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	集団(地域)の栄養や健康の現状や課題、調査・分析方法、行政施策等をふまえた上で、地域への栄養教育の意義・方法等を理解し説明ができる。								
LO-2									
LO-3	集団(地域)の栄養や健康の現状や課題・行政施策等をふまえた上で、個人や集団への栄養教育・栄養指導を、基本的な範囲で立案することが可能である。								
LO-4									
LO-5									
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		20			10			100
LO-1	50		10			10			70
LO-2									
LO-3	20		10						30
LO-4									
LO-5									
備考	成績評価は以下の ~ を基にして総合的に判定する。 レポート:2回各10点、 試験:70点 受講意欲・態度:10点(A) 個人の食生活を正しく変容させるには、自分自身が変わり対象を理解することから始まり、正確な知識と変容してもらうためのいろいろの技能が必要です。身のまわりの事に興味・関心を持ち、考え方、行動を変容してもらう方法のひき出しを作りましょう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(桑守担当) 公衆栄養学の概念、栄養関連法規	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第2回	(桑守担当) 栄養関連法規	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第3回	(桑守担当) 栄養施策	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第4回	(桑守担当) 栄養施策・栄養指針	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第5回	(桑守担当) 食事摂取基準とは	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第6回	(桑守担当) 食事摂取基準の活用	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第7回	(桑守担当) 公衆栄養マネジメント(概念・アセスメント)	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第8回	(桑守担当) 公衆栄養マネジメント(計画・実施・評価)	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。	100分
第9回	(桑守担当) 健康日本21	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。またテスト等に向けた総復習も行う。	100分
第10回	(桑守担当) 特定健康診査・特定保健指導	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。	60分
	【復習】授業のノートと授業と関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。またテスト等に向けた総復習も行う。	100分

第11回	(桑守担当) 諸外国における健康・栄養問題の現状と課題	集中授業	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。		60分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。またテスト等に向けた総復習も行う。		100分
第12回	(由田担当) 栄養疫学	集中授業	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。		60分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。		100分
第13回	(由田担当) 国民健康・栄養調査	集中授業	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。		60分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。		100分
第14回	(由田担当) 我が国の健康・栄養の現状	集中授業	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。		60分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。		100分
第15回	(由田担当) 我が国の健康・栄養の課題	集中授業	
	【予習】授業範囲の教科書の部分を読み、予め理解しておく。		60分
	【復習】授業のノートと授業に関連した教科書の部分を読み返し、しっかり復習しておく。必要なレポート作成の準備を進める。定期試験のため、全ての授業を復習・まとめを行い準備をする。		400分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	集団に対する栄養把握・健康の増進について、実際の方法・施策に則して十分理解し説明ができる。	集団に対する栄養把握・健康の増進について、実際の方法・施策に則して理解し説明ができる。	集団に対する栄養把握・健康の増進について、実際の方法・施策に則して必要な範囲で理解し説明ができる。	集団に対する栄養把握・健康の増進について、実際の方法・施策に則して不十分だが理解し説明ができる。	集団に対する栄養把握・健康の増進について、実際の方法・施策に則した理解ができず説明もできない。
LO-2					
LO-3	個人又は集団の栄養指導を、地域の集団に対する栄養・健康増進の実践計画、課題を踏まえつつ、基本的な計画は十分立てられる。	個人又は集団の栄養指導を、地域の集団に対する栄養・健康増進の実践計画、課題を踏まえつつ、基本的な計画は立てられる。	個人又は集団の栄養指導を、地域の集団に対する栄養・健康増進の実践計画、課題を踏まえつつ、必要な範囲で基本的な計画は立てられる。	個人又は集団の栄養指導を、地域の集団に対する栄養・健康増進の実践計画、課題を踏まえつつ、不十分だが基本的な計画は立てられる。	個人又は集団の栄養指導を、地域の集団に対する栄養・健康増進の実践計画、課題を踏まえた基本的な計画は立てることができない。
LO-4					
LO-5					

授業科目名	公衆栄養学特論			科目コード	A133-22				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導		担当教員名	桑守 豊美 稗苗 智恵子					
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	公衆栄養学特論		後継科目	公衆栄養学特論 (臨地実習：保健所等) 健康管理概論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	公衆栄養学特論 で学ぶ知識や技能を演習で確認し習得する。併せて、公衆栄養学特論 (臨地実習) に向けて、下準備、研修テーマを決定する。								
学習目標	個人、集団の栄養教育のためのアセスメント、栄養計画、実施、評価のあり方をマスターする。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	古野純典 編集 「健康・栄養科学シリーズ 公衆栄養学」 南江堂 その他、プリント配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2	日本の食に関する、行政施策・法令等を理解したうえで、個人、集団の栄養教育のためのアセスメント、栄養計画、実施、評価について、実践力を身に付ける。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1									
LO-2			60		20	20			100
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	成績評価は以下の ~ を基にして総合的に判定する。 レポート：4回各15点 計60点、発表：4回各5点 計20点、 受講意欲・態度：20点(A) 常に、自ら学ぶ姿勢で、管理栄養士としての知識・技能を習得する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(桑守担当) 公衆栄養学の概念	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第2回	(桑守担当) 我が国の食の変遷と現状	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第3回	(桑守担当) 栄養関連法規	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第4回	(桑守担当) 我が国の栄養施策	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第5回	(桑守担当) 食事摂取基準	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第6回	(桑守担当) 食事摂取基準の活用	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第7回	(桑守担当) 地域のアセスメント	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第8回	(桑守担当) 栄養調査の種類および調査の実施	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第9回	(桑守担当) 栄養調査の集計およびまとめ	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第10回	(桑守担当) 諸外国の栄養の現状と問題点	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学 のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分

第11回	(桑守担当) 公衆栄養活動	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第12回	(桑守担当) 公衆栄養活動の実際	
	【予習】教科書の授業範囲と公衆衛生学のノート・プリントを読み、理解しておく。発表準備も段階的に進める。	20分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。レポート提出に向けて準備を段階的に進める。	25分
第13回	(稗苗担当) 臨地実習の目的	
	【予習】公衆栄養学ま臨地実習の前年度実施資料をよく読み、各自の研修テーマを絞り込んでおく。	45分
	【復習】授業の内容を復習し、ノートを整理しておく。	15分
第14回	(稗苗担当) 臨地実習 課題設定・提出し、実習先の業務内容を資料を調査・把握する。	
	【予習】公衆栄養学の臨地実習の各自の研修テーマを決定し、案を練っておく。	45分
	【復習】授業を復習し、ノートを整理しておく。公衆栄養学の臨地実習のテーマを確認し必要があれば推敲する。	15分
第15回	(稗苗担当) 臨地実習 オリエンテーション 保健所等からゲストスピーカーを招き講演を聴く。	
	【予習】予習は特に必要ない。	0分
	【復習】授業を復習し、ノートを整理しておく。公衆栄養学の臨地実習のスケジュールを確認する。	15分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2	個人や集団の栄養教育のためのアセスメント・栄養計画・実施・評価を、十分に理解し実践に結び付けることができる。	個人や集団の栄養教育のためのアセスメント・栄養計画・実施・評価を、理解して実践に結び付けることができる。	個人や集団の栄養教育のためのアセスメント・栄養計画・実施・評価を、必要な範囲で理解し実践できる。	個人や集団の栄養教育のためのアセスメント・栄養計画・実施・評価を、やや不十分ではなが理解し実践できる。	個人や集団の栄養教育のためのアセスメント・栄養計画・実施・評価を、理解せず実践に繋がられない。
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	公衆栄養学特論（臨地実習：保健所等）			科目コード	A133-24				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導	担当教員名	稗苗 智恵子						
開講時期	2年前期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	実習は公衆栄養学特論の授業を終えた前期末試験終了後に行う。学内で学んだ知識・技能を整理す	後継科目							
関連科目	公衆栄養学他管理栄養士養成のための全既取得科目								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	厚生センター・保健所や市町村保健センターなどにおいて、実習施設の指導者のもとで臨地実習を行う。、実習は2年生の8月～9月に1週間（5日間：1単位）、実習施設と打合せ調整をして行う。事前事後指導は学内で行い、実習報告書を冊子として作成し、発表会を行う。								
学習目標	実践の場で、アセスメント、課題発見、解決のための事業に参加する。栄養評価・判定に基づく適切なマネージメントを行うために必要な専門的知識及び技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を習得する。								
キーワード	公衆衛生 公衆栄養 多職種協働								
テキスト・ 参考書等	公衆栄養学特論 および で使用した教材他								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士として働くための知識や理解力を持っていること。								
LO-2	栄養計画を様々な形で実践する力があること。								
LO-3	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できること。								
LO-4	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、責任ある行動をとることができること。								
LO-5	公衆栄養の場におけるモラル・責任感を持ち、表現力豊かに対応することができること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自身の健康管理に気をつけて、意欲的に学ぶこと。 実習態度（実習施設評価を含む）、実習レポート、課題発表を、総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（行政栄養士からのオリエンテーションを含む） 日程および実習施設決定 実習の心得・注意事項	
	【予習】実習施設のホームページや資料を確認する。事前打ち合わせの日程確認等を行う。	90分
	【復習】臨地実習で必要と考えられる資料、データ、基準等を整理する。	90分
第2回	事前指導 第1回目 臨地実習施設で日程等や資料と、実習課題についての事前学習等必要な事項の確認。また、実習先でのマナーも確認する。 実習ノート、臨地実習票、細菌検査証、抗体価証明、評価票等提出	
	【予習】実習施設へ交通経路も含め、安全な通勤の確認。課題を掘り下げて何を知りたいのか具体的な事柄を記述する。	90分
	【復習】事前打ち合わせで提供された資料や課題について見直す。自身の課題について指摘されたことの内容を検討。	90分
第3回	実習施設での臨地実習1日目 施設でのオリエンテーションと施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習1日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。 自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。 自身の課題についても整理する。	60分
第4回	実習施設での臨地実習2日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習2日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。 自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。 自身の課題についても整理する。	60分
第5回	実習施設での臨地実習3日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習3日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。 自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。 自身の課題についても整理する。	60分
第6回	実習施設での臨地実習4日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習4日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。 自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。 自身の課題についても整理する。	60分
第7回	実習施設での臨地実習5日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習5日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。 自身の課題についてまとめ、実習最終日に確認をしていただけるように準備する。 また、実習ノートをまとめて実習指導担当者に提出ができるようにしておく。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。指導担当者からのアドバイスをもとに、管理栄養士業務を確認する。自身の課題についても整理する。	60分
第8回	事後指導 第1回目 実習のまとめ 実習報告会用資料作成 実習報告書冊子作成 報告会のパワーポイントの要点をまとめる。	
	【予習】報告会のパワーポイントの要点・資料の確認。	90分
	【復習】パワーポイント、口述原稿等の確認。	90分
第9回	事後指導 第2回目 実習報告会 質疑 講評。	
	【予習】発表内容、原稿の練習、確認。	90分
	【復習】実習で学んだ内容から管理栄養士業務を振り返り、今後の学習で補う必要のある知識技術を確認し、その充実に努める。	90分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	管理栄養士として働くための知識や理解力を十分に持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力を持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力をほぼ持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力が少し欠けている。	管理栄養士として働くための知識や理解力が欠けている。
LO-2	栄養計画をより具体的に様々な形で実践する力がある。	栄養計画を様々な形で実践する力がある。	栄養計画を指示や指導を受けながら実践する力がある。	栄養計画を指示や指導を受けてもあまり実践することができない。	栄養計画を指示や指導を受けても実践することができない。
LO-3	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画を的確に立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画をおおまかに立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画があまり立案できない。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できない。
LO-4	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、他の実習者の規範となるような行動をとることができる。	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、責任ある行動をとることができる。	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、ほぼ責任ある行動をとることができる。	実習成果をまとめが十分といえず、発表に至るまでの経過を含め、少し無責任な行動がみられる。	実習成果をまとめができず、発表に至るまでの経過を含め、無責任な行動がみられる。
LO-5	公衆栄養の場におけるモラルや責任感を持ち、住民や多職種とのかかわりにおいて表現力豊かに対応することができる。	公衆栄養の場におけるモラル・責任感を持ち、表現力豊かに対応することができる。	公衆栄養の場におけるモラル・責任感を持ち、その対応ができるように努めている。	公衆栄養の場におけるモラル・責任感がやや欠けており、その対応が十分とは言えない。	公衆栄養の場におけるモラル・責任感が欠けており、その対応ができていない。

授業科目名	健康管理概論			科目コード	A133-30				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導		担当教員名	青島 恵子					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	病理学特論、臨床栄養学特論、公衆栄養学特論、公衆栄養学特論		後継科目						
関連科目	保健衛生学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	生活習慣病のうち高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の主要疾患を取り上げ、現状の把握と今後の対策を展望し、管理栄養士の役割を考察する。参考書、プリント、PCプロジェクターを用いた講義、ならびに討論形式の発表など自ら考える講義を行う。								
学習目標	生活習慣病主要疾患の疫学、病態、治療、予防について理解し、実際の現場において適用できる能力を身に付ける。								
キーワード	生活習慣病、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、一次予防、健康日本21								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「国民衛生の動向 2017/2018」（2017年8月31日発行予定） 参考書：高島 豊、櫻井 裕 編著「社会・環境と健康」、医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の疫学、病態、治療、予防に関する最新の知識ならびに考え方を修得する。								
LO-2									
LO-3	最新の知識ならびに考え方を学ぶ上で、多くの情報から適切な情報を選び取ることができる批判的検討・分析能力を身に付ける。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代の健康問題の特徴	
	【予習】自分にとって、健康に必要なものを考える。 現代の健康問題として、どのような問題が新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネットなどで取り上げられているかを列挙する。	60分
	【復習】講義を通して、健康について考えたことをまとめる。	120分
第2回	ライフステージ別健康管理	
	【予習】「国民衛生の動向 2017/2018」の母子保健、妊産婦死亡、周産期死亡、乳児死亡、学校保健、労働衛生の項を、目を通しておく。	60分
	【復習】ライフステージ別の健康管理対策と栄養の問題を復習して、ノートにまとめる。	120分
第3回	健康・栄養関連データのまとめ方と批判的吟味 エクセルファイルを使用してデータ入力、作図を行うので、コンピュータを持参すること。	
	【予習】エクセルファイルのデータ入力、作図方法を予習する。	60分
	【復習】厚生労働省「国民健康・栄養調査」のデータより栄養素等摂取量の経年変化をまとめる。 日本人のエネルギー・栄養摂取状況の歴史の変遷を検討して、考えたことをまとめる。	120分
第4回	食の変化と主要疾患の疫学	
	【予習】「国民衛生の動向 2017/2018」の人口動態の中で、死亡、死因、がん対策などの項を、目を通しておく。	60分
	【復習】食の変化が日本人の疾病構造、とくに死因構造にどのような影響を及ぼしてきたかを考えて、ノートにまとめる。	120分
第5回	感染症	
	【予習】「国民衛生の動向 2017/2018」の感染症対策の項を、目を通しておく。	60分
	【復習】「国民衛生の動向」の感染症の項を、再度精読する。感染症類型を覚える。結核対策を確認する。予防接種の最新の動向を確認する。	120分
第6回	糖尿病の病態と診断～食事療法指導のために～	
	【予習】糖質に関する生化学的な基礎事項（糖質の分類、糖質代謝）を予習する。	60分
	【復習】糖尿病の病態と診断に関する最新の知識を整理する。	120分
第7回	地域、職域における糖尿病管理ストラテジー	
	【予習】糖尿病の疫学について、とくに日本と諸外国の動向の相違を予習する。	60分
	【復習】地域と職域における対象者の相違に基づく、糖尿病対策とくに栄養指導を考える。	120分
第8回	脂質異常症（その1）～病態理解のために～	
	【予習】脂質に関する生化学的な基礎事項（脂質の分類、脂質代謝）を予習する。	60分
	【復習】リポ蛋白質の構造、種類、代謝をノートにまとめる。図解できるようにする。	120分
第9回	脂質異常症（その2）～治療ならびに予防～	
	【予習】脂質異常症の疫学について、とくに日本と諸外国の動向の相違について予習する。	60分
	【復習】脂質異常症の病態と診断に関する最新の知識を整理する。	120分
第10回	血圧～働き盛りの高血圧予防のために～	
	【予習】血圧に関する生理学的、生化学的基礎事項を予習する。	60分
	【復習】高血圧症の病態と診断に関する最新の知識を整理する。	120分

第11回	高血圧～一次予防、二次予防～	
	【予習】高血圧に関する新書などの、一般書を読む。	60分
	【復習】高血圧の一次予防、二次予防を、文献などを参照に自分なりのまとめを作成する。	120分
第12回	肥満・メタボリックシンドローム	
	【予習】肥満の定義、体脂肪量の測定方法、肥満の判定などを予習する。	60分
	【復習】メタボリックシンドロームの病態と診断に関する最新の知識を整理する。	120分
第13回	骨粗鬆症	
	【予習】骨の構造と代謝に関して予習する。	60分
	【復習】骨粗鬆症の定義、分類、診断基準について最新の知識を整理する。	120分
第14回	喫煙・飲酒の現状と対策	
	【予習】「国民衛生の動向 2017/2018」の飲酒対策、たばこ対策の項を、目を通しておく。	60分
	【復習】喫煙・飲酒の現状と対策について、他の人に説明できるように自分の考えをまとめる。	120分
第15回	睡眠障害・健康日本21・歯科保健・慢性腎臓病	
	【予習】「国民衛生の動向 2017/2018」の健康増進対策の項を、目を通しておく。	60分
	【復習】健康日本21の課題と対策の実際について、課題別に整理する。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の疫学、病態、治療、予防についてほぼ理解できる(100～90%)	高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の疫学、病態、治療、予防についてほぼ理解できる(89～80%)	高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の疫学、病態、治療、予防の理解度が79～70%	高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の疫学、病態、治療、予防の理解度が69～60%	高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の疫学、病態、治療、予防などの理解度が50%以下
LO-2					
LO-3	現代の健康問題に関して、学術雑誌、商業雑誌、マスコミ(新聞、テレビなど)の情報を積極的に得ようと努力し、さらに自分の考えをまとめ、発表すること	現代の健康問題に関して、学術雑誌、商業雑誌、マスコミ(新聞、テレビなど)の情報を積極的に得ようと努力し、さらに自分の考えをまとめることができ	現代の健康問題に関して、学術雑誌、商業雑誌、マスコミ(新聞、テレビなど)の情報を積極的に得ようと努力し、それに対する自分の考えがない。	現代の健康問題に関して、情報を得ようと努力しない。	現代の健康問題に関して、興味をもてない。関心がない。
LO-4					
LO-5					

授業科目名	調理学特論			科目コード	A135-10				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 給食の運営	担当教員名	深井 康子						
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	調理学に関する基礎的知識	後継科目	調理学特論						
関連科目	食品学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	調理学における人間と食べ物のかかわりについて基本的な考え方を学び、健康的な日常生活を送るための栄養バランスを考え、献立作成や供食法について理解する。またおいしさの本質を評価する手段を学び、調理過程の各操作や素材に及ぼす影響や栄養・嗜好機能に加えて、好ましい食物を作り出すための適切な調理条件を修得する								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な調理学の基本的知識を修得すること								
キーワード	健康的 おいしさの本質 調理操作 栄養機能								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「時代とともに歩む 新しい調理学」川端晶子他編 学建書院 参考書：「調理学 食べ物と健康4」木戸詔子他編 化学同人								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	調理学の専門的知識と理解力を修得していること								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	専門職に相応しいモラルや態度など総合力を備えていること								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	調理学特論の授業概要を説明し、人間と食べ物のかかわりについて解説する	
	【予習】テキストp.1～17を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第2回	食事設計 献立論と供食論 について解説する	
	【予習】テキストp.19～40を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第3回	美味論のおいしさの科学について解説する	
	【予習】テキストp.41～61を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第4回	美味論のおいしさの文化と評価について解説する	
	【予習】テキストp.62～68を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第5回	調理システムと調理機器の調理操作と調理器具について解説する	
	【予習】テキストp.69～85を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第6回	調理機器と調理システム、エネルギー源について解説する	
	【予習】テキストp.85～104を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第7回	食品の調理機能と調理機能、植物性食品（穀類、いも類）について解説する	
	【予習】テキストp.105～123を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第8回	植物性食品（豆類・種実類、野菜類、果実類、海藻類、きのこ類）について解説する	
	【予習】テキストp.123～138を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第9回	動物性食品（食肉類、魚介類）について解説する	
	【予習】テキストp.139～150を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第10回	動物性食品（卵類、乳類）について解説する	
	【予習】テキストp.150～159を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分

第11回	抽出食品素材（でん粉、油脂類、ゲル化食品素材）について解説する	
	【予習】教科書p.160～172を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第12回	調味料と香辛料の調理機能について解説する	
	【予習】テキストp.173～181を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第13回	調理環境、食情報、外食産業、エコクッキング、調理衛生について解説する	
	【予習】テキストp.183～198を読んで、理解する	30分
	【復習】説明した内容についてまとめ、理解し復習する	60分
第14回	管理栄養士国家試験問題を解き、解説する	
	【予習】テキストp.206～210の（1）～（14）の問題を解いて、わからなかった箇所を見出しておく	30分
	【復習】テキストで問題点を確認し、復習して理解を深める トp.211～213の（1）～（13）の問題を解いて、わからなかった箇所を見出しておく	テキスト 60分
第15回	これまで解説した内容についてポイントを確認し、解説する	
	【予習】テキストのすべての範囲を確認し、配布プリントやノートをまとめて整理しておく	60分
	【復習】期末試験の範囲をよく理解し、試験に備えて要点を整理する	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	調理学の高い専門的知識と深い理解力を修得している	調理学の専門的知識と理解力を修得している	調理学の専門的知識と理解力をおおよそ修得している	調理学の専門的知識と理解力がやや不十分である	調理学の専門的知識と理解力が非常に不十分である
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	専門職に相応しいモラルや態度など総合力が十分に備わっている	専門職に相応しいモラルや態度など総合力が備わっていること	専門職に相応しいモラルや態度など総合力がおおよそ備わっている	専門職に相応しいモラルや態度など総合力がやや不十分である	専門職に相応しいモラルや態度など総合力が非常に不十分である

授業科目名	調理学特論			科目コード	A135-12				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 給食の運営	担当教員名	深井 康子						
開講時期	2年後期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	調理学特論	後継科目							
関連科目	食品学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食べ物とおいしさの関係が健康につながるという調理を目指し、懐石、環境に配慮した調理、富山の薬膳料理・郷土料理、世界の調理や官能評価の立案・実施を行い、専門的な調理法と調理技術の修得に努める。								
学習目標	調理学の専門的知識を基に素材の調理特性を生かして、おいしく、再現性のある、対象者に適した調理ができる 高度な調理技術が身についている 食卓をコーディネートできる感性が豊かである								
キーワード	懐石 官能評価 環境に配慮した調理 薬膳料理 郷土料理								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「時代とともに歩む 新しい調理学」川端晶子他編 学建書院 参考書：「調理学 食べ物と健康4」木戸詔子他編 化学同人								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2	高度な専門的知識を基に調理のために必要な確かな技術・実践力、説得力などを修得していること								
LO-3	調理学の専門知識を基に分析・把握ができ、立案できる応用能力を備えていること								
LO-4									
LO-5	専門職に相応しいモラルや態度など総合力を備えていること								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30	50		20			100
LO-1									
LO-2				50					50
LO-3			30						30
LO-4									
LO-5						20			20
備考	その他：Aは授業の態度・意欲などを総合的に評価する。 実習ノートは提出を促す時は、コメントをつけて返却する。実技試験ではどの点が悪かったのはひとり一人に説明し、フィードバックする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	調理学特論 の授業概要、懐石の献立構成と道具について解説する	
	【予習】テキストの供食論 懐石料理 (p.30 ~ 31) を読んで理解する	20分
	【復習】配布プリントの要点を確認し、復習する	30分
第2回	正午の懐石の献立を解説し、実習する	
	【予習】第1回で配布した懐石のプリントをよく読んで、理解しておく	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第3回	懐石の主菓子・干菓子について解説し、実習する	
	【予習】懐石の主菓子・干菓子について調べ、菓子材料の特徴について理解する	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第4回	食品の官能評価の手法(評点法)をグループごとに計画・立案する 五味の識別試験を行う	
	【予習】テキストのおいしさの評価p.64 ~ 67を読んで、理解しておく	20分
	【復習】説明したプリントの内容を復習し、評価法以外の手法についても理解を深める	50分
第5回	グループで官能評価の評点法を実施する	
	【予習】官能評価の評点法の手順を予習し、試料や解析法の確認をする	20分
	【復習】官能評価の結果を集計しまとめ、解析を行い、レポートを整理する	50分
第6回	グループごとに実施した官能評価について発表を行う	
	【予習】グループ発表に向けて結果をまとめ、解析を行い、問題点を見つけておく	20分
	【復習】解析法について調べ、異なる検定でも解析を行ってみる	60分
第7回	環境に配慮した野菜丸ごと用いた調理について解説し、実習する	
	【予習】テキストの調理環境論 エコクッキング (p.193 ~ 194) を読んで、理解する	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第8回	環境に配慮した我が家のエコクッキングを実習する	
	【予習】実習する調理の作り方、手順、持参する材料を確認しておく	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第9回	食の传承人を講師に招き、郷土料理を実習する	
	【予習】富山の郷土料理、各自が住んでいる地域の郷土料理について調べる	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	60分
第10回	薬膳料理の材料と効能について解説し、実習する	
	【予習】薬膳料理とは何か、材料と生薬、効能について調べる	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	60分

第11回	富山の冬の家庭料理を実習する	
	【予習】実習する調理の作り方や手順、持参する材料を準備する	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第12回	世界の料理についてその国の特徴を解説し、実習する	
	【予習】世界の伝統的料理について調べる	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第13回	実技試験：鶏もも肉を用いた薬膳料理	
	【予習】実習する料理手順を確認し、材料の準備をする	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第14回	富山の郷土料理を実習する	
	【予習】富山の郷土料理について調べる	20分
	【復習】実習ノートに実習内容の要点をまとめて整理する	50分
第15回	調理と食育の役割について最近の話題を通して、栄養士・管理栄養士としての関わり方を考える	
	【予習】調理と食育の役割について栄養士の立場で必要なことについて考えておく	20分
	【復習】栄養士として調理との関わり方について確認し、整理する	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2	調理技術・実践力、説得力などを確実に修得している	調理技術・実践力、説得力などを修得している	調理技術・実践力、説得力などをおおむね修得している	調理技術・実践力、説得力などをほとんど修得していない	調理技術・実践力、説得力などを非常に修得していない
LO-3	高い分析力、応用能力を十分に備えている	分析力、応用能力を備えている	分析力、応用能力をおおむね備えている	分析力、応用能力をほとんど備えていない	分析力、応用能力を非常に備えていない
LO-4					
LO-5	専門職に相応しいモラルや態度など総合力を十分に備えている	専門職に相応しいモラルや態度など総合力を備えている	専門職に相応しいモラルや態度など総合力をおおむね備えている	専門職に相応しいモラルや態度など総合力をほとんど備えていない	専門職に相応しいモラルや態度など総合力を備えず、非常に不十分である

授業科目名	給食管理特論			科目コード	A135-20				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 給食の運営		担当教員名	大森 聡					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	情報処理特論 経営管理特論 (短期) 大学等で履修した給食管理論、または類似科目		後継科目						
関連科目	情報処理特論、経営管理特論、調理学特論I、調理学特論II								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	給食管理を円滑に行うための食事計画や給食サービス、食品流通、給食組織・経費、安全等を総合的に判断し、満足度の高い食事のマネジメントができる能力を培うとともに、給食経営の組織管理やマーケティングの基本と応用力を身につける。								
学習目標	管理栄養士国家試験に合格し得る知識・能力を修得すること。								
キーワード	給食経営管理 栄養管理 管理栄養士国家試験								
テキスト・ 参考書等	韓順子、大仲佳子著書 「給食経営管理論」 第一出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面など全般のマネジメントを行う能力がある								
LO-2	給食運営の知識を基に職務遂行のための確かな技術・実践力を修得している								
LO-3	適切な栄養管理ができ、計画・立案ができる								
LO-4									
LO-5	栄養管理の専門職に相応しい倫理観、経営管理などの全人的な総合力が備わっている								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	50								50
LO-2	10		10						20
LO-3	10		10						20
LO-4									
LO-5			10						10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」授業方針の説明 給食の概要について理解する	
	【予習】給食の概要、健康増進法および給食に関する関連法規について理解する	60分
	【復習】給食の概要について理解を深める	120分
第2回	給食システム、給食を提供する施設と関連法規について理解する	
	【予習】給食システム、給食を提供する施設と関連法規について理解する	60分
	【復習】給食の概念についての理解を深める	120分
第3回	給食経営管理の概念について説明する	
	【予習】給食経営管理の概念について理解する	60分
	【復習】給食経営管理について理解を深める	120分
第4回	給食における栄養・食事管理 栄養・食事のアセスメント、日本人の食事摂取基準について説明する	
	【予習】栄養・食事のアセスメント、日本人の食事摂取基準、給与栄養目標量設定について理解する	60分
	【復習】栄養・食事のアセスメントについて理解を深める	120分
第5回	給食における栄養・食事管理 栄養・食事計画の実施、評価、改善について説明する	
	【予習】栄養・食事計画の実施、評価、改善について理解しておく	60分
	【復習】栄養・食事計画の実施、評価、改善について理解を深める	120分
第6回	給食の品質について説明する	
	【予習】給食の品質を理解しておく	60分
	【復習】給食の品質について理解を深める	120分
第7回	給食の生産（調理） について説明する	
	【予習】給食の生産（原価・食材）について理解しておく	60分
	【復習】給食の生産（調理）について理解を深める	120分
第8回	給食の生産（生産と提供） について説明する	
	【予習】給食の生産（調理）と提供について理解しておく	60分
	【復習】給食の生産（調理）について理解を深める	120分
第9回	給食の安全・衛生について説明する	
	【予習】給食の安全・衛生について理解しておく	60分
	【復習】給食の安全・衛生について理解を深める	120分
第10回	事故・災害時対策について説明する	
	【予習】事故・災害時対策を理解しておく	60分
	【復習】事故・災害時対策について理解を深める	120分

第11回	給食の施設・設備管理について説明する	
	【予習】施設・設備について理解しておく	60分
	【復習】給食の施設・設備について理解を深める	120分
第12回	給食の組織・人事管理について理解する	
	【予習】給食の人事・事務について把握しておく	60分
	【復習】給食の組織・人事管理について理解を深める	120分
第13回	国試対策のための練習問題と解説	
	【予習】国試に向けて問題点を確認し、不明点・理解不足の点を明らかにしなおす。	60分
	【復習】実施した練習問題の問題点を確認し、不明点・理解不足の点を明らかにする。	120分
第14回	国試対策のための練習問題と解説	
	【予習】これまでのテキスト、練習問題などすべての範囲を確認し、不明点・理解不足の点を明らかにする。	60分
	【復習】これまでの内容をすべて確認し理解する	120分
第15回	総合的まとめを行い、期末試験に向けての学習ポイントを説明する	
	【予習】これまでのテキスト、練習問題などすべての範囲を確認し、不明点・理解不足の点を明らかにする。	60分
	【復習】定期試験に向けてこれまでの内容をすべて確認し理解する	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力が十分ある	給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力がある	給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力がある程度ある	給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力が多少ある	給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力が殆どない
LO-2	給食運営の知識を基に職務遂行のための確かな技術・実践力を十分に修得している	給食運営の知識を基に職務遂行のための確かな技術・実践力を修得している	給食運営の知識を基に職務遂行のための確かな技術・実践力がある程度修得している	給食運営の知識を基に職務遂行のための確かな技術・実践力を多少修得している	給食運営の知識を基に職務遂行のための確かな技術・実践力を殆ど修得していない
LO-3	適切な栄養管理ができ、計画・立案が十分にできる	適切な栄養管理ができ、計画・立案ができる	適切な栄養管理ができ、計画・立案がある程度できる	適切な栄養管理ができ、計画・立案が多少できる	適切な栄養管理ができ、計画・立案が殆どできない
LO-4					
LO-5	栄養管理の専門職に相応しい倫理観、経営管理などの全人的な総合力が十分に備わっている	栄養管理の専門職に相応しい倫理観、経営管理などの全人的な総合力が備わっている	栄養管理の専門職に相応しい倫理観、経営管理などの全人的な総合力がある程度備わっている	栄養管理の専門職に相応しい倫理観、経営管理などの全人的な総合力が多少備わっている	栄養管理の専門職に相応しい倫理観、経営管理などの全人的な総合力が殆ど備わっていない

授業科目名	栄養士総合特論			科目コード	A151-11				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	高木 尚紘 大森 聡					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	学科及び専攻科の全専門科目・関連科目		後継科目	栄養総合特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	<p>個人や社会の健康状態を的確にとらえオーダーメイドの指導計画に対応できる栄養士の基礎となる、広範囲にわたる栄養と健康に関する正確な専門知識の修得を確実なものとする。そのため、2年間・短大を含め4年間の知識を総復習し、自らの中に体系化する。</p> <p>12月前半までに模擬試験の範囲を終えるため、週2回授業を行うことがある。管理栄養士国家試験模擬試験は12月中旬と1月中旬とする。授業の順序・内容は変更の可能性はある。</p>								
学習目標	<p>社会のニーズに対応しうる実力を備えた栄養士となるための総まとめとして、管理栄養士国家試験合格に向けて、自発的・意欲的に取り組むことを目標とする。</p>								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	クエスチョン・バンク 管理栄養士国家試験問題解説 プリント								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士国家試験の基礎事項を繰り返し理解し、守備範囲を増やしつつ全範囲の知識が吸収し、国家試験の合格ラインを目指すこと。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	自らに不足してる管理栄養士全般の高度な知識を、不断に吸収し自分を高める姿勢を身につけること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	85					15			100
LO-1	65								65
LO-2									
LO-3									
LO-4	20					15			35
LO-5									
備考	<p>複数回実施される管理栄養士国家試験相当試験(模擬試験)の結果を総合的に判断(85%程度)、授業への参加姿勢(15%程度)で評価する。</p> <p>スケジュールは授業開始前に発表する。管理栄養士国家試験合格に向けて、関係教員全員で担当する。正規の授業時間の他、補充授業を行うことが多い。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(石塚講師) ・社会・環境と健康 (公衆衛生学)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第2回	(高木講師) ・栄養教育論	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第3回	(大森講師) ・公衆栄養学	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第4回	(富岡教授) ・基礎栄養学	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第5回	(深井教授) ・食べ物と健康 (調理学)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第6回	(富岡教授) ・人体の構造と機能及び疾病の成り立ち(生化学)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第7回	(竹内教授) ・食べ物と健康 (食品加工学・食品学)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第8回	(田淵教授) ・人体の構造と機能及び疾病の成り立ち(解剖生理学)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第9回	(田淵教授) ・人体の構造と機能及び疾病の成り立ち(病理学)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第10回	(高木講師) ・応用栄養学	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分

第11回	(稗苗准教授) ・臨床栄養学 (内分泌・代謝疾患の栄養管理)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第12回	(大森講師) ・給食経営管理論	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第13回	(稗苗准教授) ・臨床栄養学 (循環器系疾患の栄養管理)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第14回	(角田講師) ・食べ物と健康 (食品衛生学)	
	【予習】授業でとりあげる分野全般について、予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントをしっかりと復習しておく。テキストの復習も行い習った内容を整理する。	90分
第15回	・知識の確認と定着 管理栄養士国家試験の模擬試験第1回、その解答	
	【予習】試験の分野全般について、弱いところを重点に予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】試験で間違えたところや難しかったところを重点に、しっかりと復習しておく。	90分
第16回	・知識の確認と定着 管理栄養士国家試験の模擬試験第2回、その解答	
	【予習】試験の分野全般について、弱いところを重点に予習してまとめておいてください。	90分
	【復習】試験で間違えたところや難しかったところを重点に、しっかりと復習しておく。	90分
第17回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第18回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第19回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第20回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	管理栄養士国家試験の全範囲の基礎知識が十分身についている。	管理栄養士国家試験の全範囲の基礎知識が身についている。	管理栄養士国家試験の全範囲の基礎知識が十、必要な範囲で身についている。	管理栄養士国家試験の全範囲の基礎知識がやや十分だが身についている。	管理栄養士国家試験の全範囲の基礎知識が十分身についていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4	管理栄養士全般の不足知識を調査・理解するといった不断に自分を高める姿勢が、十分身についている。	管理栄養士全般の不足知識を調査・理解するといった不断に自分を高める姿勢が、身についている。	管理栄養士全般の不足知識を調査・理解し不断に自分を高める姿勢が、必要な範囲で身についている。	管理栄養士全般の不足知識を調査・理解し不断に自分を高める姿勢が、やや不十分だが身についている。	管理栄養士全般の不足知識を調査・理解するといった不断に自分を高める姿勢がない。
LO-5					

授業科目名	栄養士総合特論			科目コード	A151-13				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	大森 聡 高木 尚紘					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第16回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第17回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第18回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第19回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第20回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					

授業科目名	栄養士総合特論			科目コード	A151-20				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	稗苗 智恵子 桑守 豊美					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	臨床栄養学特論、 で学んだことを復習しておくこと。		後継科目	臨床栄養学特論 公衆栄養学特論					
関連科目	臨床栄養学特論 公衆栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	<p>傷病者に対する適切な栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的な栄養マネジメントの考え方を理解する。</p> <p>栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について修得する。</p> <p>医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解する。</p> <p>以上臨床栄養学実習の目的である基本を学習し修得する。</p>								
学習目標	臨床栄養・公衆栄養について現場における管理栄養士の職務内容と責務について学習する。学習を通して、臨地実習の意義を認識し、目標を定め、管理栄養士の専門性についての理解を深める力を養う。								
キーワード	クリニカルパス 栄養教育 実践 多職種協働(チーム)								
テキスト・ 参考書等	「臨地実習マニュアル[臨床栄養学第4版]」建帛社 「臨地実習及び校外実習の実際2013年暫定版」(公社)日本栄養士会(社)全国栄養士養成施設協会 「臨床栄養学 栄養管理とアセスメント編 第3版」下田妙子編 化学同人								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養管理業務について専門的な知識・理解力を習得していること。								
LO-2	臨地実習に向けて専門技術・実践力を習得していること。								
LO-3	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力を備えていること。								
LO-4	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するように努めていること。								
LO-5	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力を備えていること。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10	60		30			100
LO-1			10	10		30			50
LO-2				20					20
LO-3				10					10
LO-4				10					10
LO-5				10					10
備考	レポート・作品提出(70%)、平常点(30%)とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度等の結果を含む。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	臨地実習の概要（臨床栄養学） 臨地実習施設について	
	【予習】「臨地実習マニュアル」と「臨地実習及び校外実習の実際」を読み、臨地実習の意義を予習する。	30分
	【復習】臨地実習の心構えを明確にし、理解を深める。	30分
第2回	医療従事者としての心構え 栄養部門の役割	
	【予習】「臨地実習マニュアル」を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】多職種役割を理解し、院内でのチームについて整理する。	30分
第3回	給食の運営・経営管理	
	【予習】「臨地実習マニュアル」を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】給食運営・給食経営に必要な語句の意味について理解を深める。	30分
第4回	管理栄養士とチーム医療・クリニカルパス 臨地実習施設について	
	【予習】多職種協働において管理栄養士に求められる知識や役割を考える。	30分
	【復習】各種委員会等の役割を整理する。	30分
第5回	栄養アセスメント、栄養補給法、ベッドサイド訪問	
	【予習】「臨地実習マニュアル」を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】治療食分類、各種栄養剤の特徴について理解を深める。	30分
第6回	栄養教育のテクニック	
	【予習】栄養教育の流れを理解し、教育の手法について予習する。	30分
	【復習】問診・栄養指導記録方法について理解を深める。	30分
第7回	病態栄養管理のための集団栄養指導の実際について	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】患者や家族の視線で媒体や内容が好ましいか、また倫理的に問題となる言葉がないか再考する。	30分
第8回	栄養指導媒体を用いて 臨地実習課題について	
	【予習】表現力豊かな演出を練習する。臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと（課題）について	30分
	【復習】反省も含め、他グループから学んだことを整理し、レポート提出する。	30分
第9回	ケーススタディ	
	【予習】「臨地実習マニュアル」を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】記録方法を理解し、SOAPでの記録にどのような記載が必要か整理する。	30分
第10回	栄養ケアプランの実際、症例検討（SGA・ODA）	
	【予習】栄養ケアプラン、SGA、OGAで用いられることの多い語句について調べる。	30分
	【復習】プリントを整理する。	30分

第11回	症例検討 (SGA・ODA) 臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと (課題) について	
	【予習】SGAやOGAの記録方法を読む。	30分
	【復習】プリントを整理する。	30分
第12回	臨床栄養学臨地実習オリエンテーション (ノートの書き方、レポート提出等)	
	【予習】臨地実習施設、組織図、特徴等を調べる。	30分
	【復習】実習に備える。	30分
第13回	公衆栄養学1 (実習オリエンテーション)	
	【予習】「臨地実習及び校外実習の実際」を読み、臨地実習の意義を予習する。	30分
	【復習】日本・富山県の公衆栄養活動等を整理する。	30分
第14回	公衆栄養学2 (公衆栄養学臨地実習先の検討)	
	【予習】居住地や近隣の公衆栄養拠点を調べる。	30分
	【復習】居住地の公衆栄養活動等を整理する。	30分
第15回	公衆栄養学3 (臨地実習事前指導)	
	【予習】公衆衛生・公衆栄養活動にはどのようなものがあるのか調べる。	30分
	【復習】臨地実習に備えノートを整理する。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養管理業務について専門的な知識・理解力を十分に習得している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力を習得している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力をほぼ習得している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力の修得が少し不足している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力の修得が不足している。
LO-2	臨地実習に向けて専門技術・実践力を十分に習得している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力を習得している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力をほぼ習得している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力の修得が少し不足している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力の習得が不足している。
LO-3	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力を十分に備えている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力を備えている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力をほぼ備えている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力が少し不足している。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力が少し不足している。
LO-4	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するように積極的に努めている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するように努めている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するようにだいたい努めている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善する努めが少し不足している。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善する努めが不足している。
LO-5	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力を十分に備えている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力を備えている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力をほぼ備えている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力の備えがやや不足している。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力の備えが不足している。

授業科目名	臨床心理学特論			科目コード	A311-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 社会生活と健康		担当教員名	山川 賀世子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	臨床栄養学特論					
関連科目	社会福祉特論								
資格等 取得との関連									
授業の概要	臨床心理学の定義、パーソナリティの諸理論、さまざまな心の病、心理テストやカウンセリングなどについて、広く学んでいく。そして、それらの知識をもとに、実際のカウンセリング場面を体験する。								
学習目標	現代社会において増加している心理臨床的な援助を必要とする人の心や、具体的な援助法を理解する。また、カウンセリングについて学ぶことを通して、栄養カウンセリングのイメージを深めることを目標とする。								
キーワード	パーソナリティ、心理的評価、心理臨床、栄養カウンセリング								
テキスト・ 参考書等	毎回プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	臨床心理学の定義、パーソナリティの諸理論、さまざまな心の病、心理テストやカウンセリングなどについて、きちんと理解していること。								
LO-2	栄養カウンセリングのイメージを深め、ロールプレイにおいて適切なカウンセリングが行えること。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60					20	20		100
LO-1	60								60
LO-2						20	20		40
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・臨床心理学とは何か？	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	パーソナリティと心の健康	
	【予習】「パーソナリティ」の意味を調べておく。心の健康とはどのような状態であるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	60分
第3回	心の発達と障害	
	【予習】「発達」と「障害」の意味を調べておく。健康な心の発達とはどのような状態であるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	60分
第4回	心の病	
	【予習】心の病にはどのような種類があるかを調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	60分
第5回	パーソナリティの査定（その 1：解説）	
	【予習】「査定」の意味を調べておく。心理検査はどのような目的で使用されているか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	60分
第6回	パーソナリティの査定（その 2：体験）	
	【予習】前回配布されたプリントをもう一度読み、要点をまとめておく。	30分
	【復習】自分の検査結果を見直し、自分のパーソナリティについてしっかりと考え、それをまとめる。	60分
第7回	カウンセリング（その 1：ビデオ前半）	
	【予習】「カウンセリング」の意味と、どのようなものであるかを調べておく。	30分
	【復習】ビデオの前半部分のクライアントの心の動きを時系列にまとめる。	60分
第8回	カウンセリング（その 2：ビデオ後半）	
	【予習】ビデオの後半部分では、カウンセリングによって、クライアントの心理状態がどのように変化していくのかを予想し、それをまとめる。	30分
	【復習】ビデオ後半部分のクライアントの心の動きを時系列にまとめる。	60分
第9回	カウンセリング（その 3：解説 - カウンセリングとは何か - ）	
	【予習】これまでのカウンセリングについての2回の授業を振り返り、自分なりの「カウンセリングとは？」に対する答えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	60分
第10回	カウンセリング（その 4：解説 - さまざまなカウンセリング - ）	
	【予習】前回配布されたプリントをもう一度読み、要点をまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	60分

第11回	カウンセリング(その : 解説 - 栄養カウンセリングの基礎的技術 -)	
	【予習】前回の授業で学んだ様々なカウンセリングの、どれが栄養相談に有効であるか、また、それはなぜかを考え、まとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	60分
第12回	カウンセリング(その : 解説 - 栄養カウンセリングの実践 -)	
	【予習】前回配布されたプリントをもう一度読み、要点をまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習すると共に、ロールプレイの内容をペアの相手と一緒に考え、練習する。	300分
第13回	カウンセリング(その : 体験 - ロールプレイ -)	
	【予習】ロールプレイの内容をペアの相手と一緒に考え、練習しておく。	300分
	【復習】授業中に行ったロールプレイの内容を踏まえ、新たなロールプレイの内容を一人で考える。	300分
第14回	カウンセリング(その : 体験 - ロールプレイ -)	
	【予習】何通りかのロールプレイの内容を一人で考え、練習しておく。	300分
	【復習】前回と今回の授業中に行ったロールプレイの反省点をまとめる。	60分
第15回	総まとめ・質問と解説	
	【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	360分
	【復習】これまでの授業を振り返り、配布されたプリントを全て見直す。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	さまざまなパーソナリティ理論や心の病、心理テストやカウンセリングなどについての知識が十分に身についている。	さまざまなパーソナリティ理論や心の病、心理テストやカウンセリングなどについての知識がほぼ(8割以上)身についている。	さまざまなパーソナリティ理論や心の病、心理テストやカウンセリングなどについての知識が7割以上は身についている。	さまざまなパーソナリティ理論や心の病、心理テストやカウンセリングなどについての知識が最低限(6割以上)は身についている。	さまざまなパーソナリティ理論や心の病、心理テストやカウンセリングなどについての知識が不十分である。
LO-2	ロールプレイにおいて、適切なカウンセリング技術が十分に身についている。	ロールプレイにおいて適切なカウンセリング技術がほぼ身についている。	ロールプレイにおいて適切なカウンセリング技術が7割以上は身についている。	ロールプレイにおける適切なカウンセリング技術が最低限は身についている。	ロールプレイにおける適切なカウンセリング技術が不十分である。
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	社会福祉特論			科目コード	A311-20				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 社会生活と健康		担当教員名	関 好博					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	臨床心理学特論 公衆栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	日本の社会保障制度の全容を理解するための授業です。すべて講義形式で進めます。指定したテキストをもとに、今日の福祉・医療・保健など多岐にわたり、現在の制度や社会情勢などについて学んでいきます。								
学習目標	社会保障制度を構成する社会保険、社会福祉、さらには公的扶助や公衆衛生など広く学び、それぞれの現状と課題までの理解を目指します。また、管理栄養士として十分な知識が求められる保健医療にかかわる諸制度に関する理解を深めます。								
キーワード	生活保護、社会手当、公衆衛生、介護保険、年金、高齢者虐待、障害者総合支援法、権利擁護、医療保険など								
テキスト・ 参考書等	「社会保障入門2018」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】社会保障の役割や意義、制度全体の仕組みや課題などについて正しく理解できる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	【全人的総合力】毎回の受講カードにその日の授業の要点や自分なりの関心事、疑問点などをまとめることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	85					15			100
LO-1	85								85
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5						15			15
備考	管理栄養士として働く上での基礎知識でもある社会保障制度について学ぶ科目です。社会人としての一般常識ともなるので、積極的に授業に参加してください。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	国民生活と社会保障 社会保障制度の意義について理解する。	
	【予習】国民生活と社会保障 社会保障制度の意義について理解する。	90分
	【復習】社会保障の意義、目的、機能、役割、対象などを説明できる。	90分
第2回	社会保障制度の変遷 日本の社会保障制度の発達について理解する。	
	【予習】テキスト第2章第1節から第6節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】社会の変化と社会保障制度の移り変わりの関係を説明できるようにする。	90分
第3回	社会の変化と社会保障制度の移り変わりの関係を説明できるようにする。	
	【予習】テキスト第2章第1節から第6節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】人口の高齢化、平均寿命の延伸、出生率の低下、核家族化、就業構造の変化、地域構造の変化について説明できるようにする。	90分
第4回	国民の生活構造の変化と、増加する社会保障給付と負担の関係、ならびに社会保障制度改革について理解する。	
	【予習】テキスト第2章第7節から第10節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】国民生活構造の変化や社会保障給付の動き、ならびに社会保障制度改革について説明できるようにする。	90分
第5回	生活保護、生活福祉資金、成年後見制度、日常生活自立支援事業について理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第1節から第5節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】経済的に自立困難な人や判断力の低下から自立生活が困難な人への支援制度を説明できるようにする。	90分
第6回	高齢者保健福祉、特に介護保険制度や認知症対策について理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第6節から第9節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】介護保険制度の概要とこれまでの改正内容を説明できるようにする。	90分
第7回	高齢者の住まい、高齢者の生きがい、高齢者虐待の防止、そして次世代育成支援対策を理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第10節から第13節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】高齢者を取り巻く生活問題ほかについて説明できるようにする。	90分
第8回	子ども・子育てビジョン、子育て支援施策、保育施策、認定子ども園、児童に関する手当、児童虐待の防止について理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第14節から第19節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】子育てに関する多様な支援策と児童虐待の防止について説明できるようにする。	90分
第9回	配偶者からの暴力の防止、母子保健施策、健やか親子21、母子寡婦福祉施策、育児休業、介護休業について理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第20節から第24節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】母子保健福祉に関する施策を説明できるようにする。	90分
第10回	障害者基本法、障害者基本計画、障害者総合支援法について理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第25節から第27節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】障害者基本法、障害者基本計画、障害者総合支援法について説明できる。	90分

第11回	障害保健福祉施策、障害者虐待の防止について理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第28節から第31節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】身体障害、知的障害、精神障害に関する施策や障害者虐待の防止について説明できるようにする。	90分
第12回	福祉の行政組織や団体、社会福祉に従事する人々、その他（災害救助、残留孤児）の施策について理解する。	
	【予習】テキストの各論第1章第32節から第34節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】わが国の社会福祉の実施体制や社会福祉事業、社会福祉事業に従事する専門職と福祉人材センターの役割などを説明できるようにする。	90分
第13回	医療需要の変化、増大する国民医療費、病院と診療所、医療従事者の確保と質の向上、医療保険制度の概要、医療制度改革について理解する。	
	【予習】テキストの各論第2章第1節から第6節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】医療保険制度に関わることを広く説明できるようにする。	90分
第14回	高齢者医療と保健事業、地域医療の体系的整備、地域保健サービスの体系化、生活習慣病対策、結核・感染症施策、エイズ施策、臓器・造血幹細胞移植体制、がん対策、難病対策、薬局について理解する。	
	【予習】テキストの各論第2章第7節から第16節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】わが国の保健医療に関する施策が説明できる。	90分
第15回	年金制度、雇用保険制度、労災保険制度について理解する。	
	【予習】テキストの各論第3章第1節から第9節を読んで、大切な箇所にマーキングをする。	90分
	【復習】年金の概要ならびに課題と制度改革、ならびに雇用保険と労災保険について説明できる。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	社会保障の役割や意義、制度全体の仕組みや課題などについて十分に理解できている。	社会保障の役割や意義、制度全体の仕組みや課題などについて十分に理解できている。	社会保障の役割や意義、制度全体の仕組みや課題などについてある程度は理解できている。	社会保障の役割や意義、制度全体の仕組みや課題などについて、やや理解できている。	社会保障の役割や意義、制度全体の仕組みや課題などについての理解がほとんどできていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	集中して授業に臨み、こちらからの質問に対して的確に答えられる。受講カードの感想なども十分である。	集中して授業に臨み、こちらからの質問に対して的確に答えられる。受講カードの感想なども十分である。	講義をある程度は聴いており、板書をノートに写す行為も見られる。受講カードにキーワードぐらいいは書いている。	最低限、テキストを教員と一緒に読んでいることが確認できる。受講カードにその日のキーワードぐらいいは書いている。	ほとんど授業を聴いていない。受講カードも、ほぼ名前のみである。

授業科目名	発達心理学特論			科目コード	A313-13				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 栄養と健康		担当教員名	山川 賀世子					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論		後継科目	なし					
関連科目	社会福祉特論								
資格等 取得との関連									
授業の概要	人間の一生の発達について、さまざまな側面から概説する。特に、身体的・認知的・社会情動的側面を中心に学ぶ。								
学習目標	人間のさまざまな側面の発達について、理解を深めることを目標とする								
キーワード	生涯発達、心理学、子ども								
テキスト・ 参考書等	毎回プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期のからだや食事について、きちんと理解していること。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	人間の認知的・社会情動的側面の発達や、各発達段階の特徴について、きちんと理解していること。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	50								50
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	乳幼児期のからだ	
	【予習】「乳児」と「幼児」の意味を調べておく。乳児と幼児のからだの発達について調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第3回	乳幼児期の食事（その 1：解説）	
	【予習】これまでに習った乳幼児期の食事の特徴についてまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第4回	乳幼児期の食事（その 2：体験）	
	【予習】前回配布されたプリントをもう一度読み、要点をまとめておく。	30分
	【復習】乳幼児期の食事やおやつを試食した体験から、この時期の正しい食事について自分の考えをまとめる。	120分
第5回	排泄行動の発達	
	【予習】「排泄訓練」の意味を調べておく。自分の排泄訓練について、親に話を聞きまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第6回	乳幼児期の親子関係	
	【予習】「愛着」の意味を調べておく。良い親子関係とはどのようなものかを考えまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第7回	乳幼児の認知・思考の発達	
	【予習】「認知」と「思考」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第8回	児童期・青年期	
	【予習】「児童」と「青年」の意味を調べておく。また、「思春期」の意味も調べておく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第9回	成人期・高齢期	
	【予習】「成人」と「高齢者」の意味を調べておく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第10回	言葉の発達と文字の獲得	
	【予習】「一語文」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分

第11回	あそびの発達（その : 解説）	
	【予習】「あそび」の意味を調べておく。子ども時代によく行ったあそびの内容を年齢ごとにまとめておく。	30分
	【復習】あそびの種類を、もう一度確認する。子どもにとっての「あそび」の役割、意味を考えまとめる。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第12回	あそびの発達（その : 体験）	
	【予習】前回配布されたプリントをもう一度読み、要点をまとめておく。	30分
	【復習】あそびの種類を、もう一度確認する。子どもにとっての「あそび」の役割、意味を考えまとめる。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第13回	他者の心の理解	
	【予習】「感情」と「意図」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	180分
第14回	絵本・テレビ・パソコンとのかかわり	
	【予習】絵本、テレビ、パソコンについて、子どもにとっての長所と短所を自分なりに考え、まとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第15回	総まとめ・質問と解説	
	【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	390分
	【復習】これまでの授業を振り返る。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	乳幼児期のからだや食事についての知識が十分に身についている。	乳幼児期のからだや食事についての知識がほぼ（8割以上）身についている。	乳幼児期のからだや食事についての知識が7割以上は身についている。	乳幼児期のからだや食事についての知識が最低限（6割以上）は身についている。	乳幼児期のからだや食事についての知識が不十分である。
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	人間の認知的・社会情動的側面の発達や、各発達段階の特徴についての知識が十分に身についている。	人間の認知的・社会情動的側面の発達や、各発達段階の特徴についての知識がほぼ（8割以上）身についている。	人間の認知的・社会情動的側面の発達や、各発達段階の特徴についての知識が7割以上は身についている。	人間の認知的・社会情動的側面の発達や、各発達段階の特徴についての知識が最低限（6割以上）は身についている。	人間の認知的・社会情動的側面の発達や、各発達段階の特徴についての知識が不十分である。

授業科目名	情報処理特論			科目コード	A315-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 給食の運営		担当教員名	堀田 裕史					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	短大卒業程度の情報処理の知識		後継科目						
関連科目	保健衛生学 、 給食管理特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	Excelでは様々なデータ処理が可能であるが、ここでは特にExcelの統計処理機能に重点をおいて学ぶ。各種統計処理用に準備された関数を使って、どのように検定が行えるかをみる。仮説、帰無仮説、対立仮説、有意率、棄却といった基本的な概念からはじめ、各種の検定を実例を通して実行してみることにより、栄養研究等への理解を深める。								
学習目標	仮説検定、有意率などの概念を理解し、栄養関係の研究の理解を深めること。 また、特に正規分布、t検定、F検定にまつわるExcel関数とその使用方法を理解し、身近なソフトであるExcelで実行できること。								
キーワード	情報処理 確率統計								
テキスト・ 参考書等	武藤志真子編「統計処理入門」、柳井久江著「4 Step エクセル統計」 その他、適宜プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(1)パラメトリック統計とノンパラメトリック統計を体系的に説明できること。(2)検定とはなにかが説明できること。(3)T検定、分散分析、パラメトリック多重比較の経験を持つこと (4)2群の比較、3群以上の比較のノンパラメトリックのアナロジ								
LO-2									
LO-3									
LO-4	エビデンスに基づく栄養を考える際に必要となる統計について、全般的な見通しがきき、将来にわたり守備範囲を広げていくことができること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			60			20			80
LO-2									
LO-3									
LO-4			20						20
LO-5									
備考	h27年度備考 レポート(80%程度)、A授業で指定した提出物(20%程度)とし、総合評価する。 授業時間内提出物は半年で5件程度の提出が必要である。ノートPCセッティングは、通常の授業時間以外にも時間を決め実施するので注意すること。なお進度により、内容を変更することがある。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ノートパソコンのセッティング LANやDOMAIN参加等を含め各種ソフトの設定変更 データの種類と測定尺度 ギリシャ文字、数学記号	
	【予習】教科書の概要を掴んでおくこと。	20分
	【復習】教科書の概要を掴んでおくこと。ネットワーク使用法に習熟すること。	20分
第2回	代表値、基本統計量（分散、標準偏差、変動係数）	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	20分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	40分
第3回	散布図、単純集計、クロス集計 資料1 統計処理入門2-7-1PDF 資料2 統計処理入門表2-4PDF 課題 情報処理特論 レポート	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	20分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	40分
第4回	正規分布 確率密度関数、累積分布関数、標準偏差 資料 パラメトリック・ノンパラメトリック、正規分布EXCEL関数	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	30分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	60分
第5回	母集団と統計 正規分布、大数の法則、中心極限定理、スチューデントのt分布、二項分布、t分布 信頼区間 資料 検定の一般論・t検定関係	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	20分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	40分
第6回	対応のある2群のデータの検定 t検定 帰無仮説、有意率、p値	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	30分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	60分
第7回	統計的推定、統計的検定 母平均推定、母比率推定 母平均の検定	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	30分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	60分
第8回	対応のない2群のデータの検定 (パラメトリックケース) t検定、F検定(2群の等分散の検定)、ウェルチの検定 (ノンパラメトリックケース) マンホイット二検定	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	20分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	40分
第9回	対応のある2群の検定 (パラメトリックケース) 対応のあるt検定、 (ノンパラメトリックケース) ウィルコクソンの符号付順位和検定	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	30分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	60分
第10回	対応のない独立多群の検定 (パラメトリックケース) 一元配置分散分析、多重比較法(ダネット法、アイリウムズ法) (ノンパラメトリックケース) クラスカルワリス検定、多重比較法	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	20分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	40分

第11回	関連多群の検定 (パラメトリックケース) 繰り返しのない二元配置分散分析、繰り返しのある二元配置分散分析 (ノンパラメトリックケース) フリードマン検定、多重比較法	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	20分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	60分
第12回	相関係数、相関係数の差の検定、回帰分析 単回帰、重回帰	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	30分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	30分
第13回	カイ二乗検定 比率の検定、適合度の検定	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	30分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。	30分
第14回	カイ二乗検定 比率の検定、適合度の検定	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	30分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。 (3) 定期試験にむけて、総復習すること。	180分
第15回	連関係数、カプラン - マイヤー曲線、ロジット、ロジスティック曲線	
	【予習】教科書の該当部分を予習しておくこと。	60分
	【復習】(1) 教科書の該当部分を復習しておくこと。 (2) 課題の指定がある場合は、EXCELで実行し、EDUCATIONネットワークのフォルダーに提出すること。 (3) 定期試験にむけて、総復習すること。	180分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養管理に必要な高度な専門知識の基礎となる、PCによるデータ処理、とりわけ高度な統計処理が自在にできる。	栄養管理に必要な高度な専門知識の基礎となる、説明等の補助があれば、PCによるデータ処理、高度な統計処理ができる。	栄養管理に必要な高度な専門知識の基礎となる、説明等の補助があれば不十分ながら、PCによるデータ処理や統計処理ができる。	栄養管理に必要な高度な専門知識の基礎となる、説明等の補助により必要最小限には、PCによるデータ処理や統計処理ができる。	栄養管理に必要な高度な専門知識の基礎となる、説明等の補助があっても、PCによるデータ処理や統計処理ができない。
LO-2	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・高度な統計処理が実践ができること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理が実践ができること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理が不十分ながらできること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理が必要最小限にはできること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理ができるない。
LO-3	病態分析や栄養管理計画立案に必要な高度なデータ分析・統計処理が、自在にできる。	病態分析や栄養管理計画立案に必要な、高度なデータ分析・統計処理が、説明等の補助があればできる。	病態分析や栄養管理計画立案に必要なデータ分析・統計処理が必要最小限にはできる。	病態分析や栄養管理計画立案に必要なデータ分析・統計処理が、説明等の補助があれば必要最小限にできる。	病態分析や栄養管理計画立案に必要な高度なデータ分析・統計処理が、説明等の補助があってもできない。
LO-4	職場や地域の問題にデータ処理・統計処理を創造的に活かして、地域貢献できること。	職場や地域の問題にデータ処理・統計処理を定型的に活かして、地域貢献できること。	職場や地域の問題にデータ処理・統計処理を補助があれば行え、地域貢献も補助があればできる。	職場や地域の問題にデータ処理・統計処理を補助があれば最小限にでき、地域貢献はできない。	職場や地域の問題にデータ処理・統計処理を行わず、地域貢献もできない。
LO-5	栄養管理の専門職に相応しいデータ処理・統計処理を多彩に展開でき、全人的総合力を形成していること。	栄養管理の専門職に相応しいデータ処理・統計処理ができ、総合的な能力形成されていること。	栄養管理の専門職に相応しいデータ処理・統計処理が説明等があればでき、業務に総合的に活かせること。	栄養管理の専門職に相応しいデータ処理・統計処理が説明等が最小限にでき、業務に総合的には活かせない。	栄養管理の専門職に相応しいデータ処理・統計処理ができなく、業務に総合的に活かすこともできない。

授業科目名	経営管理特論			科目コード	A315-20				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 給食の運営		担当教員名	木元 清明					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高等学校卒業程度の現代社会、政治・経済の基礎		後継科目	現代企業と社会 マーケティング演習 経営管理論					
関連科目	経済学の基礎 日本経済論 金融論 会計学 簿記論								
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士()、上級情報処理士()、ウェブデザイン実務士(一)、ビジネス実務士()、情報処理士()								
授業の概要	<p>本科目では、企業人として最低限必要な経営に関する知識の習得、ならびに企業活動を理解するための視座の確立を目標とする。まず組織の仕組みを学び、卒業後に多くの学生が就職する「企業」ではどのような活動が行われているかを中心に学習する。</p> <p>なお、試験は前半(小テスト)と後半(期末テスト)に分けて二回実施する。</p>								
学習目標	経営学は組織を対象とする学問である。経営学の全体を理解するとともに、実際の経営の内容や経営課題を認識できるようになること。								
キーワード	企業、組織論、戦略論								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：佐々木圭吾 (2013) 「みんなの経営学」 日本経済新聞出版社</p> <p>参考書：伊丹敬之・加護野忠雄 (2003) 「ゼミナール経営学入門」 日本経済新聞社</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	経営学の基礎用語と基礎理論を理解し、試験と小テストで正しく答えることができる								
LO-2	講義と自学習で理解した内容を、Webコメントに反映できる								
LO-3	経営を取り巻く諸問題を発見し、基礎理論から分析した結果をWebコメントに反映できる								
LO-4	経営学や企業活動に関心を持ち、問題点や事例の情報を収集し、Webコメントに反映できる								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	50							100
LO-1	20	20							40
LO-2	10	10							20
LO-3	10	10							20
LO-4	10	10							20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」： 授業方針の説明 シラバス、ルーブリックを把握して成績評価方法を理解する 本科目の概要と基本用語を理解する	
	【予習】シラバスを読み授業内容を把握	30分
	【復習】授業の全体像を確認する	60分
第2回	「経営学はなぜ必要か」 儲けるためではなく、よく生きるための学問	
	【予習】テキストを22ページから53ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】経営学の特徴と、なぜ経営学を学ぶ必要があるかについて再確認する	60分
第3回	「企業とは何か（1）」 そもそも「企業」とはどのような存在なのか、あるいは様々な企業の形態を考える	
	【予習】テキストを56ページから74ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】企業の本質と、株式会社の誕生について再確認する	60分
第4回	「企業とはなにか（2）」 日本における株式会社の誕生と、著名経営学者から見た企業の定義	
	【予習】テキストを74ページから89ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】明治維新以降に成立した日本の企業に関する歴史や、著名経営学者の企業観を再確認する	60分
第5回	「職場にやる気を起こすモチベーション理論（1）」 人はどのようにすればやる気を持つのかを考える	
	【予習】テキストを92ページから110ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】代表的なモチベーション理論について再確認する	60分
第6回	「職場にやる気を起こすモチベーション理論（2）」 成果主義と目標管理制度、および内発的な動機付けを考える	
	【予習】テキストを110ページから126ページまで読み、不明な点を確認する	30分
	【復習】人はお金だけが目的で働くのではないということを再確認する	60分
第7回	「優れたリーダーの条件（1）」 集団を束ねて導くには優れたリーダーが必要	
	【予習】テキストを128から142ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】組織におけるリーダーの必要性と役割を再確認する	60分
第8回	「優れたリーダーの条件（2）」 企業におけるリーダーの在り方	
	【予習】テキストを143ページから160ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】職位によるパワーというものを再確認する	60分
第9回	「1 + 1 を 2 以上にする組織とは（1）」 組織論は経営学における中核的概念	
	【予習】テキストを162ページから181ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】企業における組織がどのようなものを再確認する	60分
第10回	「1 + 1 を 2 以上にする組織とは（2）」 組織のデザイン	
	【予習】テキストを181ページから200ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】企業における組織がどのようなものを再確認する	60分

第11回	「良い戦略的経営を実現するには(1)」 企業における戦略と、経営戦略策定のための基本的ツール	
	【予習】テキストを202ページから232ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】勝つための戦略と、戦略策定についての基本的理論とツールを再確認する	60分
第12回	「良い戦略的経営を実現するには(2)」 戦略の本質的特徴	
	【予習】テキストを233ページから253ページまで読み、不明な点を把握する。	30分
	【復習】経営戦略の特質について再確認する	60分
第13回	「これからの経営学(1)」 日本企業を取巻く情報社会と様々なトレンド	
	【予習】テキストを256ページから272ページまで読み、不明な点を把握する	30分
	【復習】日本企業が直面する様々な問題や課題を再確認する	60分
第14回	「これからの経営学(2)」 日本的経営と知識創造の経営組織論(ナレッジ・マネジメント)	
	【予習】テキストを273ページから最後まで読み、不明な点を確認する	30分
	【復習】日本的経営の特質を再確認する	60分
第15回	「グローバルの視点からみた日本企業の課題と、少子高齢社会が企業に与える影響」 実例をあげて日本企業が直面する課題を紹介し、どのように回避しようとしているのかを考える	
	【予習】新聞や報道を通じて知っている少子高齢化問題について考えてみる	30分
	【復習】定期試験に向けて、これまでの授業内容を全て振り返り、重要ポイントを説明できるように準備する	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	経営学の基礎用語と基礎理論を高いレベル理解し、試験と小テストで90点以上取得できる	経営学の基礎用語と基礎理論を理解し、試験と小テストで80点以上取得できる	経営学の基礎用語と基礎理論をなんとか理解し、試験と小テストで70点以上取得できる	経営学の基礎用語と基礎理論を最低限理解し、試験と小テストで60点以上取得できる	経営学の基礎用語と基礎理論を理解できず、試験と小テストで60点未満しか取得できない
LO-2	講義と自学習で理解した内容をWebコメントで90点以上のレベルで記入できる	講義と自学習で理解した内容をWebコメントで80点以上のレベルで記入できる	講義と自学習で理解した内容をWebコメントで70点以上のレベルで記入できる	講義と自学習で理解した内容をWebコメントで60点以上のレベルで記入できる	講義と自学習で理解した内容をWebコメントで60点未満のレベルでしか記入できない
LO-3	経営を取り巻く諸問題を発見し、Webコメントで90点以上のレベルで記入できる	経営を取り巻く諸問題を発見し、Webコメントで80点以上のレベルで記入できる	経営を取り巻く諸問題を発見し、Webコメントで70点以上のレベルで記入できる	経営を取り巻く諸問題を発見し、Webコメントで60点以上のレベルで記入できる	経営を取り巻く諸問題を発見できず、Webコメントで60点未満のレベルでしか記入できない
LO-4	経営学や企業活動に極めて高い関心を持ち、Webコメントで90点以上のレベルで記入できる	経営学や企業活動に極めて高い関心を持ち、Webコメントで80点以上のレベルで記入できる	経営学や企業活動に極めて高い関心を持ち、Webコメントで70点以上のレベルで記入できる	経営学や企業活動に極めて高い関心を持ち、Webコメントで60点以上のレベルで記入できる	経営学や企業活動に関心を持たず、Webコメントで60点未満のレベルでしか記入できない
LO-5					

授業科目名	外国語文献講読			科目コード	A317-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 文献講読		担当教員名	望月 健一					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	外国語文献講読 特別研究(1年生)					
関連科目	なし。								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	はじめに、今、世界的に注目を集めている日本の食文化に関する英語の表現を学ぶ。その後、五大栄養素 (five major nutrients) に関するエッセイ、及び食物栄養学の最近の英語の論文の抄録 (abstract) を精読し、実践的な英文読解力の向上を図る。また、自分の研究分野に関する英語の論文を自分で探す力を身につける。								
学習目標	食物や栄養学の分野の英語の語彙・表現の知識を身につけるとともに、実践的な英文読解力の向上を図る。								
キーワード	食物や栄養学の分野の英語の語彙、表現、専門用語、論文								
テキスト・ 参考書等	プリント使用。以下の著書、教科書、論文で、いくつか重要な箇所を選び、精読する。 ・江口裕之, Stuart Varnam-Atkin 『英語で伝えたい いつもの日本』 DHC 2015								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語・表現を習得している。また、英文の内容を理解できる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の研究分野に関する最新の研究に関心を持ち、英語の論文を自分で探すことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	35	35	10			20			100
LO-1	35	35				20			90
LO-2									
LO-3									
LO-4			10						10
LO-5									
備考	中間試験 (35%)、最終試験 (35%)、自分の研究分野の英語参考文献リスト (10%)、授業への参加・予習状況 [その他、A] (20%) で総合的に評価する。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、自分の研究テーマの紹介、食物と栄養学に関するクイズ、日本の食文化(1):「お米のふしぎ」(Rice: Is rice good for you?)	
	【予習】自分の研究テーマとキーワードについて、英語でどのように表現するか調べておく。	30分
	【復習】他の履修者の研究テーマとキーワードについて、英語でどのように表現するか、第1回授業で確認したことを整理しておく。	30分
第2回	食物栄養学の英語の論文の探し方、日本の食文化(2):「おにぎり?おむすび?」(Onigiri: Why triangular?),「寿司、食いねえ!」(Sushi: Can I use my hands?),「冷やっこを箸で食べる?」(Chopsticks: Can I use a spoon?)	
	【予習】『英語で伝えたい いつもの日本』(英和対訳版)からの抜粋の会話文を理解し、英語スクリプトの音読の練習をする。また、内容に関する英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第3回	Unit 1: Nutrition for Good Health (健康のための栄養)(1)	
	【予習】『栄養系学生のための総合英語』(Simply Nutrition)のUnit 1に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第4回	Unit 1: Nutrition for Good Health (健康のための栄養)(2) Unit 2: Carbohydrates (炭水化物)(1)	
	【予習】『栄養系学生のための総合英語』(Simply Nutrition)のUnit 1, 2に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第5回	Unit 2: Carbohydrates (炭水化物)(2)	
	【予習】『栄養系学生のための総合英語』(Simply Nutrition)のUnit 2に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	120分
第6回	Unit 3: Fats and Proteins (脂肪と蛋白質)(1)	
	【予習】『栄養系学生のための総合英語』(Simply Nutrition)のUnit 3に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第7回	Unit 3: Fats and Proteins (脂肪と蛋白質)(2) Unit 4: Vitamins and Minerals (ビタミンとミネラル)(1)	
	【予習】『栄養系学生のための総合英語』(Simply Nutrition)のUnit 3, 4に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、中間試験に向けて第1~7回の授業内容の復習を行う。	120分
第8回	中間試験、'Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」抄録)(1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第9回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」抄録)(2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第10回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」抄録)(3)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分

第11回	Polyphenol-rich beverages promote a sustainable and renewable generation of energy and prevent neurotoxicity' - Abstract (「ポリフェノールを多く含む飲料は、持続・再生可能なエネルギーの生成を促進し、神経毒を予防する」抄録)(1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第12回	Polyphenol-rich beverages promote a sustainable and renewable generation of energy and prevent neurotoxicity' - Abstract (「ポリフェノールを多く含む飲料は、持続・再生可能なエネルギーの生成を促進し、神経毒を予防する」抄録)(2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第13回	Nutraceutical Effects of Fucoxanthin for Obesity and Diabetes Therapy: A Review' - Abstract (「肥満と糖尿病におけるフコキサンチンの機能性食品の効果：レビュー」抄録)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第14回	More than Half of US Youth Consume Seafood and Most Have Blood Mercury Concentrations below the EPA Reference Level 2009-2012' - Abstract (「2009～2012年(の国民健康栄養調査によれば)、米国の若者の半数以上がシーフードを消費したが、大多数の者の血中水銀濃度は環境保護局の参照レベルを下回っていた」抄録)(1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第15回	More than Half of US Youth Consume Seafood and Most Have Blood Mercury Concentrations below the EPA Reference Level 2009-2012' - Abstract (「2009～2012年(の国民健康栄養調査によれば)、米国の若者の半数以上がシーフードを消費したが、大多数の者の血中水銀濃度は環境保護局の参照レベルを下回っていた」抄録)(2) *「研究分野の英語参考文献リスト」提出締切	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	60分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、最終試験に備えて、第8～15回の授業で読んだすべての論文の抄録の復習を行う。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語・表現を十分に習得している。また、英文の内容をよく理解できる。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語・表現を習得している。また、英文の内容を大理解できる。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語・表現をある程度習得している。また、英文の内容を少し理解できる。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語・表現をあまり習得していない。また、英文の内容をあまりよく理解できない。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語・表現を習得していない。また、英文の内容をまったく理解できない。
LO-2					
LO-3					
LO-4	自分の研究分野に関する最新の研究に強い関心を持っている。また、指導教員のアドバイスがなくても英語の論文を自分で探ることができる。	自分の研究分野に関する最新の研究に関心を持っている。また、英語の論文を自分で探ることができる。	自分の研究分野に関する最新の研究にある程度関心を持っている。また、教員のアドバイスがあれば、英語の論文を探ることができる。	自分の研究分野に関する最新の研究にあまり関心がない。また、教員のアドバイスを受けても、英語の論文を探ることが困難である。	自分の研究分野に関する最新の研究にまったく関心がない。また、教員のアドバイスを受けても、英語の論文を探ることができない。
LO-5					

授業科目名	外国語文献講読			科目コード	A317-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 文献講読		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	外国語文献講読I		後継科目	栄養学特論III、臨床栄養学特論I、特別研究					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食物栄養学分野に関連する英語論文抄録(Abstract)の輪読を行う。 輪読では、論文を英語で読み、事前に予習してきた和訳を読みます。 論文は専門用語が多いため、英単語を適切な日本語の専門用語に修正します。また、発音を適宜修正します。 この操作を繰り返すことにより、英文読解力さらには英会話力を向上させます。								
学習目標	実践的および専門的な英文読解力を向上させる。合わせて、英会話力の向上も図る。 研究関連分野の国際情報を知るとともに最新の情報を身につける。								
キーワード	English, Literature, Paper, Abstract, Comprehension								
テキスト・ 参考書等	各自の特別研究テーマに関連した英文論文の抄録をコピーして持参すること。論文は、Journal of NutritionやNutrition Reviewsなどの栄養学の専門誌（過去5年以内）からコピーし、担当学生は事前に和訳しておくこと。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	英文論文を理解して和訳できる。								
LO-2	英文論文の内容を正確に把握できる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5	英文読解力の向上や全国・世界規模での事象に興味・関心を持てる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	70								70
LO-2	20								20
LO-3									
LO-4									
LO-5	10								10
備考	授業では、ノート型パソコン必携。 試験は英語論文の和訳（辞書持込可）とスピーチで判定します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	一般雑誌・新聞の輪読 1) 授業の進め方を説明した後、2週目以降の担当箇所を決定します 2) 担当教官が最初の部分の和訳を行います	
	【予習】英字新聞やテレビのバイリンガルbilingual(副音声)等を日頃から見聞して英語のヒアリングに慣れておいてください。	1000分
	【復習】次週以降の担当する英文の和訳	120分
第2回	一般雑誌・新聞の輪読 ファイルに保存した英文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文の和訳	120分
	【復習】担当する英文の和訳	30分
第3回	一般雑誌・新聞の輪読 ファイルに保存した英文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文の和訳	120分
	【復習】担当する英文の和訳	30分
第4回	一般雑誌・新聞の輪読 ファイルに保存した英文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文の和訳	120分
	【復習】担当する英文の和訳	30分
第5回	一般雑誌・新聞の輪読 ファイルに保存した英文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文の和訳	100分
	【復習】担当する英文の和訳	20分
第6回	1) 自己紹介を英語でしましょう。 2) 英語論文の検索方法と該当する論文の取得方法を教えます。 3) 英文論文の抄録を資料として渡します。担当教官が英語で読んで和訳します。	
	【予習】英字新聞やテレビのバイリンガルbilingual(副音声)等を日頃から見聞して英語のヒアリングに慣れておいてください。	100分
	【復習】次週以降の担当する英文抄録の和訳	20分
第7回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分
第8回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分
第9回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分
第10回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分

第11回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分
第12回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分
第13回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分
第14回	英文論文抄録の輪読 ファイルに保存した論文と和訳をUSBメモリーを利用してクラスメートに配布してください。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	120分
	【復習】担当する英文抄録の和訳	30分
第15回	英文論文抄録の輪読 慣れてきたら、論文の本文 (Text) の輪読でもよい。	
	【予習】担当する英文抄録の和訳	60分
	【復習】担当する英文抄録の和訳 試験勉強	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	専門的な英文読解力および研究関連分野の国際情報を十分に習得・理解している。	専門的な英文読解力および研究関連分野の国際情報をかなり習得・理解している。	専門的な英文読解力および研究関連分野の国際情報をよく習得・理解している。	専門的な英文読解力および研究関連分野の国際情報を一定程度に習得・理解している。	専門的な英文読解力および研究関連分野の国際情報を習得・理解していない。
LO-2	実践的な英文読解力および英会話力を十分に習得・理解している。	実践的な英文読解力および英会話力をかなり習得・理解している。	実践的な英文読解力および英会話力をよく習得・理解している。	実践的な英文読解力および英会話力を一定程度に習得・理解している。	実践的な英文読解力および英会話力を習得・理解していない。
LO-3					
LO-4					
LO-5	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、英文論文についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、英文論文について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、英文論文について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、英文論文について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、英文論文について質問がない

授業科目名	特別研究（1年次）			科目コード	A318-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究			担当教員名	富岡 徹久				
開講時期	1年通年			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	6単位				
前提科目(知識)	無し			後継科目	特別研究（2年次）				
関連科目	生化学特論、食品学特論、栄養学特論								
資格等 取得との関連	無し								
授業の概要	食品学・栄養学・生化学に関連するテーマを定め、そのテーマを達成するにはどのような実験方法を用いたらよいか、先行研究はどのような内容なのかを調査し、それらに基づき実験を行い論文を作成する。								
学習目標	定めたテーマに関する実験を行い、その実験結果を論文にまとめ、その論文を学位授与機構に提出し、学位授与機構の学位試験の合格を目指す。さらに関連学会で発表する。								
キーワード	食品、成分、機能、実験、論文、学会発表								
テキスト・ 参考書等	無し								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	実験結果を論文にまとめ、その論文を学位授与機構に提出し、さらに関連学会で発表する。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		20	40			100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			40		20	40			100
LO-5									
備考	A:調査や実験等に参加し調査や実験を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	テーマを達成するにはどのような実験方法を用いたらよいのか、先行研究はどのような内容なのかを調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第2回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第3回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第4回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第5回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第6回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第7回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第8回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第9回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第10回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分

第11回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第12回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第13回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第14回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第15回	前回の結果を踏まえさらに実験方法と先行研究の内容を調査する。	
	【予習】	0分
	【復習】調べた内容をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第16回	調査した実験方法を用い実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第17回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第18回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第19回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第20回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分

第21回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第22回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第23回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第24回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第25回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第26回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第27回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第28回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第29回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分
第30回	前回の実験結果踏まえさらに実験を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果をまとめ、レポートや発表に使用できるようにノートの整理する。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4	全ての回に出席しレポートの内容が完璧である。	4回欠席しレポートの内容がほぼ完璧である。	6回欠席しレポートの内容がややまとまりがない。	10回欠席しレポートの内容がやや分かり難い。	12回以上欠席しレポートが未提出である。
LO-5					

授業科目名	特別研究(1年次)			科目コード	A318-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	外国語文献購読I・II		後継科目	特別研究(2年次)					
関連科目	外国語文献購読I・II								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得								
授業の概要	<p>教員のあらかじめ示すテーマ、或いは、独自の栄養に関するテーマを選び、教員の支援のもと、各自でテーマに関する英文を含む論文を読み、研究計画をたて実験・調査を行い、論文をまとめ、発表を行う。学士取得の大勢を左右する科目となる。</p> <p>田淵研究グループでは、以下の2研究テーマのうちいずれかを選んで、教官の指導の下で主体的に研究を遂行する。</p>								
学習目標	研究の意味を理解し、知識を整理統合し、問題を解決する能力を養う。(新しい知見が結果として得られなくても良いが、雑誌投稿レベルの内容であること。)								
キーワード	発芽玄米、認知症、アレルギー、治療								
テキスト・ 参考書等	インターネットのジャーナルサイトからダウンロードしたり、富山大学附属図書館で学外文献請求等をして自分の研究に関連する論文を取得してください。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究関連分野の全国的 and/or 世界的知識を有している。								
LO-2	特別研究論文を作成することができる。								
LO-3	研究を遂行する上で必要な一連の方法を知り、それらを実行することができる。								
LO-4	研究グループでの役割分担やチームワークが円滑にできる。								
LO-5	積極的に研究に参加し、問題を提起して解決する方法を自ら模索できる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2			20						20
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考	特別研究に対する姿勢、積極性、貢献度、論文完成度などで総合的に評価。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究概要の説明、研究全般の解説、輪読会の説明	
	【予習】担当する研究について、日頃から興味を持って接してください。	300分
	【復習】自分が担当する研究概要を理解しておくこと。 研究とは何かを説明できるようにしておくこと。 輪読会で担当する論文を検索して和訳しておくこと。	60分
第2回	輪読会	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第3回	輪読会	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第4回	輪読会	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第5回	輪読会および研究計画の立案	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第6回	輪読会および研究計画の立案・研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第7回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第8回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第9回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第10回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分

第11回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第12回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第13回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第14回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第15回	輪読会および研究の遂行	
	【予習】論文の検索・収集	60分
	【復習】他の学生が調べた論文の内容の確認	30分
第16回	研究打合せ・研究計画のチェック	
	【予習】担当する研究について、課題・問題点の提起、進行状況等を一人ずつ発表してください。	120分
	【復習】他の学生の研究進行状況の把握	60分
第17回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第18回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第19回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第20回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分

第21回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第22回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第23回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第24回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第25回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第26回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第27回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第28回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第29回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分
第30回	研究の遂行・データ整理	
	【予習】研究遂行に必要な準備など	30分
	【復習】研究に関する資料収集、データチェックなど	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	レポートの内容・完成度がともに、非常に優れている	レポートの内容・完成度がともに、優れている	レポートの内容・完成度のどちらかが優れている。または、レポートの質・内容のバランスがよい。	レポートの内容・完成度が、ほどほどにできている	レポートの内容・完成度が、不十分である
LO-2	研究の内容を精密に熟知している	研究の内容を熟知している	研究の内容を概ね理解している	研究の内容をある程度理解している	研究の内容を理解していない
LO-3	研究を主体的・積極的に行うことができる	研究を積極的に行うことができる	研究に積極的に参加できる	研究に参加できる	研究に参加することが難しい
LO-4	グループの調整ができ、協調性が積極的に行える	グループの調整および協調性がある	グループの調整または協調性がある	グループの調整や協調性がみられる	グループの調整や協調性がない
LO-5	研究で知り得た事象に興味をもち、より深く追求できる	研究で知り得た事象に興味をもち、追求できる	研究で知り得た事象に興味がある	研究で知り得た事象に興味が少ないはある	研究で知り得た事象に興味がない

授業科目名	特別研究（1年次）			科目コード	A318-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	深井 康子					
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	調理学および食生活・食文化に関する基礎知識		後継科目	特別研究（2年次）					
関連科目	調理学および栄養学系科目								
資格等 取得との関連	学士（栄養学）取得 管理栄養士国家試験受験科目								
授業の概要	調理学および食生活・食文化に関する分野を研究テーマとし、主体的に実験・調査等の研究計画を立て、実行し、結果をまとめ考察を行う。大学祭時には中間発表会でその成果を発表し、今後の計画と課題を見直し、改善すべき点を明確にし、研究を継続して行っていく。								
学習目標	指導教官のもとで自主的に研究計画を立て、実行し、結果をまとめながら、考察を行い、継続して研究を実行するように努める								
キーワード	調理学 食文化 中間発表会								
テキスト・ 参考書等	適宜、参考文献や参考書等を提示する								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力を修得している								
LO-2	調理に対する確かな技術・実践力を修得している								
LO-3	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、しかもどのような手法を用いると適切な計画等が立案できるか、判断できる応用能力を身につけている。								
LO-4	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がある								
LO-5	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がある								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	提出したレポートは毎回添削を行い、修正箇所を説明して、指定した日程までに訂正して提出させる。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	特別研究の全体概要を説明し、研究テーマに関連する内容の情報を提示する	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	研究テーマに関連の先行研究を検索し、その内容を把握して理解する	
	【予習】 研究テーマに関連の先行研究を検索し、読んで理解する	120分
	【復習】	0分
第3回	さらに先行研究を調査し、それに基づいて、仮の研究テーマ・方法などについて検討する	
	【予習】 先行研究を調査し、内容を理解する	120分
	【復習】	0分
第4回	研究テーマについて考えられる具体的な方法について考える	
	【予習】 研究テーマについて考えられる方法をまとめてみる	120分
	【復習】	0分
第5回	具体的な方法について文献を参考に検討する。	
	【予習】 具体的な方法についてまとめてみる	120分
	【復習】	0分
第6回	具体的な実験方法、調査内容を考え、検討する。	
	【予習】 具体的な実験方法、調査内容を考えてみる。	120分
	【復習】	0分
第7回	計画した実験または調査を開始する。同時に参考文献の検索や調査内容を検討する。	
	【予習】 計画した実験または調査の方法を考えてくる	120分
	【復習】	0分
第8回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】 計画した実験または調査の方法を考えてくる	120分
	【復習】	0分
第9回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】 計画した実験または調査の方法を考えてくる。	120分
	【復習】	0分
第10回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】 計画した実験または調査の方法を考えてくる。	120分
	【復習】	0分

第11回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】計画した実験または調査の方法を考えてくる。	120分
	【復習】	0分
第12回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】計画した実験または調査の方法を考えてくる。	120分
	【復習】	0分
第13回	実験または調査の結果をまとめ、考察を行う。	
	【予習】実験または調査の結果を整理する。	120分
	【復習】	0分
第14回	実験または調査の結果をまとめ、考察を行う。	
	【予習】実験または調査の結果を整理する。	120分
	【復習】	0分
第15回	実験または調査の結果をまとめ、考察を行う。	
	【予習】実験または調査の結果を整理する。	120分
	【復習】	0分
第16回	実験または調査の結果をまとめ、大学祭時の中間発表会の準備をする。	
	【予習】中間発表会用のパワーポイントを作成する。	120分
	【復習】	0分
第17回	実験または調査の結果をまとめ、大学祭時の中間発表会の準備をする。	
	【予習】中間発表会用のパワーポイントを作成する。	120分
	【復習】	0分
第18回	実験または調査の結果をまとめ、大学祭時の中間発表会のパワーポイントを作成する。	
	【予習】中間発表会用のパワーポイントを作成する。	120分
	【復習】	0分
第19回	中間発表会の結果をふまえて、実験または調査を行う。	
	【予習】これまで得られた実験または調査の結果を整理する。	120分
	【復習】	0分
第20回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分

第21回	実験または調査を行う。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第22回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第23回	実験または調査を行う。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第24回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第25回	実験または調査を行う。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第26回	実験または調査を行う。同時に参考文献の検索を進める。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第27回	実験または調査を行う。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第28回	これまで得られた実験または調査の結果を整理する。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第29回	これまで得られた実験または調査の結果を整理する。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分
第30回	これまで得られた実験または調査の結果を整理し、再実験や再調査事項について検討する。	
	【予習】実験または調査の結果を整理し、考察する。	120分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力を十分に修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力を修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力をおおむね修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力をやや修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力は不足している
LO-2	調理に対する確かな技術・実践力を十分に修得している	調理に対する確かな技術・実践力を修得している	調理に対する確かな技術・実践力をおおむね修得している	調理に対する確かな技術・実践力をやや修得している	調理に対する確かな技術・実践力は不足している
LO-3	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる応用能力を十分身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる応用能力を身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる応用能力をおおむね身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画等立案できるか、判断できる応用能力をやや身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる応用能力は不足している
LO-4	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲が十分にある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がおおむねある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がややある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲が不足している
LO-5	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力が十分にある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がおおむねある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がややある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力が不足している

授業科目名	特別研究（1年次）			科目コード	A318-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	堀田 裕史					
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	短大卒業程度の教養・専門知識		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士（栄養学）取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	<p>健康と栄養・食品に係わることを、PCを用いて精査し、よりよい知見や応用を目指します。具体的には、以下のようなことをテーマとします。</p> <p>1．死亡原因と栄養調査を関連付け、重回帰分析により検討します。</p> <p>2．食品成分表食品名のよりよい検索ワードを考察し、栄養計算ソフトの食品名入力の改善を目指します。</p>								
学習目標	<p>問題解決（研究）が自分ひとりのできるようになる。すなわち、問題の所在（研究のテーマ）の明確化、データの収集、改善の方法検討と実施、改善の実証といった一連のプロセスを実行できることが目標です。なお、研究の進め方では、論理的かつ客観性を保つため関連領域の現状の探索も十分に行えることが必要です。</p>								
キーワード	日本食品標準成分表2010 Excelマクロ								
テキスト・ 参考書等	（参考書）日本食品大事典 など								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	1.問題解決に関してのシナリオを自分で描けること。 2.問題解決のための資料収集ができ、解決のために利用できること、そして推論の進め方が論理的であること。								
LO-5	1.Wordで長文の作成方法について知っており、また実践できること。 2.Excelの利用について、実践的な使用が可能であり、またマクロについてもその動作機構の理解があること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			80						80
LO-5						20			20
備考	Aは、提出物や授業中の受答え等から判断する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 研究領域の理解	
	【予習】興味ある領域の検討	60分
	【復習】研究テーマの検討	60分
第2回	研究テーマの検討	
	【予習】研究テーマの検討	60分
	【復習】研究テーマの意味についての検討	60分
第3回	予備的データの準備 (1)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第4回	予備的データの準備 (2)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第5回	予備的データの準備 (3)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第6回	予備的データの準備 (4)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第7回	研究の進め方の検討 (1)	
	【予習】データの使い方と収集方法の検討	60分
	【復習】データの使い方と収集方法の検討	60分
第8回	研究の進め方の検討 (2)	
	【予習】データの使い方と収集方法の検討	60分
	【復習】データの使い方と収集方法の検討	60分
第9回	検証用予備的データの準備 (1)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第10回	検証用予備的データの準備 (2)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分

第11回	検証用予備的データの準備 (3)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第12回	検証のしかたの検討	
	【予習】検証のし方の検討	60分
	【復習】検証のし方の検討	60分
第13回	予備的検証結果の収集 (1)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証データの妥当性の検討	60分
第14回	予備的検証結果の収集 (2)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証データの妥当性の検討	60分
第15回	予備的検証結果のまとめ	
	【予習】データのまとめ方の検討	60分
	【復習】まとめたデータの妥当性の検討	60分
第16回	用語、事例、参考文献の調査 (1) 成果をまとめるうえで、予め専門用語や引用する事例・文献を調査する。	
	【予習】用語、事例、参考文献の調査	60分
	【復習】用語、事例、参考文献の調査の続行	60分
第17回	予備的調査や実験のまとめ (1) 研究の動機、方法、進め方、予備的な成果をまとめる。	
	【予習】予備的調査や実験のまとめのためのプロット	60分
	【復習】予備的調査や実験のまとめのための検討	60分
第18回	予備的調査や実験のまとめ (2) 予備的調査や実験のまとめから、問題点を明確にする。	
	【予習】予備的調査や実験のまとめの反省	60分
	【復習】予備的調査や実験の問題点の再検討	60分
第19回	研究テーマの再検討 (1)	
	【予習】研究テーマの再検討	60分
	【復習】研究テーマの意味についての再検討	60分
第20回	研究テーマの再検討 (2)	
	【予習】研究テーマの再検討	60分
	【復習】研究テーマの意味についての再検討	60分

第21回	データの再準備 (1)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第22回	データの再準備 (2)	
	【予習】データの収集方法の検討	60分
	【復習】収集したデータの妥当性の検討	60分
第23回	検証用データの収集 (1)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証データの妥当性の検討	60分
第24回	検証用データの収集 (2)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証データの妥当性の検討	60分
第25回	検証用データの収集 (3)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証データの妥当性の検討	60分
第26回	検証用結果の収集 (1)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証結果の妥当性の検討	60分
第27回	検証用結果の収集 (2)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証結果の妥当性の検討	60分
第28回	検証用結果の収集 (3)	
	【予習】検証の対象と方法の検討	60分
	【復習】検証結果の妥当性の検討	60分
第29回	調査や実験のまとめ (1)	
	【予習】まとめ方の検討	60分
	【復習】まとめ方の検討	60分
第30回	調査や実験のまとめ (2)	
	【予習】まとめ方の検討	60分
	【復習】まとめ方の検討	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性において優れ、また常に積極的に取り組んでいる。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性において優れた面が見られ、また常に前向きに取り組んでいる。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性は妥当であり、また前向きに取り組んでいる。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性の妥当性は十分でないながら保たれ、また常に一応前向きに取り組む。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性において妥当性を欠く場合があり、また常に取り組む意欲も一貫しない場合がある。
LO-5	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、職場で高度な使用方法を知っており、ある程度実践もできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、職場で高度な使用方法を知っており、少しは実践もできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、平均的な職場での使用方法を知っており、その程度はストレスなく実践もできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、平均的な職場での使用方法を知っており、そこで必要となる程度の実践はできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、平均的な職場での使用方法を知っており、そこで必要となる最小限の実践しかできない。

授業科目名	特別研究（1年次）			科目コード	A318-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	竹内 弘幸					
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	食品学特論、食品衛生学特論、外国語文献購読I・II		後継科目	後継科目：特別研究（2年次）					
関連科目	食品および栄養学系科目								
資格等 取得との関連	学士（栄養士）								
授業の概要	提示した研究テーマについて、調査または実験を行い、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究成果については、学会にて発表を行う。								
学習目標	食品および栄養学な観点から、提示されたテーマについて深く調査・研究を行っていくことで、高い調査能力、論理的な思考力、レポート作成能力、プレゼンテーション能力を身に付ける。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等	特になし								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	研究方法および知識活用法を学び、研究テーマについての課題を創造的に解決できる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			100						100
LO-5									
備考	レポートは、コメントや添削を行なうなどのフィードバックを繰り返し行い、最終的に完成させる。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	概要説明とテーマ説明	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	テーマに関する基本事項	
	【予習】 テーマについての基本事項についてまとめる	120分
	【復習】	0分
第3回	テーマに関する基本事項について発表する	
	【予習】 基本事項について発表できるようにまとめてくる	120分
	【復習】	0分
第4回	先行研究について	
	【予習】 先行研究について自分なりに調査をしてくる	120分
	【復習】	0分
第5回	先行研究から導き出される仮説案作成	
	【予習】 自分なりに仮説案を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第6回	仮説の絞り込みと検証	
	【予習】 先行研究などをもとに仮説の絞り込みを行ってくる	120分
	【復習】	0分
第7回	実験計画の作成	
	【予習】 先行研究を参考にしながら実験計画案を作成する	120分
	【復習】	0分
第8回	実験計画の修正	
	【予習】 仮説、先行研究、実験環境など現実的な視点から実験計画を修正してくる	120分
	【復習】	0分
第9回	実験計画の作成（最終案）	
	【予習】 さらに検討を重ねて最終的な計画案を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第10回	調査・研究の準備	
	【予習】 実験に必要な項目をリストアップ	120分
	【復習】	0分

第11回	調査・研究の準備	
	【予習】具体的な調査・研究の準備を考える	120分
	【復習】	0分
第12回	調査・研究の準備	
	【予習】最終的な準備、漏れなどがなくよく確認する	120分
	【復習】	0分
第13回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく。	120分
第14回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第15回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第16回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第17回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第18回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第19回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第20回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分

第21回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第22回	データ集計方法について	
	【予習】	0分
	【復習】集計方法に従いデータを集計する	120分
第23回	追加のデータ集計を実施	
	【予習】	0分
	【復習】データ集計結果の確認を行う	120分
第24回	統計方法について	
	【予習】	0分
	【復習】統計手法について理解を深める	120分
第25回	統計解析の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した統計解析方法の確認と理解	120分
第26回	研究結果のまとめ	
	【予習】データ集計や統計解析から得られた結果をまとめる	120分
	【復習】	0分
第27回	研究結果の考察	
	【予習】まとめた研究結果から考えられること、仮設から導きられる研究の結論について考えてくる	120分
	【復習】	0分
第28回	考察の検証	
	【予習】先行研究を調査することで、結論の妥当性について確かめる	120分
	【復習】	0分
第29回	研究結果から得られる結論	
	【予習】	0分
	【復習】研究内容の要旨を作成	120分
第30回	学会発表の準備と申込	
	【予習】学会発表申し込みに必要な事項を理解しておく	120分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4	課題解決に向けて強い意欲を持っている。研究方法および知識活用法を十分に修得し、研究テーマについての課題を創造的に解決できる。	課題解決に向けて強い意欲を持っている。研究方法および知識活用法を修得し、研究テーマについての課題を解決できる。	課題解決に向けて意欲を持っている。基本的な研究方法および知識活用法を理解し、研究テーマについての課題を解決できる。	基本的な研究方法および知識活用法を理解し、研究テーマについての課題をある程度解決できる。	研究方法および知識活用法を理解しておらず、研究テーマについての課題をほとんど解決できない。
LO-5					

授業科目名	特別研究(1年次)			科目コード	A318-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	稗苗 智恵子					
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)			後継科目	特別研究(2年生)					
関連科目	臨床栄養学、外国語文献購読I・II 他								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格_x000D_								
授業の概要	教員のあらかじめ示すテーマ、或いは、独自の栄養に関するテーマを選び、教員の支援のもと、各自でテーマに関する英文を含む論文を読み、研究計画をたて実験・調査を行い、論文をまとめ、発表を行う。学士取得の大勢を左右する科目となる。								
学習目標	知識を整理統合し、問題を解決する能力を養う。(新しい知見が結果として得られなくても良いが、雑誌投稿レベルの内容であること。)								
キーワード	臨床栄養学 地域連携 食事療養								
テキスト・ 参考書等	必要にあわせて論文、図書、雑誌、インターネット等を検索								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力を持っていること。								
LO-2	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力があること。								
LO-3	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力があること。								
LO-4	研究をまとめ、発表に至るまで責任ある姿勢で研究に臨み、今後へのテーマを自ら発見する姿勢であること。								
LO-5	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的にどのように役立てることが出来るかを考える力があること。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					100				100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考	学位論文の提出までに、研究について仮説をたて、その実証のためのツールを考え、その都度実験実習等を記録し、まとめる。各種学会等で成果を報告するとともに、学位授与機構にレポートを提出し学士試験に備える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究テーマに基づき、仮説、実証の方法（実験・実習・アンケート作成等）を協議し、研究計画を立てる。	
	【予習】研究したいこと、仮説、方法、結果を考える。	45分
	【復習】研究テーマについて、協議した以外に方法がないか各自で考えをまとめておく。	45分
第2回	同様の研究がどのように行われているか等論文を検索する。自分のテーマに対してどんな仮説を立てることができるか考える。（1）	
	【予習】論文検索の手法を調べる。	45分
	【復習】分かったことを整理する。	45分
第3回	同様の研究がどのように行われているか等論文を検索する。自分のテーマに対してどんな仮説を立てることができるか考える。（2）	
	【予習】論文検索の手法を調べる。	45分
	【復習】分かったことを整理する。	45分
第4回	仮説実証のための方法を検討し、計画を立てる。	
	【予習】仮説を考える。	45分
	【復習】計画を進めるために必要なことは何かを考える。	45分
第5回	予備実験・予備実習、集計用紙等を行う準備とその実践（1）	
	【予習】事前に準備すべき材料を用意する。	45分
	【復習】成果を整理する。	45分
第6回	予備実験・予備実習、集計用紙等を行う準備とその実践（2）	
	【予習】事前に準備すべき材料を用意する。	45分
	【復習】成果を整理する。	45分
第7回	予備実験・予備実習、集計用紙等を行う準備とその実践（3）	
	【予習】事前に準備すべき材料を用意する。	45分
	【復習】成果を整理する。	45分
第8回	予備実験・予備実習、集計用紙等を行う準備とその実践（4）	
	【予習】事前に準備すべき材料を用意する。	45分
	【復習】成果を整理する。	45分
第9回	予備実験・予備実習、集計用紙等を行う準備とその実践（5）	
	【予習】事前に準備すべき材料を用意する。	45分
	【復習】成果を整理する。	45分
第10回	中間報告発表に向けて予備実験の成果をまとめる。（1） 仮説実証のための検証を継続研究する。	
	【予習】予備実験・予備実習等で得た結果をどのように発表することが可能か考える。	45分
	【復習】結果をわかりやすく報告するための表現方法を考える。	45分

第11回	結果から今後の方向性を検討し、当初の仮説の実証となり得ているか確認の後、計画を立てる。	
	【予習】期待した成果と、実際の問題を考える。	45分
	【復習】【復習計画実行のための手順を整理する。	45分
第12回	仮説実証のための検証を継続研究する。(1)	
	【予習】予備実験・予備実習等で得た結果をどのように発表することが可能か考える。	45分
	【復習】結果をわかりやすく報告するための表現方法を考える。	45分
第13回	仮説実証のための検証を継続研究する。(2)	
	【予習】予備実験・予備実習等で得た結果をどのように発表することが可能か考える。	45分
	【復習】結果をわかりやすく報告するための表現方法を考える。	45分
第14回	中間報告発表に向けて予備実験の成果をまとめる。(1) 仮説実証のための検証を継続研究する。	
	【予習】予備実験・予備実習等で得た結果をどのように発表することが可能か考える。	45分
	【復習】結果をわかりやすく報告するための表現方法を考える。	45分
第15回	中間報告発表に向けて予備実験の成果をまとめる。(2) 仮説実証のための検証を継続研究する。	
	【予習】仮説実証のための検証実験・実習等の実施準備。	45分
	【復習】結果をわかりやすく報告するための表現方法を考える。	45分
第16回	中間報告発表に向けて予備実験の成果をまとめる。(3) 仮説実証のための検証を継続研究する。	
	【予習】仮説実証のための検証実験・実習等の実施準備。	45分
	【復習】結果をわかりやすく報告するための表現方法を考える。	45分
第17回	中間報告発表に向けて予備実験の成果をまとめる。(4) 仮説実証のための検証を継続研究する。	
	【予習】仮説実証のための検証実験・実習等の実施準備。	45分
	【復習】結果をわかりやすく報告するための表現方法を考える。	45分
第18回	中間報告発表に向けて予備実験の成果をまとめる。(5) 仮説実証のための検証を継続研究する。	
	【予習】仮説実証のための検証実験・実習等の実施準備。	45分
	【復習】発表に伴い、新たな課題はなかったかを考え、さらに研究を進めるために必要な内容を考える。	45分
第19回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(1)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第20回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(2)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分

第21回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(3)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第22回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(4)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第23回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(5)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第24回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(6)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第25回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(7)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第26回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(8)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第27回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(9)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第28回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(10)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第29回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(11)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】研究成果をまとめる。	45分
第30回	官能評価やアンケート等、具体的成果を得るための実践研究。(12)	
	【予習】研究を行うために必要な資料等の準備。	45分
	【復習】1年次の成果をまとめる。	45分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力を十分に持っている。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力を持っている。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力をほぼ持っている。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力に少し欠ける。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力に欠ける。
LO-2	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力が十分にある。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力がある。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力をほぼ持っている。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力が少し不足している。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力が不足している。
LO-3	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力を十分に備えている。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力がある。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力をほぼ備えている。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力がやや欠ける。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力が欠ける。
LO-4	研究をまとめ、発表に至るまで責任ある姿勢で研究に臨み、今後へのテーマを自ら発見する姿勢がある。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマを自ら発見する姿勢がある。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマを指摘等を受けながら発見する姿勢がある。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマ等を見出す力が少し足りない。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマ等を見出す力が足りない。
LO-5	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために、研究したことを社会的にどのように役立てることが出来るかを考える力があること。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割をほぼ考えることができる。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割を大まかに考えることができる。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割等が少し理解できない。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割等が理解できない。

授業科目名	特別研究（1年次）			科目コード	A318-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	高木 尚紘					
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	栄養指導および栄養教育に関する基礎知識		後継科目						
関連科目	栄養指導論および栄養教育論								
資格等 取得との関連	学士（栄養学）								
授業の概要	提示した研究テーマについて、調査を行い、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究結果を学会にて発表を行う								
学習目標	教員指導のもと、研究計画を立案し、調査を行い、結果をまとめながら考察を行う。論文作成に必要なプロセスを理解し実行できるようになることが目標である。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	調査結果をレポートにまとめ、学位授与機構に提出できること。学会で発表する。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			80		20				100
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	特別研究の概要を解説する。研究テーマに関連する内容の情報を提示する。情報検索の方法を伝える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	研究テーマに関連する先行研究を検索し、その内容を確認する	
	【予習】 研究テーマに関連する先行研究を検索し、情報を収集しておく	120分
	【復習】	0分
第3回	研究テーマに関連する先行研究の論文を読み内容を理解する	
	【予習】 関連する論文を集めコピーをとっておく。	120分
	【復習】	0分
第4回	研究テーマに関連する先行研究の論文を読み内容を理解する	
	【予習】 関連する論文を集めコピーをとっておく。	120分
	【復習】	0分
第5回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(1)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第6回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(2)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第7回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(2)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第8回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(3)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第9回	先行研究を参考に調査内容を精査し、研究計画を立案する。(4)	
	【予習】 関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	120分
	【復習】	0分
第10回	調査項目の検討と作成(1)	
	【予習】 調査内容を先行研究を参考に準備しておく	120分
	【復習】	0分

第11回	調査項目の検討と作成（2）	
	【予習】調査内容を先行研究を参考に準備しておく	120分
	【復習】	0分
第12回	調査項目の検討と作成（3）	
	【予習】調査内容を先行研究を参考に準備しておく	120分
	【復習】	0分
第13回	調査データの収集（1）	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第14回	調査データの収集（2）	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第15回	調査データの収集（2）	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第16回	調査データの収集（3）	
	【予習】収集したデータの検証方法を検討しておく	120分
	【復習】	0分
第17回	調査データの集計および整理（1）	
	【予習】調査データの集計準備をしておく。	120分
	【復習】	0分
第18回	調査データの集計および整理（2）	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分
第19回	調査データの集計および整理（3）	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分
第20回	調査データの集計および整理（4）	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分

第21回	調査データの集計および整理（5）	
	【予習】調査データの集計を行う。	120分
	【復習】	0分
第22回	調査内容の再検討（1）	
	【予習】研究テーマの再検討	120分
	【復習】	0分
第23回	調査内容の再検討（2）	
	【予習】研究内容の再検討	120分
	【復習】	0分
第24回	調査内容の見直し、再収集	
	【予習】見直し、再収集の準備をしておく	120分
	【復習】	0分
第25回	データの分析を行う。（1）	
	【予習】データ分析について予習を行っておくこと。	120分
	【復習】	0分
第26回	データの分析を行う。（2）	
	【予習】データ分析について予習を行っておくこと。	120分
	【復習】	0分
第27回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。（1）	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分
第28回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。（2）	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分
第29回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分
第30回	データ分析の結果をもとにレポートを作成する。（3）	
	【予習】レポート作成のために参考文献を熟読しておく	120分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4	研究に興味を持ち、問題点を見つけ出し改善しようとする意欲が十分にある。	研究に興味を持ち、問題点を見つけ出し改善しようとする意欲がある。	研究に興味を持ち、問題点を見つけ出し改善しようとする意欲がおおむねある。	研究に興味を持ち、問題点を見つけ出し改善しようとする意欲がやや見られる。	研究に興味を持ち、問題点を見つけ出し改善しようとする意欲不足している。
LO-5					

授業科目名	特別研究（2年次）			科目コード	A318-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究			担当教員名	富岡 徹久				
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	6単位				
前提科目(知識)	特別研究（1年次）			後継科目	無し				
関連科目	生化学特論、食品学特論、栄養学特論								
資格等 取得との関連	無し								
授業の概要	食品学・栄養学・生化学に関連するテーマを定め、そのテーマを達成するにはどのような実験方法を用いたらよいか、先行研究はどのような内容なのかを調査し、それらに基づき実験を行い論文を作成する。								
学習目標	定めたテーマに関する実験を行い、その実験結果を論文にまとめ、その論文を学位授与機構に提出し、学位授与機構の学位試験の合格を目指す。さらに関連学会で発表する。								
キーワード	食品、成分、機能、実験、論文、学会発表								
テキスト・ 参考書等	無し								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	実験結果を論文にまとめ、その論文を学位授与機構に提出し、さらに関連学会で発表する。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		20	40			100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			40		20	40			100
LO-5									
備考	A:調査や実験等に参加し調査や実験を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第2回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第3回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第4回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第5回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第6回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第7回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第8回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第9回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第10回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分

第11回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第12回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第13回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第14回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分
第15回	実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 実験結果踏まえ論文と学会発表原稿を作成する。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4	全ての回に出席しレポートの内容が完璧であり発表の内容が完璧である。	2回欠席しレポートの内容がほぼ完璧であり発表の内容がほぼ完璧である。	3回欠席しレポートの内容がややまとまりがなく発表の内容がやや分かり難かった。	5回欠席しレポートの内容がやや分かり難く発表の内容が分かり難かった。	6回以上欠席しレポートが未提出であり成果がなく発表することができなかった。
LO-5					

授業科目名	特別研究(2年次)			科目コード	A318-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	特別研究(1年次)		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得								
授業の概要	<p>教員のあらかじめ示すテーマ、或いは、独自の栄養に関するテーマを選び、教員の支援のもと、各自でテーマに関する英文を含む論文を読み、研究計画をたて実験・調査を行い、論文をまとめ、発表を行う。学士取得の大勢を左右する科目となる。</p> <p>田淵研究グループでは、以下の2研究テーマのうちいずれかを選んで、教官の指導の下で主体的に研究を遂行する。</p>								
学習目標	知識を整理統合し、問題を解決する能力を養う。(新しい知見が結果として得られなくても良いが、雑誌投稿レベルの内容であること。)								
キーワード	発芽玄米、認知症、アレルギー、治療								
テキスト・ 参考書等	インターネットのジャーナルサイトからダウンロードしたり、富山大学附属図書館で学外文献請求等をして自分の研究に関連する論文を取得してください。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究関連分野の全国的 and/or 世界的知識を有している。								
LO-2	特別研究論文を作成することができる。								
LO-3	研究を遂行する上で必要な一連の方法を知り、それらを実行することができる。								
LO-4	研究グループでの役割分担やチームワークが円滑にできる。								
LO-5	積極的に研究に参加し、問題を提起して解決する方法を自ら模索できる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2			20						20
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考	特別研究に対する姿勢、積極性、貢献度、論文完成度などで総合的に評価。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究打合せ・研究計画のチェック	
	【予習】担当する研究について、課題・問題点の提起、進行状況等を一人ずつ発表してください。	120分
	【復習】他の学生の研究進行状況の把握	60分
第2回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第3回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第4回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第5回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第6回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第7回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第8回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第9回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第10回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分

第11回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第12回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第13回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第14回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分
第15回	輪読会、研究の遂行、データ整理	
	【予習】論文の検索・収集、論文作成	30分
	【復習】特別研究論文の作成	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	レポートの内容・完成度がともに、非常に優れている	レポートの内容・完成度がともに、優れている	レポートの内容・完成度のどちらかが優れている。または、レポートの質・内容のバランスがよい。	レポートの内容・完成度が、ほどほどにできている	レポートの内容・完成度が、不十分である
LO-2	研究の内容を精密に熟知している	研究の内容を熟知している	研究の内容を概ね理解している	研究の内容をある程度理解している	研究の内容を理解していない
LO-3	研究を主体的・積極的に行うことができる	研究を積極的に行うことができる	研究に積極的に参加できる	研究に参加できる	研究に参加することが難しい
LO-4	グループの調整ができ、協調性が積極的に行える	グループの調整および協調性がある	グループの調整または協調性がある	グループの調整や協調性がみられる	グループの調整や協調性がない
LO-5	研究で知り得た事象に興味をもち、より深く追求できる	研究で知り得た事象に興味をもち、追求できる	研究で知り得た事象に興味がある	研究で知り得た事象に興味は少しはある	研究で知り得た事象に興味がない

授業科目名	特別研究（２年次）			科目コード	A318-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究			担当教員名	深井 康子				
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	6単位				
前提科目(知識)	調理学に関する基礎知識			後継科目					
関連科目	調理学および栄養学系科目								
資格等 取得との関連	学士（栄養学）取得 管理栄養士国家試験受験科目								
授業の概要	研究テーマについての実験または調査をまとめ、考察し、学位授与機構提出のレポートとして完成させる。また、その学修成果を学会で発表し、研究の集大成を行う。								
学習目標	調理科学的な視野から研究テーマに関連する内容を深く理解し、研究の学修成果をまとめ完成させていくという、主体的・意欲的に取り組む姿勢が身についている								
キーワード	主体的 レポート作成 学会発表								
テキスト・ 参考書等	適宜、参考文献や参考書等を提示する								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力を修得している								
LO-2	調理に対する確かな技術・実践力を修得している								
LO-3	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、しかもどのような手法を用いると適切な計画等が立案できるか、判断できる応用能力を身につけている。								
LO-4	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がある								
LO-5	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がある								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		20	20			100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	提出したレポートは毎回添削を行い、修正箇所を説明して、指定した日程までに訂正して提出させる。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年次に行った研究結果をもとに、方法および結果についてレポート作成を行う。	
	【予習】レポートの方法の文章を作成し、結果についてまとめてくる。	120分
	【復習】	0分
第2回	方法および結果について、レポート作成を行う。	
	【予習】方法の文章を直し、結果の図表を完成してくる。	120分
	【復習】	0分
第3回	方法および結果について、レポート作成を行う。	
	【予習】方法の文章を完成させ、結果の図表を見直してくる。	120分
	【復習】	0分
第4回	方法および結果について、レポート作成を行う。	
	【予習】結果の図表を完成させてくる。	120分
	【復習】	0分
第5回	方法および結果・考察について、レポート作成を行う。	
	【予習】結果の考察の文章を仕上げてくる。	120分
	【復習】	0分
第6回	方法および結果・考察について、レポート作成を行う。	
	【予習】結果の考察の文章を再度見直し、仕上げてくる。	120分
	【復習】	0分
第7回	レポート原稿の全体を見直し、学会発表用の原稿を作成する。	
	【予習】学会発表用の原稿を仕上げてくる。	120分
	【復習】	0分
第8回	レポート原稿の全体を見直し、学会発表用の原稿をもとにパワーポイントの準備をする。	
	【予習】原稿をパワーポイントを仕上げてくる。	120分
	【復習】	0分
第9回	レポート原稿の全体を見直し、学会発表用の原稿をもとにパワーポイントを完成する。	
	【予習】レポートを見直し、パワーポイントを完成させる。	120分
	【復習】パワーポイントを見直し、完成させる。	60分
第10回	レポート原稿の全体を見直し、学会発表のためにリハーサルを行う。	
	【予習】学会発表のリハーサルに備えて、原稿を完成させる。	120分
	【復習】リハーサルの練習を繰り返し行い、質疑応答に答えられるように疑問点を考える。	60分

第11回	レポート原稿の全体を見て、良く理解しているかどうか、考察は正しく書かれているかなど再度、検討する	
	【予習】学会発表の結果をふまえ、訂正すべき点などをレポートに反映させて点検する。	120分
	【復習】	0分
第12回	レポート原稿の全体を見て、再度読み返して点検する。	
	【予習】レポートを読み返して、見直してみる。	120分
	【復習】	0分
第13回	レポート原稿の全体を見て、再度読み返して点検する。	
	【予習】レポートを読み返して、間違いがないか見直してみる。	120分
	【復習】	0分
第14回	レポート原稿の全体を見直し、校正を加えながら完成を目指す。	
	【予習】レポートを読み返して、間違いがないか見直してみる。	120分
	【復習】完全原稿としてのレポートが予定どおり提出できるように完成をめざす。	120分
第15回	レポート提出のために完全原稿を整える。	
	【予習】レポートを読み返して、間違いがないか、点検する。	120分
	【復習】完全原稿としてのレポートが予定どおり提出できるように完成をめざす。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力を十分に修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力を修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力をおおむね修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力をやや修得している	研究テーマに関連した高度な専門知識と理解力は不足している
LO-2	調理に対する確かな技術・実践力を十分に修得している	調理に対する確かな技術・実践力を修得している	調理に対する確かな技術・実践力をおおむね修得している	調理に対する確かな技術・実践力をやや修得している	調理に対する確かな技術・実践力は不足している
LO-3	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる应用能力を十分身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる应用能力を身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる应用能力をおおむね身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画等立案できるか、判断できる应用能力をやや身につけている	研究テーマの課題に対して分析・把握ができ、どのような手法を用いると適切な計画が立案できるか、判断できる应用能力は不足している
LO-4	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲が十分にある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がおおむねある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲がややある	研究に関してあらゆる方法を考え、問題点を克服しようとする意欲が不足している
LO-5	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力が十分にある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がおおむねある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力がややある	研究内容について、パワーポイントなどを用いてわかりやすく説明する、表現力が不足している

授業科目名	特別研究（2年次）			科目コード	A318-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	堀田 裕史					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士（栄養学）取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	<p>健康と栄養・食品に係わることを、PCを用いて精査し、よりよい知見や応用を目指します。具体的には、以下のようなことをテーマとします。</p> <p>1．死亡原因と栄養調査を関連付け、重回帰分析により検討します。</p> <p>2．食品成分表食品名のよりよい検索ワードを考察し、栄養計算ソフトの食品名入力の改善を目指します。</p>								
学習目標	<p>問題解決（研究）が自分ひとりのできるようになる。すなわち、問題の所在（研究のテーマ）の明確化、データの収集、改善の方法検討と実施、改善の実証といった一連のプロセスを実行できることが目標です。なお、研究の進め方では、論理的かつ客観性を保つため関連領域の現状の探索も十分に行えることが必要です。</p>								
キーワード	日本食品標準成分表2010 Excelマクロ								
テキスト・ 参考書等	（参考書）日本食品大事典 など								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	1.問題解決に関してのシナリオを自分で描けること。 2.問題解決のための資料収集ができ、解決のために利用できること、そして推論の進め方が論理的であること。								
LO-5	1.Wordで長文の作成方法について知っており、また実践できること。 2.Excelの利用について、実践的な使用が可能であり、またマクロについてもその動作機構の理解があること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			80						80
LO-5						20			20
備考	Aは、提出物や授業中の受答え等から判断する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	用語、事例、参考文献の整理 (1) 成果をまとめるうえで、予め専門用語や引用する事例・文献を、A4半ページにまとめる。	
	【予習】用語、事例、参考文献の洗い出しと、説明分のプロット	60分
	【復習】用語、事例、参考文献の説明分の推敲	60分
第2回	用語、事例、参考文献の整理 (2) 成果をまとめるうえで、予め専門用語や引用する事例・文献を、A4半ページにまとめる。	
	【予習】用語、事例、参考文献の洗い出しと、説明分のプロット	60分
	【復習】用語、事例、参考文献の説明分の推敲	60分
第3回	データの再検討 (1) 成果をまとめるうえで、データと導く結論の問題がないか再検討し、必要ならばデータの再収集を行う。	
	【予習】データの検討、又は再収集のための条件吟味	60分
	【復習】データの検討、又は再収集の方法またはデータの吟味	60分
第4回	データの再検討 (2) 成果をまとめるうえで、データと導く結論の問題がないか再検討し、必要ならばデータの再収集を行う。	
	【予習】データの検討、又は再収集のための条件吟味	60分
	【復習】データの検討、又は再収集の方法またはデータの吟味	60分
第5回	データの再検討 (3) 成果をまとめるうえで、データと導く結論の問題がないか再検討し、必要ならばデータの再収集を行う。	
	【予習】データの検討、又は再収集のための条件吟味	60分
	【復習】データの検討、又は再収集の方法またはデータの吟味	60分
第6回	本文の作成 第1章	
	【予習】本文の該当部分の原案作成	60分
	【復習】本文の該当部分の推敲	60分
第7回	本文の作成 第2章 (1)	
	【予習】本文の該当部分の原案作成	60分
	【復習】本文の該当部分の推敲	60分
第8回	本文の作成 第2章 (2)	
	【予習】本文の該当部分の原案作成	60分
	【復習】本文の該当部分の推敲	60分
第9回	本文の作成 第3章	
	【予習】本文の該当部分の原案作成	60分
	【復習】本文の該当部分の推敲	60分
第10回	本文の作成 第4章 (1)	
	【予習】本文の該当部分の原案作成	60分
	【復習】本文の該当部分の推敲	60分

第11回	本文の作成 第4章 (2)	
	【予習】本文の該当部分の原案作成	60分
	【復習】本文の該当部分の推敲	60分
第12回	本文の作成 第5章	
	【予習】本文の該当部分の原案作成	60分
	【復習】本文の該当部分の推敲	60分
第13回	本文の作成 参考文献と目次	
	【予習】参考文献の再チェック、目次の構想	60分
	【復習】参考文献・目次の妥当性検討	60分
第14回	論文要旨の作成	
	【予習】論文要旨の原案作成	60分
	【復習】論文要旨の推敲	60分
第15回	特別研究論文の、推敲、印刷	
	【予習】特別研究論文の仕上げのための精読	60分
	【復習】特別研究論文のチェック	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性において優れ、また常に積極的に取り組んでいる。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性において優れた面が見られ、また常に前向きに取り組んでいる。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性は妥当であり、また前向きに取り組んでいる。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性の妥当性は十分でないながら保たれ、また常に一応前向きに取り組む。	研究の方針の立て方、方法、進め方、論理性、客観性において妥当性を欠く場合があり、また常に取り組む意欲も一貫しない場合がある。
LO-5	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、職場で高度な使用方法を知っており、ある程度実践もできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、職場で高度な使用方法を知っており、少しは実践もできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、平均的な職場での使用方法を知っており、その程度はストレスなく実践もできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、平均的な職場での使用方法を知っており、そこで必要となる程度の実践はできる。	Word・Excelを始めとするソフトの活用において、平均的な職場での使用方法を知っており、そこで必要となる最小限の実践しかできない。

授業科目名	特別研究（2年次）			科目コード	A318-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	竹内 弘幸					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	前提科目：特別研究（1年次）		後継科目						
関連科目	食品および栄養学系科目								
資格等 取得との関連	学士（栄養士）								
授業の概要	提示した研究テーマについて、調査または実験を行い、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究成果については、学会にて発表を行う。								
学習目標	食品および栄養学な観点から、提示されたテーマについて深く調査・研究を行っていくことで、高い調査能力、論理的な思考力、レポート作成能力、プレゼンテーション能力を身に付ける。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等	特になし								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに関連した深い知識を身に付けている。								
LO-2	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要となる研究手法を身に付けている。								
LO-3	設定された課題に対して必要となる情報は何か分かり、またその収集方法を知っている。課題解決のためのプロセス（研究方法）を考え出すことができる。得られた結果から、論理的に明解な結論を導き出すことができる。								
LO-4	研究内容について高い関心を持ち、課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。								
LO-5	研究内容について、パワーポイントを用いて科学的で、わかりやすく説明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			100						100
LO-5									
備考	レポートは、コメントや添削を行なうなどのフィードバックを繰り返し行い、最終的に完成させる。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レポート作成 結果	
	【予習】結果について図表を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第2回	レポート作成 結果	
	【予習】結果の文章を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第3回	レポート作成 方法	
	【予習】方法の文章作成	120分
	【復習】	0分
第4回	レポート作成 方法	
	【予習】方法および結果について修正すべき箇所を修正する	120分
	【復習】	0分
第5回	レポート作成 序論 基本事項のまとめ	
	【予習】序論のうち研究の基本説明事項について文章を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第6回	レポート作成 序論 研究目的	
	【予習】研究目的について文章を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第7回	レポート作成 考察	
	【予習】考察部分の文章を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第8回	レポート作成 考察 修正	
	【予習】考察部分の修正すべき点について修正した文章を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第9回	レポート作成 要旨および引用部分の作成	
	【予習】要旨および引用文献について作成してくる	120分
	【復習】	0分
第10回	レポート作成 全体確認	
	【予習】内容を確認し修正が必要な部分を確認する	90分
	【復習】修正が必要な部分について修正する	90分

第11回	学会発表準備	
	【予習】	0分
	【復習】学会発表用のスライド作成	120分
第12回	学会発表の予行演習	
	【予習】発表原稿の作成	120分
	【復習】必要に応じて修正を行う	90分
第13回	学位申請用レポート作成と確認	
	【予習】必要書類の準備	120分
	【復習】	0分
第14回	学位授与試験対策	
	【予習】自分なりに想定問題を作成し、解答例を作成する	240分
	【復習】	0分
第15回	研究全体の総括	
	【予習】反省点などをまとめてくる。	30分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4	課題解決に向けて強い意欲を持っている。研究方法および知識活用法を十分に修得し、研究テーマについての課題を創造的に解決できる。	課題解決に向けて強い意欲を持っている。研究方法および知識活用法を修得し、研究テーマについての課題を解決できる。	課題解決に向けて意欲を持っている。基本的な研究方法および知識活用法を理解し、研究テーマについての課題を解決できる。	基本的な研究方法および知識活用法を理解し、研究テーマについての課題をある程度解決できる。	研究方法および知識活用法を理解しておらず、研究テーマについての課題をほとんど解決できない。
LO-5					

授業科目名	特別研究（2年次）			科目コード	A318-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	稗苗 智恵子					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	特別研究（1年次） 学士取得の重要科目であり、努力を惜しまず熱意		後継科目						
関連科目	臨床栄養学他								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	教員のあらかじめ示すテーマ、或いは、独自の栄養に関するテーマを選び、教員の支援のもと、各自でテーマに関する英文を含む論文を読み、研究計画をたて実験・調査を行い、論文をまとめ、発表を行う。学士取得の大勢を左右する科目となる。								
学習目標	知識を整理統合し、問題を解決する能力を養う。（新しい知見が結果として得られなくても良いが、雑誌投稿レベルの内容であること。）								
キーワード	臨床栄養学 地域連携 食事療養								
テキスト・ 参考書等	必要にあわせて論文、図書、雑誌、インターネット等を検索								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力を持っていること。								
LO-2	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力があること。								
LO-3	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力があること。								
LO-4	研究をまとめ、発表に至るまで責任ある姿勢で研究に臨み、今後へのテーマを自ら発見する姿勢であること。								
LO-5	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的にどのように役立てることが出来るかを考える力があること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					100				100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考	学位論文の提出までに、研究について仮説をたて、その実証のためのツールを考え、その都度実験実習等を記録し、まとめる。各種学会等で成果を報告するとともに、学位授与機構にレポートを提出し学士試験に備える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年次からの研究テーマに基づき、研究を継続し、成果の収集に努める。 学会発表に向けて、研究の要旨をまとめる。	
	【予習】研究したこと、仮説、方法、結果について得たことを集約する。	45分
	【復習】文言等が正しい記載となっているか見直す。	45分
第2回	仮説実証のための追加資料を収集し、実験・記録を行う。(1)	
	【予習】更に学位論文をまとめるために必要な内容を考え、仮説の立証のために、資料等収集するとともに何が考えられるか、検討する。	45分
	【復習】研究成果を見直し、次回までの問題を思考する。	45分
第3回	仮説実証のための追加資料を収集し、実験・記録を行う。(2)	
	【予習】更に学位論文をまとめるために必要な内容を考え、仮説の立証のために、資料等収集するとともに何が考えられるか、検討する。	45分
	【復習】研究成果を見直し、次回までの問題を思考する。	45分
第4回	仮説実証のための追加資料を収集し、実験・記録を行う。(3)	
	【予習】更に学位論文をまとめるために必要な内容を考え、仮説の立証のために、資料等収集するとともに何が考えられるか、検討する。	45分
	【復習】研究成果を見直し、次回までの問題を思考する。	45分
第5回	仮説実証のための追加資料を収集し、実験・記録を行う。(4)	
	【予習】更に学位論文をまとめるために必要な内容を考え、仮説の立証のために、資料等収集するとともに何が考えられるか、検討する。	45分
	【復習】研究成果を見直し、次回までの問題を思考する。	45分
第6回	仮説実証のための追加資料を収集し、実験・記録を行う。(5)	
	【予習】更に学位論文をまとめるために必要な内容を考え、仮説の立証のために、資料等収集するとともに何が考えられるか、検討する。	45分
	【復習】研究成果を見直し、次回までの問題を思考する。	45分
第7回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(1)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分
第8回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(2)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分
第9回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(3)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分
第10回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(4)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分

第11回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(5)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分
第12回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(6)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分
第13回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(7)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分
第14回	研究目的、方法、結果、考察、まとめなどレポートを作成する。(8)	
	【予習】レポート作成に必要な研究資料を集めておく。	45分
	【復習】レポートを読み直し、内容を検討する。	45分
第15回	研究成果を発表する。	
	【予習】研究成果の内容に誤りがないか、仮説から結果、考えられることの裏付け資料を確認する。	45分
	【復習】研究で不足していること、想定される質問等に対し、解答できるようにレポートを見直す。	45分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力を十分に持っている。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力を持っている。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力をほぼ持っている。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力に少し欠ける。	研究テーマに伴い、管理栄養士として働くための知識や理解力に欠ける。
LO-2	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力が十分にある。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力がある。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力をほぼ持っている。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力が少し不足している。	研究テーマ立証のための技術や、それを形にしていくための実践力が不足している。
LO-3	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力を十分に備えている。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力がある。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力をほぼ備えている。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力がやや欠ける。	研究テーマに基づき、仮説をたて、それを立証するための手法、手順を考え、結果を得てどんなことを得たのか判断する力が欠ける。
LO-4	研究をまとめ、発表に至るまで責任ある姿勢で研究に臨み、今後へのテーマを自ら発見する姿勢がある。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマを自ら発見する姿勢がある。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマを指摘等を受けながら発見する姿勢がある。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマ等を発見する力が少し足りない。	研究をまとめ、発表に至るまで真面目に臨み、今後へのテーマ等を発見する力が足りない。
LO-5	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために、研究したことを社会的にどのように役立てることが出来るかを考える力があること。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割をほぼ考えることができる。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割を大まかに考えることができる。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割等が少し理解できない。	様々な研究に学ぶ姿勢を持ち、管理栄養士となるために研究したことを社会的役割等が理解できない。

授業科目名	特別研究（2年次）			科目コード	A318-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 特別研究		担当教員名	高木 尚紘					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	6単位					
前提科目(知識)	栄養教育、栄養学に関する基礎知識		後継科目						
関連科目	栄養教育論および栄養学系科目								
資格等 取得との関連	学士（栄養学）								
授業の概要	研究テーマについて、調査を行い、学位授与機構へ提出するレポートをまとめる。また、研究成果を学会等にて発表を行う								
学習目標	研究テーマについて研究を進めていくことで、データの収集、分析し、論文を作成する能力を身につける								
キーワード	食事調査 不定愁訴								
テキスト・ 参考書等	特になし。参考文献等はインターネット等からダウンロードまたは図書館を通じて取り寄せます。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4	研究テーマについて関心を持ち意欲的に取り組んでいる								
LO-5	研究内容についてわかりやすくプレゼンテーションを行うことができる								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4			80						80
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レポート作成1 結果	
	【予習】結果の図表作成の準備を行っておく	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第2回	レポート作成2 結果	
	【予習】結果の文章作成を行う	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第3回	レポート作成3 結果	
	【予習】結果の完成を目指しデータの精査を行う	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第4回	レポート作成4 方法	
	【予習】方法作成の原案を作成する	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第5回	レポート作成5 考察	
	【予習】考察作成の原案を作成する	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第6回	レポート作成6 考察 修正	
	【予習】前回作成した考察の修正箇所を確認しておく	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第7回	レポート作成7 緒論	
	【予習】緒論の原案作成	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第8回	レポート作成8 緒論 修正	
	【予習】前回作成した緒論の修正箇所を確認しておく	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分
第9回	レポート作成9 研究目的	
	【予習】該当部分の原案作成	60分
	【復習】該当部分の精読	60分
第10回	レポート作成10 研究目的 修正	
	【予習】前回作成した緒論の修正箇所を確認しておく	60分
	【復習】作成した該当部分に間違いがないか精読する	60分

第11回	レポート作成11 参考文献、目次の作成	
	【予習】参考文献のチェック、印刷および目次の原案作成	60分
	【復習】参考文献、目次のチェック	60分
第12回	レポート作成12 要旨の作成	
	【予習】要旨原案を作成する	60分
	【復習】要旨のチェック	60分
第13回	学会発表準備	
	【予習】発表用スライドおよび要旨の原案を作成する	60分
	【復習】要旨およびスライドを完成させる	60分
第14回	特別研究論文の印刷	
	【予習】印刷前の論文の精読。	60分
	【復習】特別研究論文のチェック	60分
第15回	学位授与試験対策	
	【予習】作成した論文を精読し、予想される問題を作成し、解答例を作成する	120分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					